

# 第4 県内の特定事故の発生状況

## 1 死亡事故

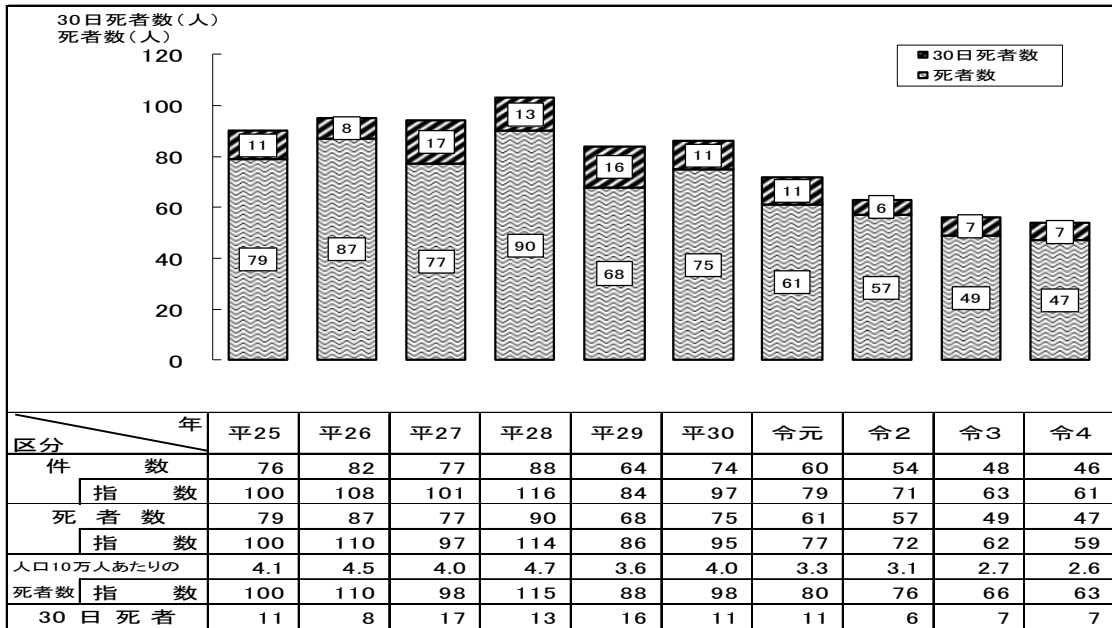
### (1) 発生件数、死者数

令和4年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数 46件（前年比 -2件 4.2%減）

死者数 47人（前年比 -2人 4.1%減）

過去10年間の推移をみると、死者数に増減はあるものの減少傾向にあり、令和4年では平成25年の6割まで減少している。 (単位：件・人)

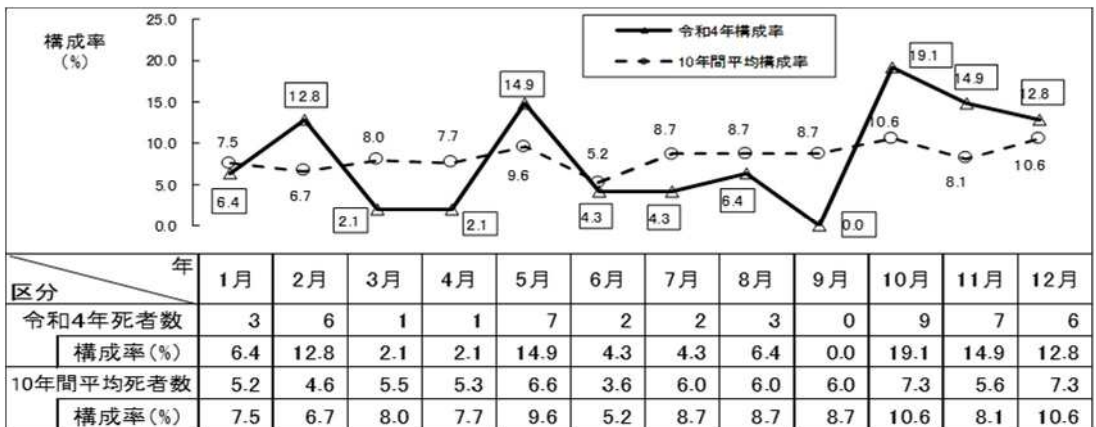


### (2) 死亡事故の特徴

#### ア 月別

死者は、10月が最多の9人、最少は9月の0人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは2月、5月、10月、11月、12月となった。 (単位：人・%)



イ 時間別・曜日別

時間別では、17時～18時の7人が最も多くなっている。

曜日別では、金曜日が最多の10人、月曜日が最少の4人となっている。

(単位：人)

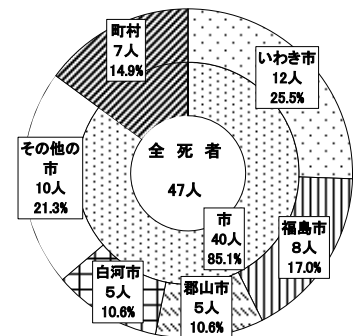
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合	
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計	
日		1									1			1	1			1			1				6	
月		1								1	1			1												4
火		1			1		1	1	1						1	1				1					8	
水											2							3	1					1	7	
木						1								1				2	1	1					6	
金									1	2			1	2	1			1	1				1		10	
土			1									1					1		1			1		1	6	
合計	0	3	1	0	1	1	1	1	1	2	3	4	1	1	5	3	1	1	7	5	1	1	1	1	2	47

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市が12人、次いで福島市が8人、郡山市と白河市が5人の順に多い。

また、市部全体の死者数は40人で、全死者の85.1%を占めている。

市町村別

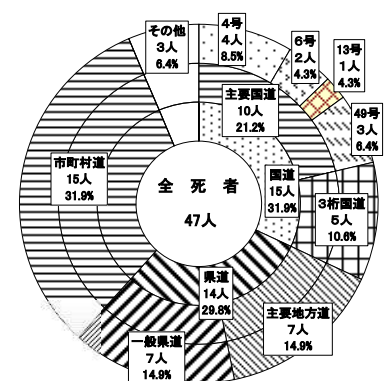


エ 道路別、道路線形別、形状別

(ア) 道路別

市町村道と国道での死者がともに15人（31.9%）で最も多く、次いで県道14人（29.8%）となっている。

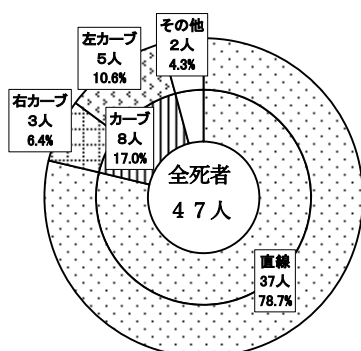
道路別



(イ) 道路線形別

直線道路での死者は37人で全死者の78.7%を占めカーブでの死者は8人で、うち右カーブが3人、左カーブが5人となっている。

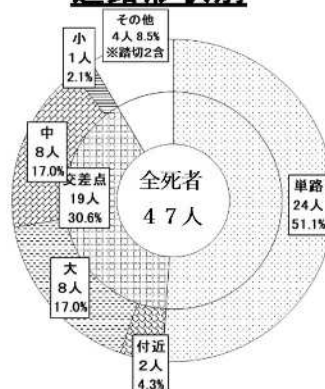
道路線形別



(ウ) 道路形状別

単路での死者は24人で全死者の51.1%を占め、交差点での死者は19人で30.6%を占めている。

道路形状別



(注)  
 大交差点 道路幅員13m以上  
 中交差点 道路幅員5.5m以上13m未満  
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (46件)

(ア) 車種別

普通乗用車の事故が17件で全死亡事故の37.0%を占め最も多く、次いで軽乗用車11件、軽貨物車6件の順となっている。

(イ) 年齢別

70代による事故が10件で最も多く、次いで50歳代が9件、40歳代が7件、30歳代、20歳代が5件の順になっている。

(単位：件)

年齢	当事者	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		自動二輪	原付				
16歳未満																		0
16～19歳					1	1												2
20歳代	20～24歳				1	1			1									3
	25～29歳				1					1								2
30歳代	30～34歳				1													1
	35～39歳				1	1			1				1					4
40歳代	40～44歳				2				1									3
	45～49歳				2	1			1									4
50歳代	50～54歳				3		1		1		1							6
	55～59歳		1		1		1											3
60歳代	60～64歳				2					1								3
	65～69歳					1				3								4
70歳代	70～74歳				2	4		1	1									8
	75～79歳					1				1								2
80歳以上					1													1
その他(当事者不明)																		0
合計		0	1	0	17	11	2	1	5	1	6	1	0	1	0	0	0	46
内数	子ども																	0
	幼児																	0
	小学生																	0
	中学生																	0
	高校生																	0
	高齢者				2	7		1	1		4							15
	男女		1		15	6	2	1	5	1	5	1	1					38
女性				2	5					1							8	
県外居住者				1		1											2	

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.4に対して10歳代が1.5と高い。

(単位：件・人)

年齢	区分	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	7,162	2	2.8	5,999	0	0.0	13,161	2	1.5
	20～24歳	36,683	3	0.8	31,699	0	0.0	68,382	3	0.4
	計	43,845	5	1.1	37,698	0	0.0	81,543	5	0.6
	25～29歳	38,361	2	0.5	33,440	0	0.0	71,801	2	0.3
	30歳代	93,380	4	0.4	83,980	1	0.1	177,360	5	0.3
	40歳代	117,768	5	0.4	108,545	2	0.2	226,313	7	0.3
	50歳代	116,633	9	0.8	110,706	0	0.0	227,339	9	0.4
	60～64歳	61,572	2	0.3	58,301	1	0.2	119,873	3	0.3
	高齢者	212,635	11	0.5	153,247	4	0.3	365,882	15	0.4
	合計	684,194	38	0.6	585,917	8	0.1	1,270,111	46	0.4

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない

(注2) 免許人口は令和4年12月末現在

(エ) 車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第1当事者の死亡事故については発生しなかった。

運転免許を要する車両による死亡事故46件中、10年以上経過した者による事故が38件で82.6%を占めている。

(単位：件)

経過年数	車種	乗用車					貨物車					特殊車	二輪車				合計	
		大型	中型	準中型	普通	軽	大型	中型	準中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付		
有資格	1年未満					1												1
	1～2年				1													1
	2～3年				2			1										3
	3～4年					1			1	1								3
	4～5年																	0
	10年未満								1									1
10年以上		1			14	9	2	1	3	1	5	1				1	38	
免許外・無免許																	0	
合計		0	1	0	17	11	2	1	5	2	6	1	0	0	0	1	47	

(オ) 違反別

悪質違反による事故が15件となっており、全死亡事故の32.6%を占めている。

違反別でみると安全運転義務違反（前方不注意、安全不確認）がそれぞれ9件と最も多い。

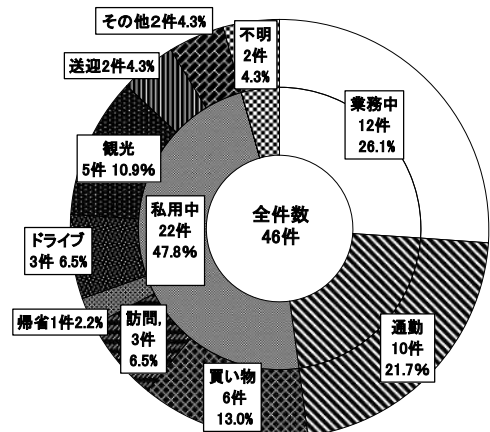
(単位：件)

違反別			件数	違反別			件数	違反別			件数								
車両の違反	悪質違反	信号無視	1	車両の違反	徐行違反	徐行違反		歩行者の違反	信号無視	信号無視									
		最高速度	1			過労等運転	過労等運転				横断歩道外横断	横断歩道外横断							
		通区・追越	5				安全運転			ハンドル操作不適		1	斜め横断	斜め横断					
		歩行者妨害	6							義務違反		ブレーキ操作不適		2	走行車両直前直断	走行車両直前直断			
		一時不停止	2									その他		前方不注意		9	横断禁止場所	横断禁止場所	
		酒酔い運転												違反計		動静不注意		1	計
	計	15	違反計		安全不確認				9							飛び出し		飛び出し	
	横断等禁止				違反計	安全速度					その他							その他	
	車間距離不保持					違反計	予測不適						計					計	
	進路変更禁止						違反計		その他						不明			不明	
	右折違反								違反計	その他							合計	合計	
	左折違反									違反計		その他						内数(飲酒運転)	内数(飲酒運転)
優先通行妨害等	2	違反計	その他					違反計				違反計		42					
交差点安全進行義務	1		違反計	その他							違反計	違反計		42					

(カ) 通行目的別

業務中に発生した事故が12件と全事故の26.1%通勤が10件と全事故の21.7%を占めている。

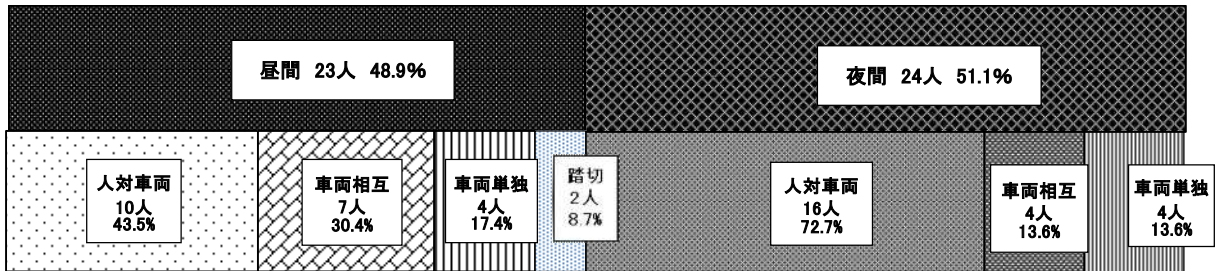
私用中に発生した事故が22件と全事故の47.8%を占めており、その中でも買物の6件が最も多く、次いで観光の5件となっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	26人（全死者の	55.3%
車両相互	11人（全死者の	23.4%
車両単独	8人（全死者の	17.0%

となっており、昼間・夜間ともに人対車両の死亡事故に続き、車両相互・車両単独の死亡事故の割合が高くなっている。

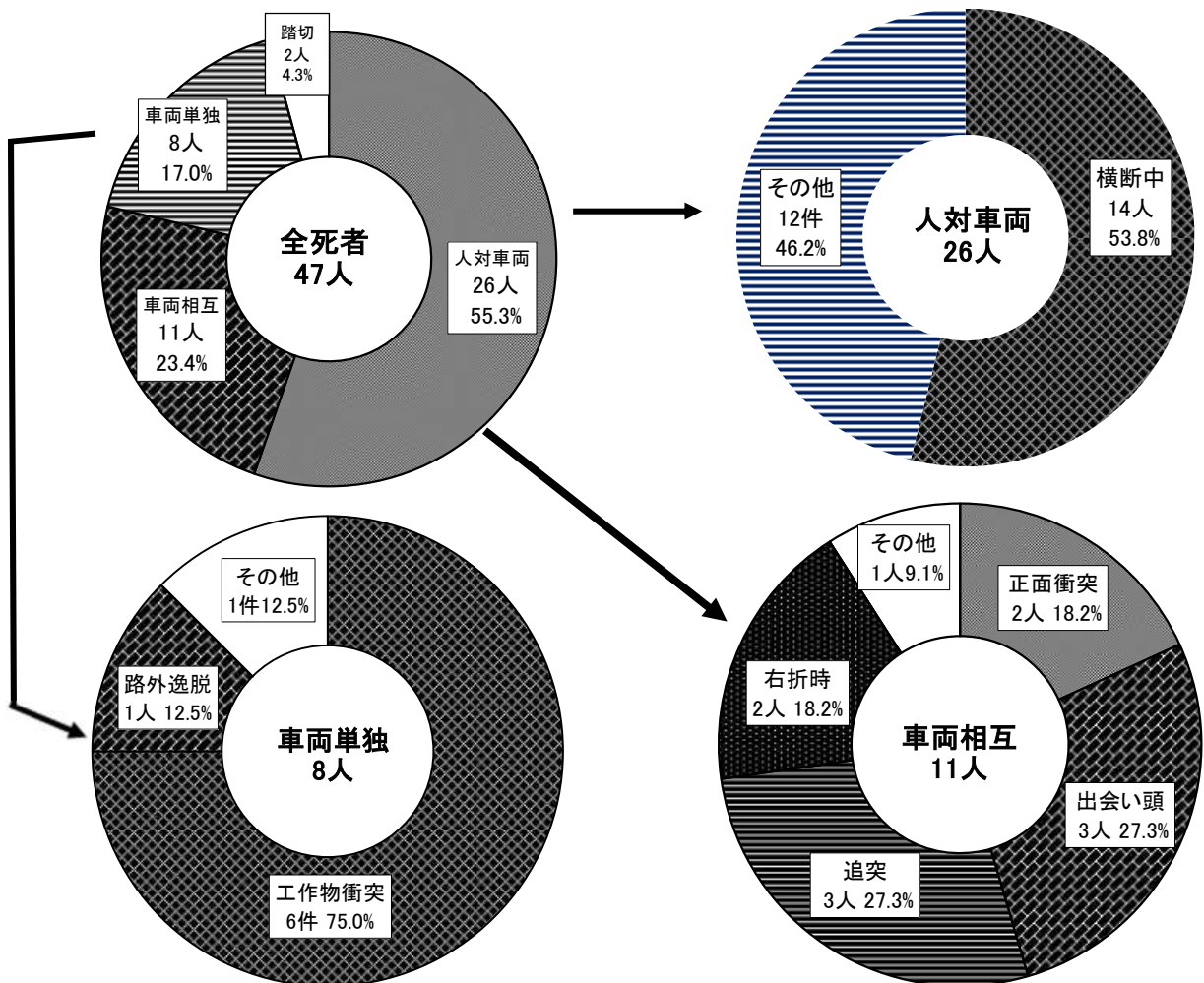


各事故類型でみると

人対車両…横断中が14人と最も多く53.8%を占めている。

車両相互…出会い頭と追突がそれぞれ3人と最も多く27.3%を占めている。

車両単独…工作物衝突が6人と最も多く75.0%を占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

歩行中の死者が26人（55.3%）で最も多く、次いで自動車運転の死者が13人（27.7%）、自動車同乗中と自転車乗車中がそれぞれ3人（6.4%）となっている。

（単位：人・%）

区分	状態	自動車			自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中		歩行中		その他	合計
		運転中		同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	1当	2当		
		1当	2当		1当	2当									
死者		12	1	3	0	2	0	0	0	0	3	0	26	0	47
	構成率(%)	25.5	2.1	6.4	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	55.3	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は30人（全死者の63.8%）で、うち歩行者の死者は19人と多く高齢死者の63.3%を占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は26人中19人（73.1%）と構成率が高くなっている。

（単位：人）

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満										1		1
16～19歳												0
20歳代	20～24		1	1								2
	25～29			1								1
30歳代	30～34					1					1	2
	35～39		1				1					2
40歳代	40～44						1				1	2
	45～49									1		1
50歳代	50～54		1	1						1		3
	55～59									1		1
60歳代	60～64								1	1		2
	65～69			2					1	5		8
70歳代	70～74		3	2		1				3		9
	75～79								1	1		2
80歳以上						1				10		11
合計			6	7	0	3	2	0	3	26	0	47
内数	子ども									1		1
	幼児											0
	小学生											0
	中学生											0
	高校生											0
	高齢者		3	4		2			2	19		30
	男性		5	6			2		2	12		27
	女性		1	1		3			1	14		20

ウ 職業別

無職が23人と最も多く全死者の48.9%を占め、次いでサービス業が8人、運輸・郵便業が3人と多くなっている。

（単位：人）

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者												0
公務員		1								1		2
農・林・漁業		1	1									2
鉱業												0
建設業										1		1
製造業		1					1					2
卸・小売業		1								1		2
運輸・郵便業			1				1			1		3
医療・福祉												0
電気・ガス・水道業			1									1
サービス業			4		1				1	2		8
子供										1		1
高校生												0
学生												0
主婦												0
無職		2				2			1	17	1	23
その他									1	1		2
合計		6	7	0	3	2	0	0	3	25	1	47

エ 状態別の違反

(ア) 歩行者

歩行者の死者26人のうち、14人(歩行者死者の53.8%)には何らかの違反があり、横断中の違反のある死者が6人と多く、違反のある歩行者死者の約4割を占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼児 歩 の き	ひ り 歩 の き	め い て か い い	は 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横断 歩道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 両 面	直 前 直 後	走 行 直 後									
1 当							0								0	
2当以下	1	2	5				1	6		2		1	2	12	26	

(イ) 自転車

自転車乗用中の死者3人のうち、2人(66.7%)に違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下		1											1		1	3

(ウ) 原付

原付乗車中の死者は無かった。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	ブ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下																0

(エ) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者2人ともに違反がある。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
2当以下							2									2
同 乗																0

(オ) 自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者16人、同乗中死者2人の合計18人である。

運転中死者の違反別では、信号無視、最高速度、通区・追越、一時不停止の悪質違反によるものが4人で、運転中死者の25.0%を占めている。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者8人で、自動車乗車中の死者全体の44.4%を占めている。

(単位：人)

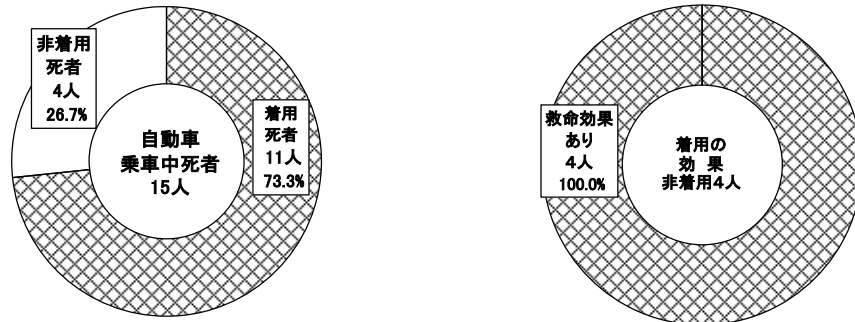
区分	違反	運 転 中														同 乗 中 計	合 計				
		信号無視	最高速度	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転 義 務							その他	違反なし		
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度					その他	
当事者	1 当	1	1	1	1													6	12	12	
	2 当							2										1	3	3	
	3当以下																	1	1	2	
事故類	正面衝突			1														1	1	2	
	追突																	1	1	2	
	出会い頭				1													1	1	2	
	追越・追抜																	1	1	2	
	転回時																		0	0	0
	右折時その他							2											2	2	4
計		0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	2	8
型別	車両単独	1	1								2						3	1	8		8
列																	2		2		2
合計		1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	7	1	16	2	18

オ シートベルト・ヘルメット着用状況

(ア) シートベルト

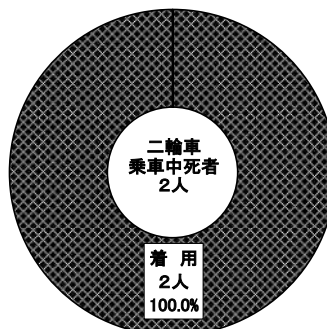
着用不明の1人を除く自動車乗車中の死者15人中シートベルトを着用していたのは11人で、着用率は73.3%であった。

また、非着用死者4人中4人（非着用で死亡した者全員）は、シートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は2人で、2人ともヘルメットを着用していた。





## 2 歩行者の事故

### (1) 概況

交通事故で死傷した歩行者は、

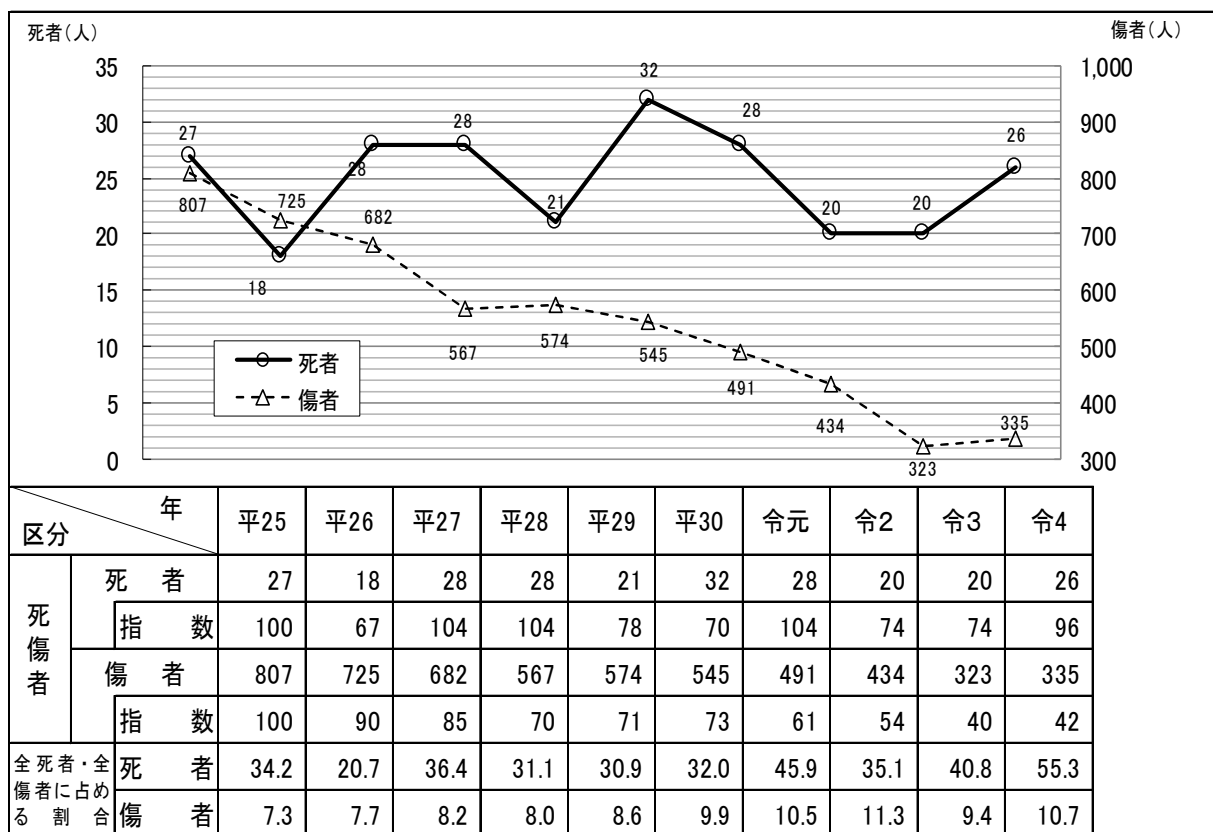
死者数 26人 (前年比 +6人 30.0%増)

傷者数 335人 (前年比 +12人 3.7%増)

で、死者数・傷者数ともに前年より増加した。

全死者・傷者数に占める割合は、死者数は55.3%で14.5ポイント増加し、傷者数は10.7%で1.3ポイント増加した。

(単位：人・%)



### (2) 月別

死者は2月と10月が5人で最も多く、次いで5月と12月が4人となっている。

傷者数は12月が44人で最も多く、次いで10月の43人となっている。

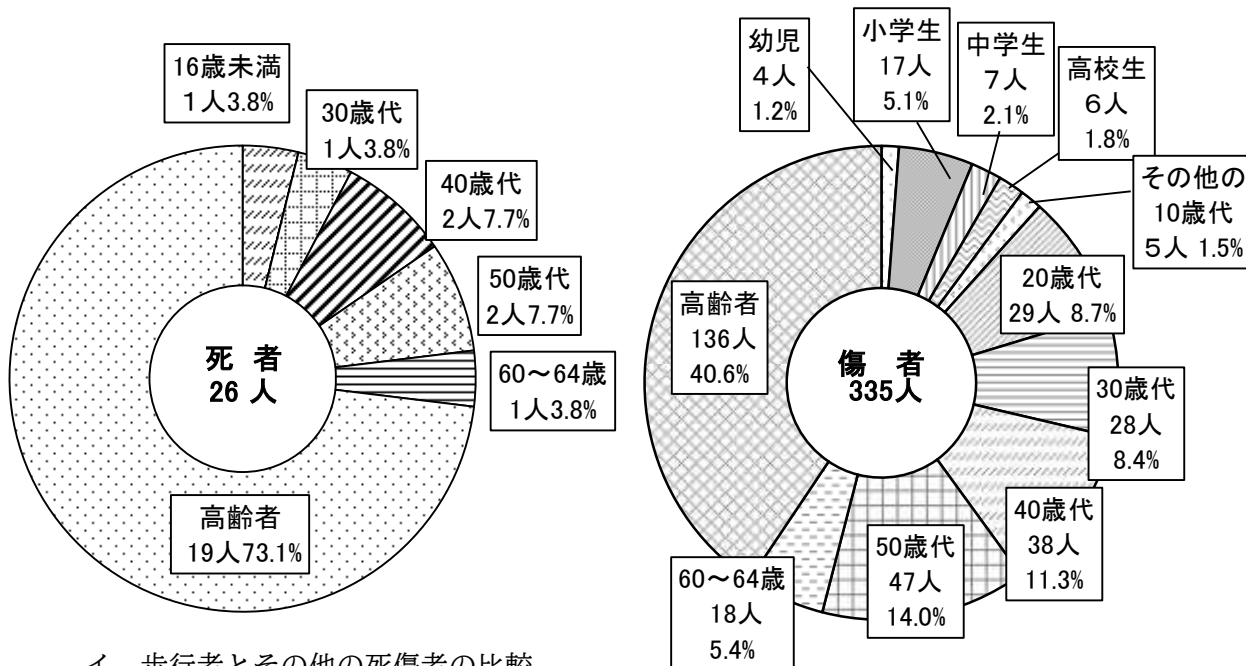
(単位：人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		被害	死者	1	5	1	0	4	1	1	1	0	5	3
傷者	23		26	23	28	22	27	26	21	24	43	28	44	335
全死者・全傷者に占める割合	死者	33.3	83.3	100.0	0.0	57.1	50.0	50.0	33.3	-	55.6	42.9	66.7	55.3
	傷者	9.7	10.3	9.1	11.2	9.3	9.5	11.9	8.8	9.4	13.6	9.9	14.3	10.7

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が19人で最も多く、歩行者死者の73.1%を占めている。

傷者も高齢者が136人と最も多く、歩行者傷者の40.6%を占めている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は73.1%であり、その他の高齢者死者の52.4%を大きく上回る数値となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は40.6%であり、その他の傷者の高齢者が占める割合15.6%の約2.6倍となっている。

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死者	16歳未満	1	3.8	28	8.4	
	16~19歳		0.0	11	3.3	
	20歳代		0.0	29	8.7	
	30歳代	1	3.8	28	8.4	
	40歳代	2	7.7	38	11.3	
	50歳代	2	7.7	47	14.0	
	60歳代	60~64	1	3.8	18	5.4
		65~69	5	19.2	21	6.3
	70歳代	70~74	3	11.5	28	8.4
		75~79	1	3.8	25	7.5
80歳以上	10	38.5	62	18.5		
合計	26	100.0	335	100.0		
歩行者の傷者	内訳	幼児	1	3.8	4	1.2
		小学生		0.0	17	5.1
		中学生		0.0	7	2.1
		高校生		0.0	6	1.8
		高齢者	19	73.1	136	40.6

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死者	16歳未満	0	0.0	135	4.8	
	16~19歳	0	0.0	142	5.1	
	20歳代	3	14.3	436	15.6	
	30歳代	3	14.3	505	18.1	
	40歳代	1	4.8	562	20.1	
	50歳代	2	9.5	420	15.0	
	60歳代	60~64	1	4.8	162	5.8
		65~69	3	14.3	159	5.7
	70歳代	70~74	6	28.6	133	4.8
		75~79	1	4.8	63	2.3
80歳以上	1	4.8	80	2.9		
合計	21	100.0	2,797	100.0		
その他の傷者	内訳	幼児	0	0.0	27	1.0
		小学生	0	0.0	49	1.8
		中学生	0	0.0	39	1.4
		高校生	0	0.0	106	3.8
		高齢者	11	52.4	435	15.6

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は18時～20時の5人が最も多く、歩行者死者の19.2%を占めており、次いで8～10時の4人となっている。

傷者については、16～18時の63人が最も多く、歩行者傷者の18.8%を占めており、次いで18～20時の52人となっている。(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者	人数	2	1	1	0	4	2	3	1	3	5	2	2	26
	構成率(%)	7.7	3.8	3.8	0.0	15.4	7.7	11.5	3.8	11.5	19.2	7.7	7.7	100.0
傷者	人数	4	2	8	26	44	45	25	34	63	52	19	13	335
	構成率(%)	1.2	0.6	2.4	7.8	13.1	13.4	7.5	10.1	18.8	15.5	5.7	3.9	100.0

イ 昼夜別

死者は夜が12人と多く、歩行者死者の46.2%を占めている。

傷者は昼間が186人と多く、歩行者傷者の55.5%を占めている。(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者	人数		10		10	3	12	1	16	26
	構成率(%)	0.0	38.5	0.0	38.5	11.5	46.2	3.8	61.5	100.0
傷者	人数	5	186	18	209	43	78	5	126	335
	構成率(%)	1.5	55.5	5.4	62.4	12.8	23.3	1.5	37.6	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

夜間の死者16人中11人が高齢者で、歩行者死者の42.3%を占めている。

傷者は昼間に高齢者の被害が多くなっている。(単位：人・%)

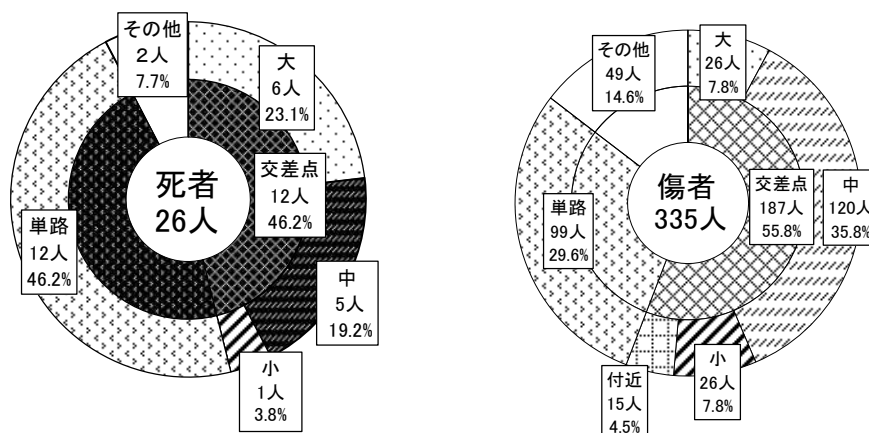
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者	人数	1	8	1	10		11	5	16	26
	構成率(%)	3.8	30.8	3.8	38.5	0.0	42.3	19.2	61.5	100.0
傷者	人数	26	101	82	209		35	91	126	335
	構成率(%)	7.8	30.1	24.5	62.4	0.0	10.4	27.2	37.6	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路と交差点が12人で、それぞれ46.2%を占めている。交差点での死者の内訳は、「大交差点」は6人、「中交差点」は5人、「小交差点」は1人であった。

傷者は交差点が187人と多く、55.8%を占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は12人で、歩行者死者の46.2%を占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、21人と歩行者死者の80.8%を占め、傷者についても 240人で歩行者傷者の71.6%を占めている。 (単位：人)

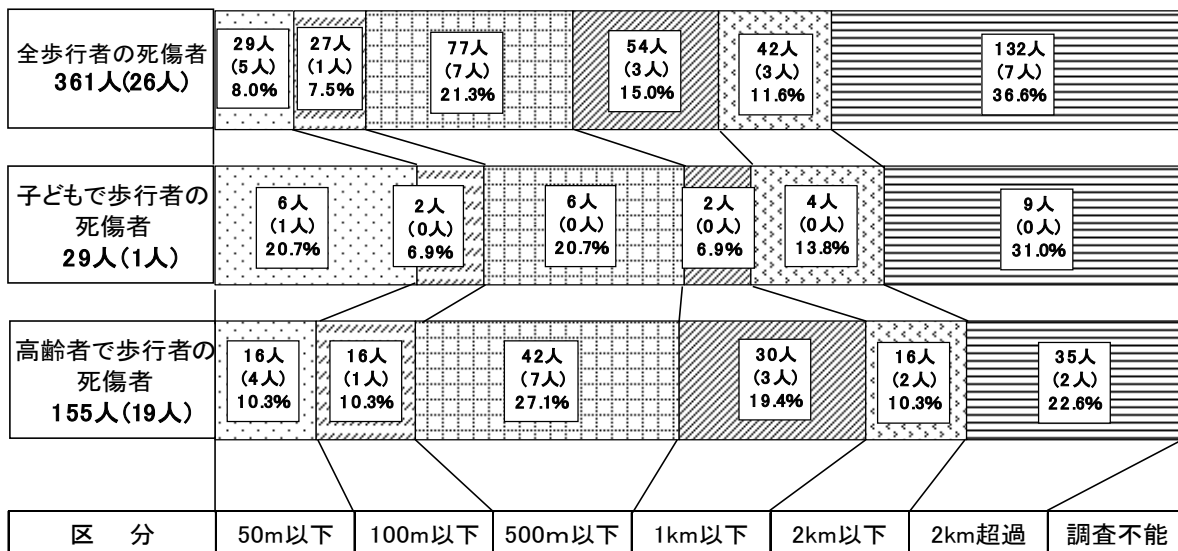
信号機、歩車道区別の有無		道路形状		交 差 点				計	単路	その他	合 計
				大	中	小	付近				
信号機あり	信号機あり	死 者	3	3			6			6	
		傷 者	22	74	13	3	112	2		114	
信号機なし	信号機なし	死 者	3	2	1		6	12	2	20	
		傷 者	4	46	13	12	75	97	49	221	
合 計		死 者	6	5	1	0	12	12	2	26	
		傷 者	26	120	26	15	187	99	49	335	

歩車道区分あり	区分あり	防護柵等	死 者	2				2	1		3
			傷 者		2	2			4	3	
縁石等	縁石等	死 者	4	4	1		9	5	1	15	
		傷 者	26	103	13	8	150	38	1	189	
路側帯	路側帯	死 者		1			1	2		3	
		傷 者		7	7	6	20	24		44	
区分なし	区分なし	死 者					0	4	1	5	
		傷 者		8	4	1	13	34	48	95	
合 計		死 者	6	5	1	0	12	12	2	26	
		傷 者	26	120	26	15	187	99	49	335	

ウ 自宅からの距離

自宅から500m以内の死傷者が133人で歩行者死傷者の36.8%を占めている。

また、子供と高齢者の死者についても自宅から500m以下が13人で最も多く、歩行者死者の半数を占めている。

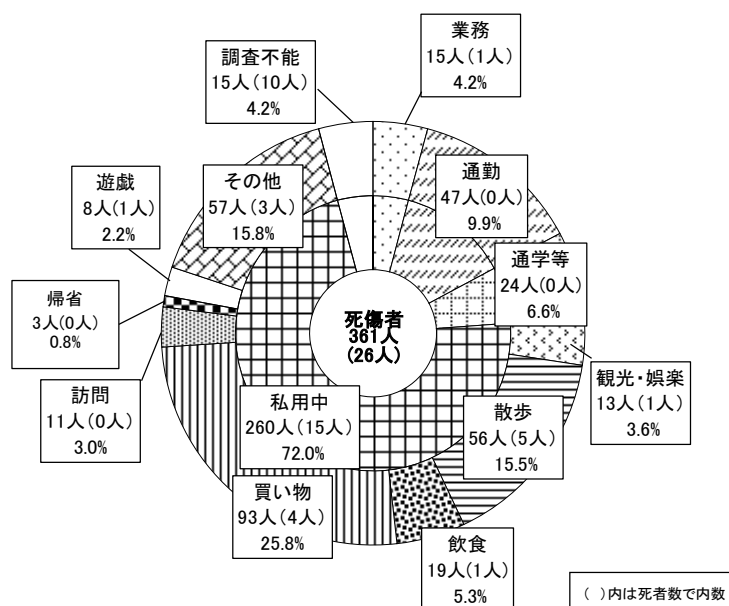


( )内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が260人で72.0%を占めている。

うち買い物目的が最も多く93人で25.8%を占めている。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は14人で歩行者死者の53.8%、傷者は208人で歩行者傷者の62.1%を占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両														人 対 車 両 以 外	合 計
	対 面 通 行 中	背 面 通 行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他			
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他										
死 者	1	3	7	0	0	7	14	1	1	0	1	0	5		26	
構成率(%)	3.8	11.5	26.9	0.0	0.0	26.9	53.8	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	19.2	0.0	100.0	
傷 者	17	23	146	2	0	60	208	0	9	3	8	4	54	9	335	
構成率(%)	5.1	6.9	43.6	0.6	0.0	17.9	62.1	0.0	2.7	0.9	2.4	1.2	16.1	2.7	100.0	

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者14人のうち、交差点での死者は10人で横断中死者の71.4%を占め、交差点内の傷者162人のうち、140人(86.4%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は7人で横断中死者の半数を占めている。

(単位：人・%)

道路形状 横断場所	交 差 点						計	そ の 他		合 計			
	交 差 点 内		交 差 点 付 近		死 者	傷 者		死 者	傷 者	死 者	傷 者	構 成 率(%)	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者								死 者	傷 者
横 断 中	横 断 歩 道	7	140		3	7	143		3	7	146	50.0	70.2
	横 断 歩 道 付 近		1		1	0	2			0	2	0.0	1.0
	横 断 歩 道 橋 付 近					0	0			0	0	0.0	0.0
	そ の 他	3	21		6	3	27	4	33	7	60	50.0	28.8
合 計	10	162	0	10	10	172	4	36	14	208	100	100	

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は13人（92.9%）、傷者は166人（85.1%）となっている。

「車両の陰から」の傷者は7人で、うち3人（42.9%）は子どもの傷者となっている。

（単位：人・%）

横断場所 区分		車両の陰から			建物から	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
子ども	死者							
	傷者		2	1	1		3	15
高齢者	死者						1	11
	傷者		2		3	1	4	71
その他	死者							2
	傷者	1	1		2	2	6	80
合計	死者	0	0	0	0	0	1	13
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	92.9
	傷者	1	5	1	6	3	13	166
	構成率(%)	0.5	2.6	0.5	3.1	1.5	6.7	85.1

(8) 違反別

（単位：人・%）

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった死者は14人で53.8%を占め、傷者は66人で19.7%となっている。

イ 死者の違反は、横断中が6人と多く、違反あり死者の42.9%を占め、次いで通行区分と酩酊・徘徊が2人となっている。

横断中では、横断歩道外横断が5人、横断禁止場所横断が1人となっている。

傷者の違反は横断中が38人と多く、違反あり傷者の57.6%を占めている。

違反	死者		傷者		
	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
信号無視	1	3.8	4	1.2	
通行区分	2	7.7	9	2.7	
横断中	横断歩道外	5	19.2	32	9.6
	斜め横断		0.0	1	0.3
	駐車車両直前・直後		0.0	2	0.6
	走行車両直前・直後		0.0	3	0.9
	横断禁止場所	1	3.8		0.0
計	6	23.1	38	11.3	
酩酊・徘徊	2	7.7	5	1.5	
路上遊戯	1	3.8	1	0.3	
路上作業		0.0	3	0.9	
飛び出し	1	3.8	4	1.2	
その他の違反	1	3.8	2	0.6	
違反なし	12	46.2	269	80.3	
合計	26	100.0	335	100.0	

### 3 自転車の事故

#### (1) 概況

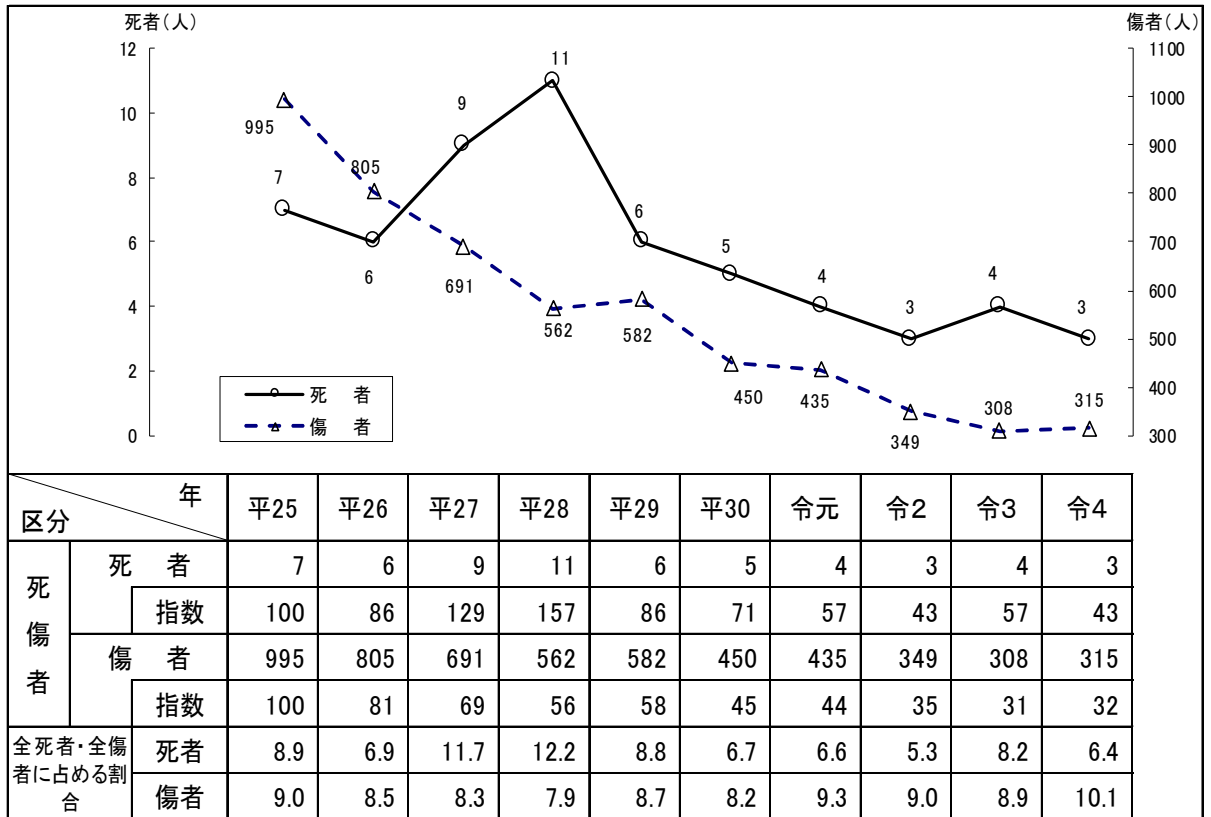
交通事故で死傷した人は

死者数 3人 (前年比 -1人 25.0%減)  
 傷者数 315人 (前年比 +7人 2.3%増)

で、死者数は減少したが、傷者数は僅かに増加した。

全死者数に占める割合は 6.4%で1.8ポイントの減少、全傷者数に占める割合は10.1%で1.2ポイント増加した。

(単位：人・%)



#### (2) 月別

死者数は2月に1人、12月に2人となっている。

傷者数は、10月が47人と最も多く、次いで11月の36人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

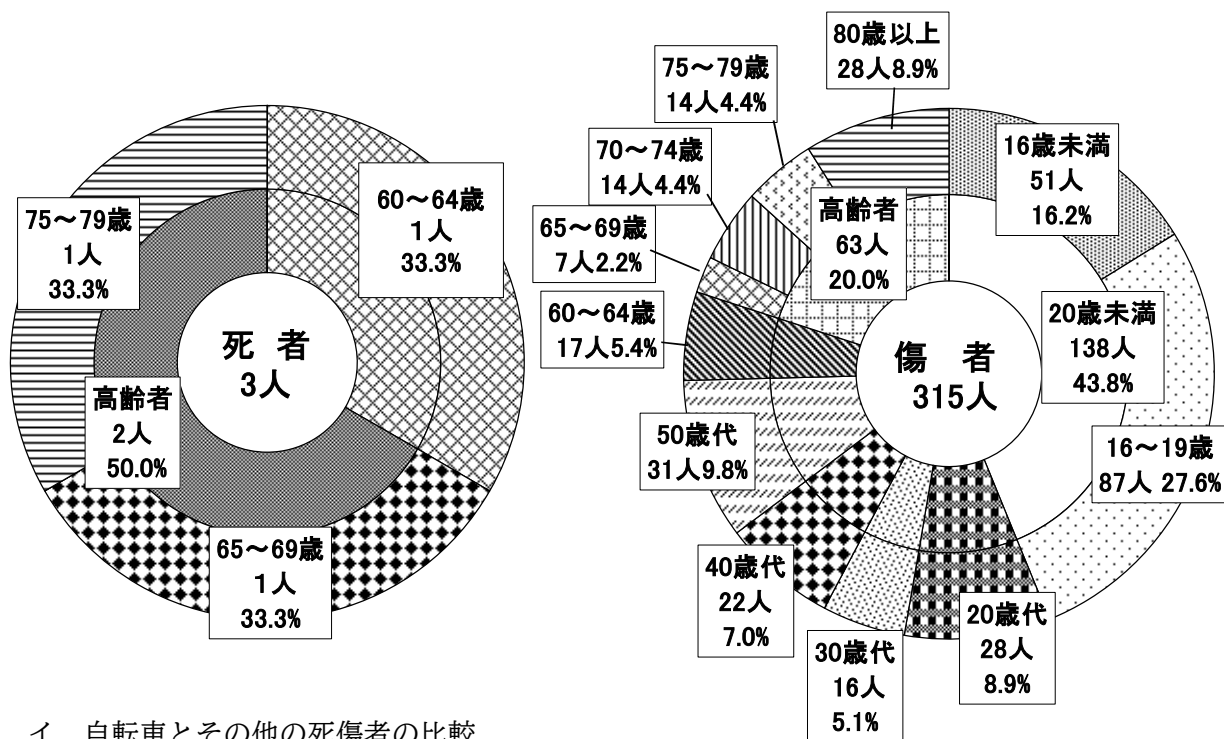
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者		1										2	3
	傷者	11	19	21	19	32	34	24	23	25	47	36	24	315
全死傷者に占める割合	死者	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	33.3	6.4
	傷者	4.6	7.5	8.3	7.6	86.5	12.0	11.0	9.7	9.8	14.9	12.7	7.8	10.1

(3) 年齢別

ア 年齢別

自転車死者3人中2人が高齢者であった。

傷者は20歳未満が138人と多く、自転車傷者の43.8%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、その他の死傷者に比べ20歳未満死傷者の占める割合が高い。

(単位：人・%)

区分	死 者		傷 者		
	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
16歳未満	0	0.0	51	16.2	
16~19歳	0	0.0	87	27.6	
20歳代	0	0.0	28	8.9	
30歳代	0	0.0	16	5.1	
40歳代	0	0.0	22	7.0	
50歳代	0	0.0	31	9.8	
60歳代	1	33.3	17	5.4	
65~69歳	1	33.3	7	2.2	
70歳代	0	0.0	14	4.4	
75~79歳	1	33.3	14	4.4	
80歳以上	0	0.0	28	8.9	
合 計	3	100.0	315	100.0	
内 訳	幼 児	0	0.0	1	0.3
	小 学 生	0	0.0	9	2.9
	中 学 生	0	0.0	26	8.3
	高 校 生	0	0.0	86	27.3
	高 齢 者	2	66.7	63	20.0

(単位：人・%)

区分	死 者		傷 者		
	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	
16歳未満	1	2.3	112	4.0	
16~19歳	0	0.0	66	2.3	
20歳代	3	6.8	437	15.5	
30歳代	4	9.1	517	18.4	
40歳代	3	6.8	578	20.5	
50歳代	4	9.1	436	15.5	
60歳代	1	2.3	163	5.8	
65~69歳	7	15.9	173	6.1	
70歳代	9	20.5	147	5.2	
75~79歳	1	2.3	74	2.6	
80歳以上	11	25.0	114	4.0	
合 計	44	100.0	2,817	100.0	
内 訳	幼 児	1	2.3	30	1.1
	小 学 生	0	0.0	57	2.0
	中 学 生	0	0.0	20	0.7
	高 校 生	0	0.0	26	0.9
	高 齢 者	28	63.6	508	18.0



(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は10～12時、14～16時、16～18時の間に各1人となっている。

傷者は16～18時が61人で最も多く、自転車傷者の19.4%を占めており、次いで6～8時の47人の順となっている。(単位:人・%)

区分	時間												合計
	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	
死者						1		1	1				3
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0
傷者	1	0	4	47	44	35	32	40	61	36	13	2	315
構成率(%)	0.3	0.0	1.3	14.9	14.0	11.1	10.2	12.7	19.4	11.4	4.1	0.6	100.0

イ 昼夜別

死者数、傷者数ともに昼間が多くなっている。

(単位:人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			2		2		1		1	3
構成率(%)		0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0
傷者		12	208	27	247	29	39		68	315
構成率(%)		3.8	66.0	8.6	78.4	9.2	12.4	0.0	21.6	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間・夜間とも高齢者が1人で66.7%を占めている。

傷者は、昼間の高齢者が57人と多く、自転車傷者の18.1%を占めている。

(単位:人・%)

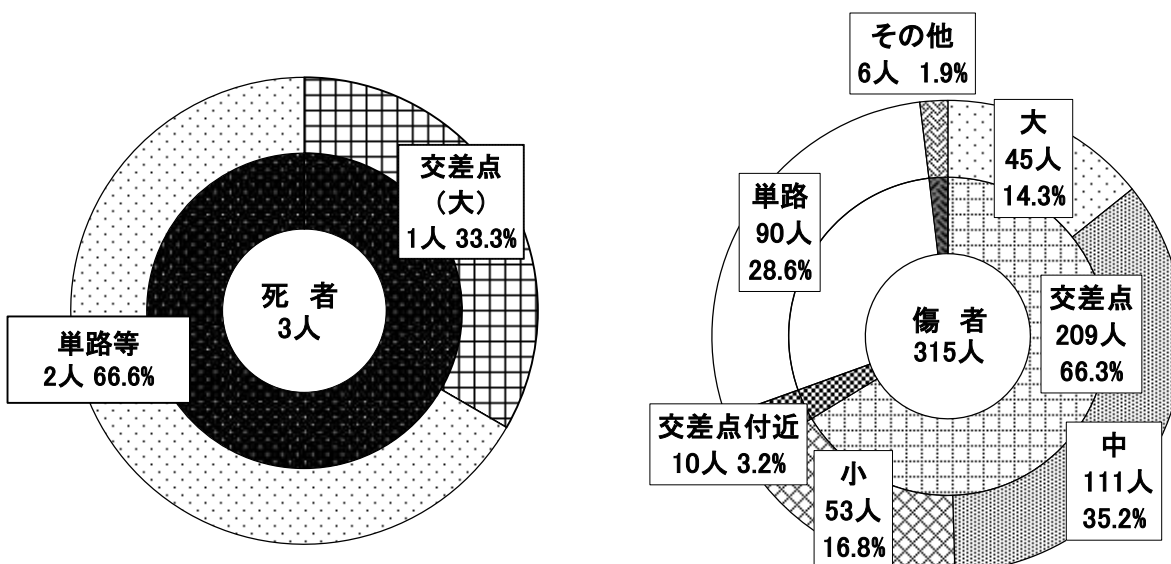
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者			1	1	2		1		1	3
構成率(%)		0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0
傷者		29	57	161	247	7	6	55	68	315
構成率(%)		9.2	18.1	51.1	78.4	2.2	1.9	17.5	21.6	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は単路2人、交差点(大)1人となっており、傷者は交差点と交差点付近合わせて219人で自転車傷者の69.5%を占めている。

交差点の大きさで見ると、交差点(中)での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は信号機のない交差点で1人、単路で2人となっている。

(単位：人)

信号機の有無		道路形状		交 差 点				計	単路	その他	合 計
				大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者						0			0
	信号機あり	傷 者	41	39	7	1	88				88
信号機	信号機なし	死 者	1				1	2			3
	信号機なし	傷 者	4	72	46	9	131	90	6		227
合 計		死 者	1	0	0	0	1	2	0		3
合 計		傷 者	45	111	53	10	219	90	6		315

(6) 道路形状別・事故類型別

死者は交差点で1人となっており、傷者は交差点とその付近で219人(69.5%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が2人(66.7%)、傷者が175人(55.6%)と多くなっている。

(単位：人・%)

道路形状		事故類型		交 差 点				計	その他		合 計			
				交差点内		交差点付近					構成率(%)			
				死 者	傷 者	死 者	傷 者				死 者	傷 者	死 者	傷 者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0	
車	正 面 衝 突		1			0	1		3	0	4	0.0	1.3	
	追 突				1	0	1	1	4	1	5	33.3	1.6	
両	出 会 い 頭	1	118		4	1	122	1	53	2	175	66.7	55.6	
	追 越 ・ 追 抜		1			0	1		7	0	8	0.0	2.5	
相	転 回 ・ 後 退 時		1		1	0	2		5	0	7	0.0	2.2	
	進 路 変 更 時					0	0			0	0	0.0	0.0	
互	す れ 違 い 時				1	0	1		2	0	3	0.0	1.0	
	左 折 時		42		1	0	43		11	0	54	0.0	17.1	
互	右 折 時		46		1	0	47		5	0	52	0.0	16.5	
	そ の 他					0	0		5	0	5	0.0	1.6	
計		1	209	0	9	1	218	2	95	3	313	100.0	99.4	
車 両 単 独					1	0	1		1	0	2	0.0	0.6	
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0	
合 計		1	209	0	10	1	219	2	96	3	315	100.0	100.0	

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は500m以内で1人、2km超過で2人となっており、全体の傷者数は自宅からの距離が遠くなるにつれて構成率の上昇が見られる。

(単位：人・%)

区分	距離							調査不能	合 計
	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過			
子 ども	1		7	12	8	8			36
構成率(%)	2.8	0.0	19.4	33.3	22.2	22.2	0.0		100.0
高 齢 者	1	4	① 8	11	16	① 25		② 65	
構成率(%)	1.5	6.2	12.3	16.9	24.6	38.5	0.0	100.0	
そ の 他	1	6	23	43	49	① 95		① 217	
構成率(%)	0.5	2.8	10.6	19.8	22.6	43.8	0.0	100.0	
合 計	3	10	① 38	66	73	② 128		③ 318	
構成率(%)	0.9	3.1	11.9	20.8	23.0	40.3	0.0	100.0	

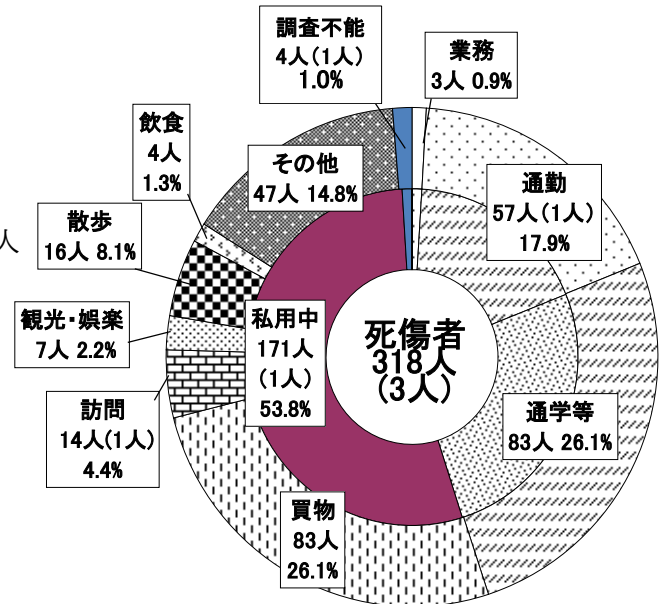
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が171人で53.8%を占めている。

主な内訳は、買物と通学等がそれぞれ83人で26.1%と高い割合を占めている。

この他、通勤が57人（17.9%）と多い。



(9) 違反別

( )内は死者数で内数

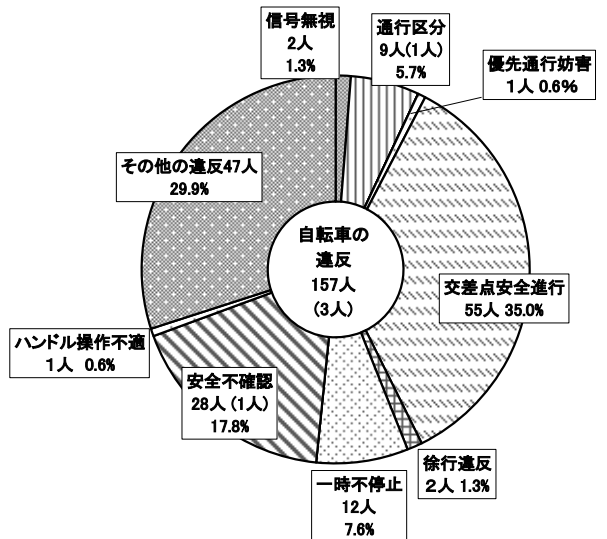
死者のうち何らかの違反があったのは2人（66.7%）、同じく傷者では155人（49.2%）となる。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
	人数	構成率	人数	構成率
信号無視		0.0%	2	0.6%
通行区分	1	33.3%	8	2.5%
横断等禁止		0.0%		0.0%
右折違反		0.0%		0.0%
優先通行妨害		0.0%	1	0.3%
交差点安全進行		0.0%	55	17.5%
徐行違反		0.0%	2	0.6%
一時不停止		0.0%	12	3.8%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	33.3%	27	8.6%
ハンドル操作不適		0.0%	1	0.3%
その他の違反		0.0%	47	14.9%
違反なし	1	33.3%	160	50.8%
合 計	3	100.0%	315	100.0%

内数	夜間事故		うち無灯火	
	人数	構成率	人数	構成率
	1	33.3%	68	21.6%
	1	100.0%	6	8.8%

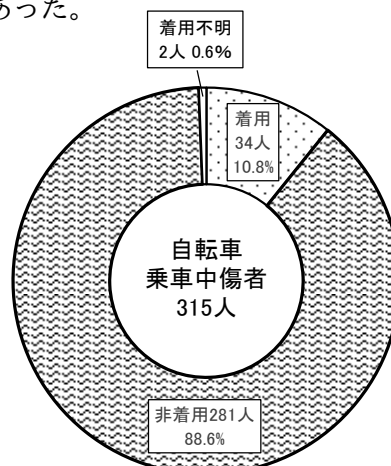
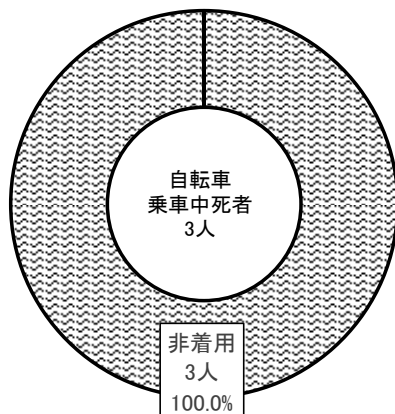
※同乗者は含まない



( )内は死者数で内数

(10) ヘルメット着用状況

自転車乗車中死者は3人であり、全員ヘルメット非着用であった。また、自転車乗車中の傷者は315人で、そのうち非着用者が281人（88.6%）であった。



## 4 子供の事故

### (1) 概況

交通事故により死傷した子供は、

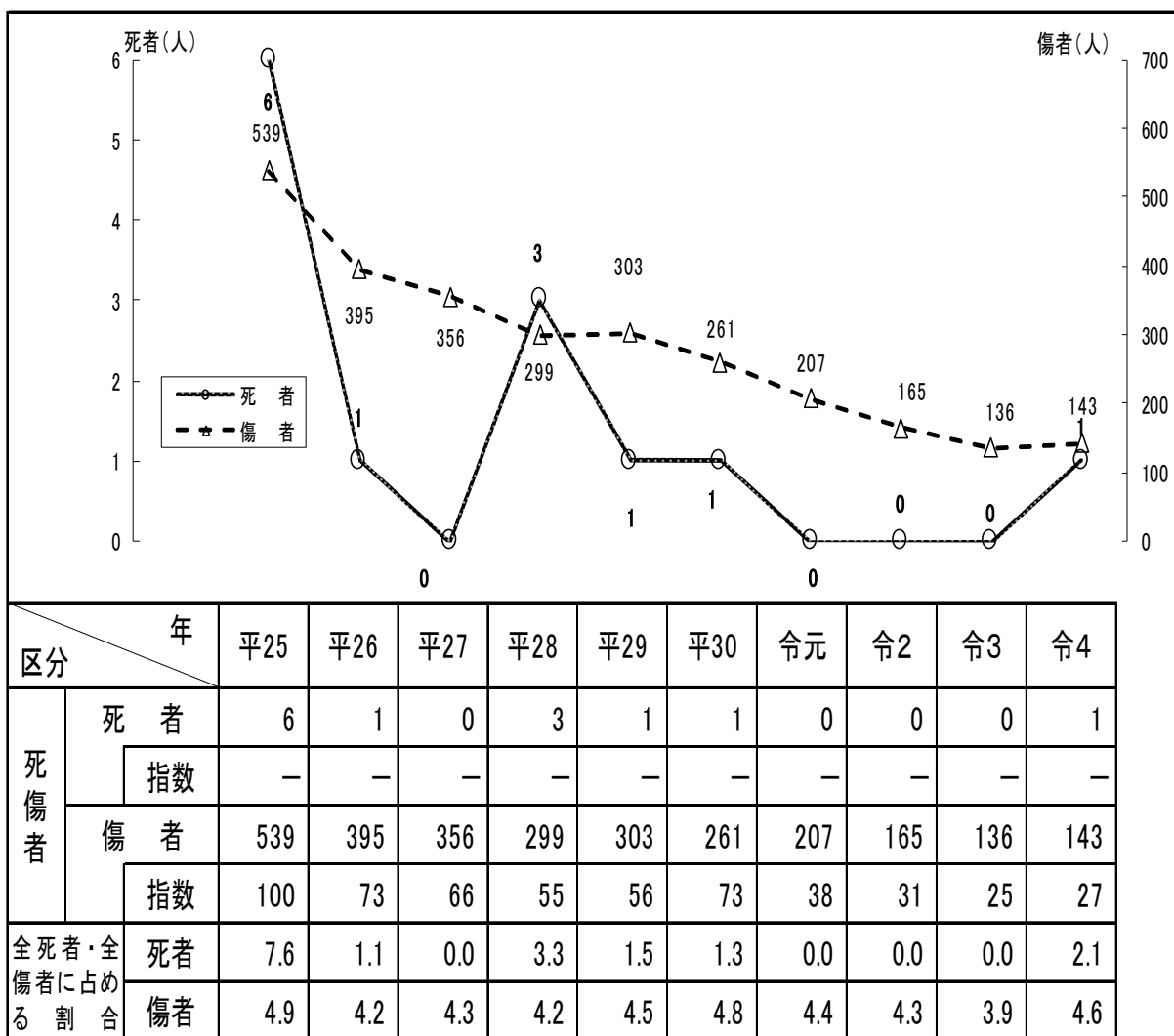
死者数 1人（前年比 +1人）

傷者数 143人（前年比 +7人 5.1%増）

で、死者数・傷者数ともに増加に転じた。

全死者に占める割合は2.1%で、全傷者に占める割合は4.6%で0.7ポイント増加した。

（単位：人・％）



### (2) 月別

傷者数は8月と11月の18人が最も多く、次いで5月が17人となっている。

（単位：人・％）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者					1								1
	傷者	7	10	8	9	17	10	10	18	10	12	18	14	143
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.0	2.1
	傷者	3.0	4.0	3.2	3.6	7.2	3.5	4.6	7.6	3.9	3.8	6.4	4.5	4.6

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の73人(51.0%)が最も多く、次いで自転車乗用中の36人(25.2%)の順となっている。  
(単位:人・%)

状態 区分	自動車 同乗中	自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		運 転	同 乗	運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者								1		1
構成率(%)								100.0		100.0
傷 者	73		1			36		28	5	143
構成率(%)	51.0	0.0	0.7	0.0	0.0	25.2	0.0	19.6	3.5	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位:人)

傷者は、幼児の31人が最も多く、次いで中学1年生の19人、中学2年生の15人の順となっている。

歩行者の傷者は、幼児、小学1・2年生と中学1年生の4人が最も多く、次いで小学3年生と中学3年生の3人となっている。

自転車の傷者は、中学生1年生の11人が最も多く、次いで中学2年生の10人の順となっている。

状態 学齢		歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 園 児	1	3				13	1	16
	幼 稚 園 児		1		1		13	0	15
	計	1	4	0	1	0	26	1	31
小 学 生	1 年		4		1		5	0	10
	2 年		4				5	0	9
	3 年		3		1		7	0	11
	4 年		2		2		8	0	12
	5 年		2		2		6	0	10
	6 年		2		3		9	0	14
計		0	17	0	9	0	40	0	66
中 学 生	1 年		4		11		4	0	19
	2 年				10		5	0	15
	3 年		3		5		4	0	12
	計		0	7	0	26	0	13	0
合 計		1	28	0	36	0	79	1	143

(5) 時間別・昼夜別

(単位:人・%)

傷者は昼間が多く82.5%を占めている。

時間別では、下校時間帯及び放課後となる16~18時の36人が最も多く、次いで14~16時の30人の順となっている。

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮		薄 暮		薄 暮	
死 者		1				1	
構成率(%)		100.0				100.0	
傷 者		118	12	25	8	143	20
構成率(%)		82.5	8.4	17.5	5.6	100.0	14.0

\* 薄暮時は内数

(単位:人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
		死 者							1					
構成率(%)														0.0
傷 者				1	19	16	10	15	30	36	8	5	3	143
構成率(%)		0.0	0.0	0.7	13.3	11.2	7.0	10.5	21.0	25.2	5.6	3.5	2.1	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児は買物での被害が多く、小学生は買物と下校時、中学生は登校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が6.7%、小学生は14.3%、中学生は17.4%となっている。

(単位：人・%)

学齢		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
通学等	登 校		0.0	5	7.9	15	32.6	20	14.4
	学 業 中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下 校	2	6.7	9	14.3	8	17.4	19	13.7
私 用	観 光・ 娛 楽		0.0	5	7.9	1	2.2	6	4.3
	ド ラ イ ブ	2	6.7		0.0		0.0	2	1.4
	散 歩	2	6.7	4	6.3	1	2.2	7	5.0
	飲 食		0.0	2	3.2	1	2.2	3	2.2
	買 物	10	33.3	17	27.0	12	26.1	39	28.1
	訪 問	3	10.0	6	9.5	1	2.2	10	7.2
	帰 省	1	3.3		0.0		0.0	1	0.7
	遊 戯( 路 上 )	2	6.7	3	4.8		0.0	5	3.6
	疾 病 徘 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他	8	26.7	12	19.0	7	15.2	27	19.4
調 査 不 能		0.0		0.0		0.0	0	0.0	
合 計		30	100.0	63	100.0	46	100.0	139	100.0

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

(単位：人・%)

子供の死傷者のうち67.4%が、交差点で事故に遭っている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生歩行者の交差点事故が14人と多い。

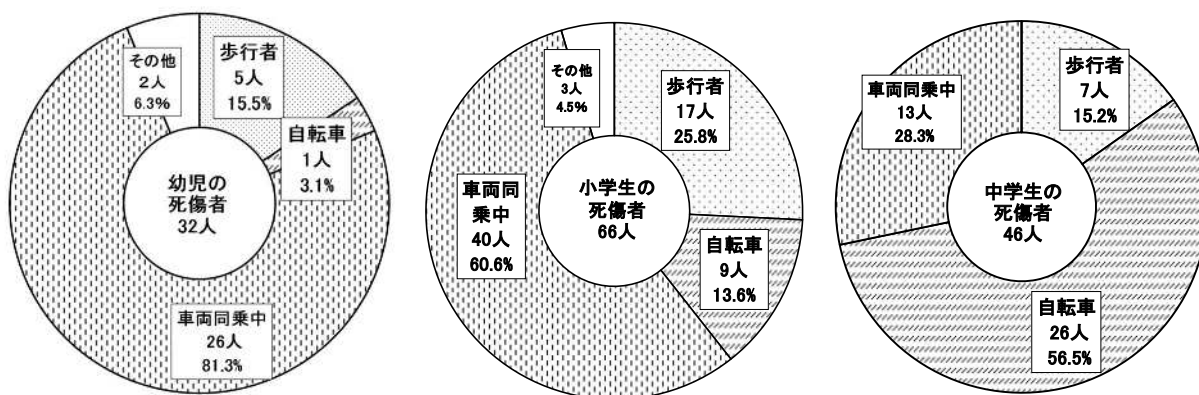
形状	区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点		21	26	50	97
	構成率(%)	21.6	26.8	51.5	
単 路		7	9	21	37
	構成率(%)	18.9	24.3	56.8	
駐 車 場 等		1	1	8	10
	構成率(%)	10.0	10.0	80.0	
合 計		29	36	79	144
	構成率(%)	20.1	25.0	54.9	

(単位：人)

区分	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	2		14	16	① 2	1	10	① 13	1		2	3
小 学 生	14	4	28	46	3	4	8	15		1	4	5
中 学 生	5	22	8	35	2	4	3	9			2	2
合 計	21	26	50	97	7	9	21	37	1	1	8	10

## イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く81.3%を占め、小学生についても60.6%と比率が高くなっている。



## ウ 自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から500メートル以内での事故が48.3%を占め、自転車乗車中については自宅から1 kmメートル以内での事故が55.4%を占めている。

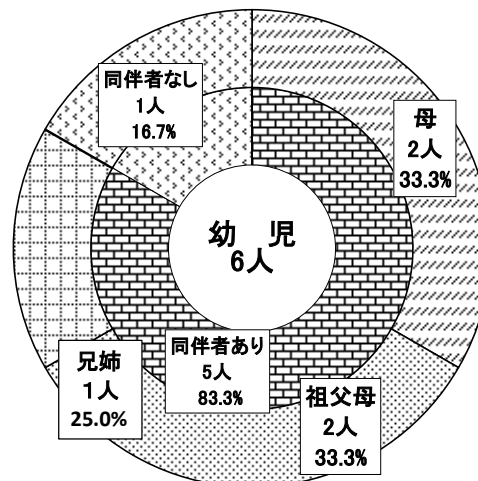
(単位：人・%)

区分 距離	歩行者					自転車					合計					
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計	
	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数
50 m 以下	20.0	1	29.4	5	0.0	0.0	1	20.7	-	0.0	0.0	0.0	1	2.8	7	10.8
100 m 以下	0.0	0	11.8	2	0.0	0.0	2	6.9	-	0.0	0.0	0.0	0	0.0	2	3.1
500 m 以下	20.0	1	17.6	3	28.6	2	20.7	-	22.2	2	19.2	5	19.4	7	13	20.0
1 km 以下	0.0	0	0.0	0	28.6	2	6.9	-	44.4	4	30.8	8	33.3	12	14	21.5
2 km 以下	0.0	0	23.5	4	0.0	0.0	4	13.8	-	22.2	6	23.1	8	22.2	12	18.5
2 km 超過	60.0	3	17.6	3	42.9	3	31.0	-	11.1	1	26.9	7	22.2	8	17	26.2
調査不能	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0
合計	100.0	5	100.0	17	100.0	7	100.0	29	-	100.0	26	100.0	36	100.0	65	100.0

## エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故に遭った傷者6人のうち、「同伴者あり」は5人で、「同伴者なし」は1人となっている。

同伴者は母親・祖父母・兄姉となっている。

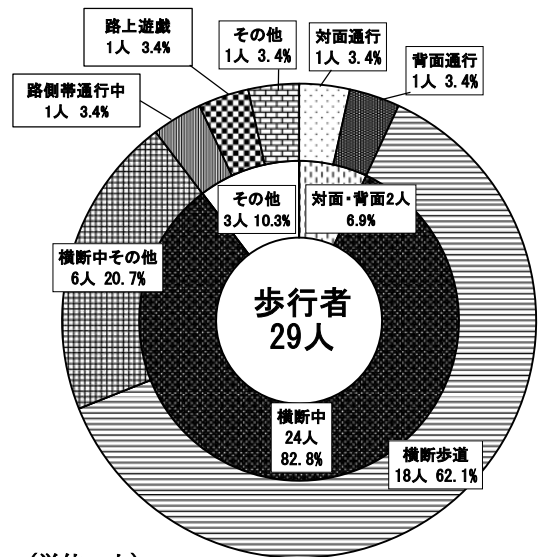


(8) 事故類型

ア 歩行者

事故類型別では横断中が24人と多く、歩行者被害の82.8%を占め、中でも横断歩道での傷者が18人と多く、横断中傷者の7割以上を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機がある横断歩道で小学生の傷者が多くなっている。



(単位：人)

学齢	横断場所	横断歩道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児		2			1
小学生		7	3		4
中学生		3	3		1

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が26人で、自転車乗用中傷者の72.2%を占め最も多い。

また、道路形状別では、交差点での傷者が19人と多く、自転車乗用中傷者の52.8%を占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等		計	その他	合計	構成率(%)	幼児		小学生		中学生	
	交差点内	交差点付近					交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人対車両			0		0	0.0						
車両対車両	正面衝突		0	1	1	2.8		1				
	追突		0	2	2	5.6						
	出会い頭	17	2	19	7	26	72.2		3	3	16	4
	追越・追抜	1		1		1	2.8				1	
	転回・後退時			0		0	0.0		1			
	進路変更・すれ違い時			0		0	0.0					
	右折時	2		2		2	5.6					2
互	左折時	3		3		3	8.3					3
	その他	1		1		1	2.8				2	
計	24	2	26	10	36	100.0	0	1	4	5	22	4
車両単独			0		0	0.0						
列車			0		0	0.0						
合計	24	2	26	10	36	100.0	0	1	4	5	22	4



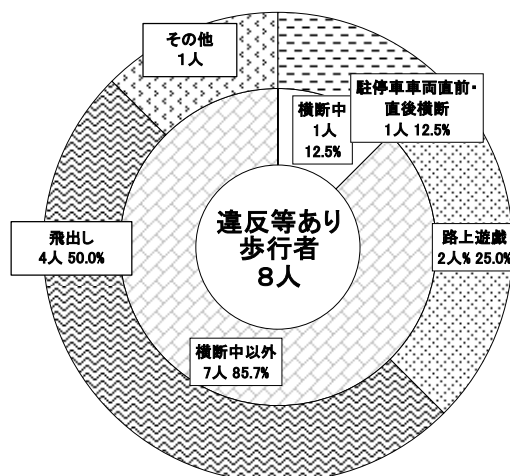
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者29人のうち、何らかの違反が認められた者は8人で、子供の歩行者被害の27.6%を占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが4人と最も多く、違反のあった子供の歩行者被害の50.0%を占めている。

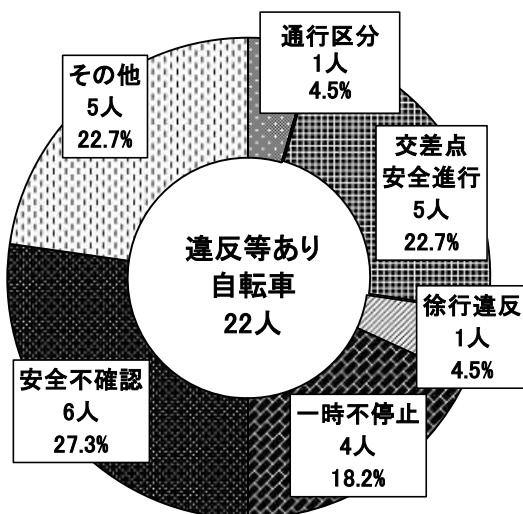
歩 行 者	幼 児	■違反あり 2人 □違反なし 40.0%	3人 60%
	小 学 生	5人 29.4%	12人 70.6%
	中 学 生	1人 14.3%	6人 85.7%
	子 ど も 以 外	74人 22.3%	258人 77.7%



イ 自転車

自転車の傷者36人のうち、何らかの違反が認められたのは22人で自転車傷者数の61.1%を占めている。違反の内容をみると安全不確認が6人（27.3%）で最も多く、次いで交差点安全進行義務違反5人（22.7%）、一時不停止4人となっている。

自 転 車	幼 児	■違反あり 1人 □違反なし 100%	0人 0.0%
	小 学 生	6人 66.7%	3人 33.3%
	中 学 生	15人 57.7%	11人 42.3%
	子 ど も 以 外	135人 47.9%	147人 52.1%



## 5 高校生の事故

### (1) 高校生の事故

#### ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 3件 (前年比 -6件 66.7%減)

死者数 0人 (前年比 -1人 100.0%減)

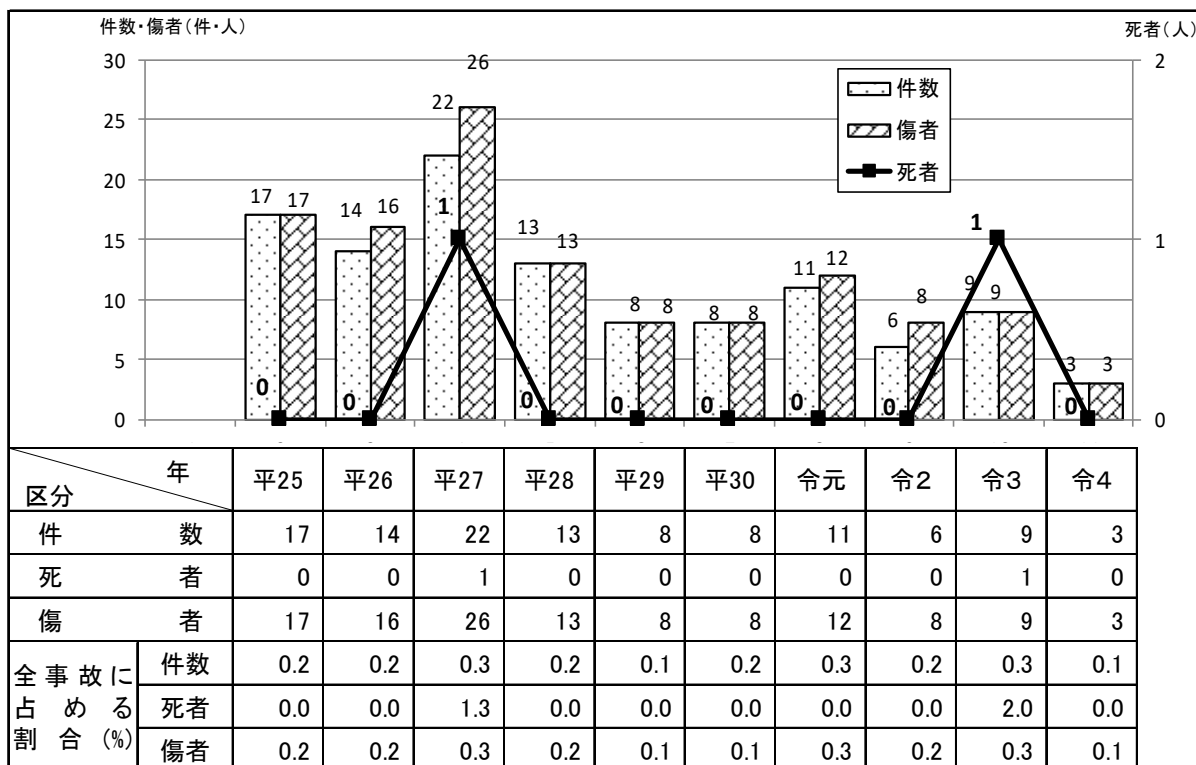
傷者数 3人 (前年比 -6人 66.7%増)

で、発生件数、死者数、傷者数全て減少した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成27年の22件で、令和4年の3件は過去10年で最少であり、最多だった平成27年と比べると86.4%減少している。

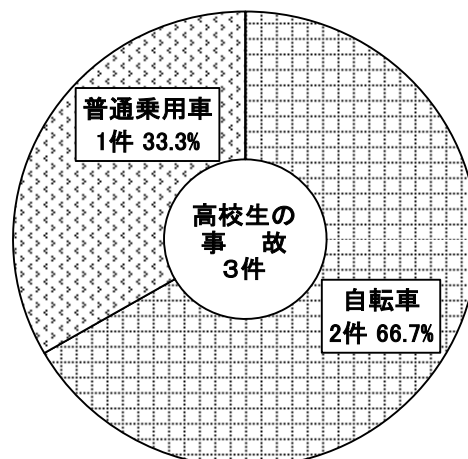
死者は、平成27年、令和3年が1人となっている。

(単位：件・人・%)



#### イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、自転車が2件で66.7%を占め、次いで、普通乗用車の1件(33.3%)となっている。



ウ 違反別

悪質違反による事故は2件で66.7%を占め、一時不停止が2件となっている。

安全運転義務違反による事故は1件で、動静不注視となっている。

(単位：件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数			構成率 (%)	件数	構成率 (%)	件数
悪質違反	信号無視	0.0	169	6.3		徐行違反		0.0	13	0.5	
	最高速度	0.0	4	0.1		安全運転義務違反		0.0	195	7.2	
	通区・追越	0.0	61	2.3		ハンドル・ブレーキ		0.0	591	21.9	
	歩行者妨害等	0.0	175	6.5		前方不注意		0.0	591	21.9	
	一時不停止	2	66.7	226	8.4	動静不注視	1	33.3	348	12.9	
	酒酔い運転		0.0	4	0.1	安全不確認		0.0	572	21.2	
計	2	66.7	639	23.6	安全速度		0.0	33	1.2		
横断禁止等		0.0	6	0.2	その他		0.0	29	1.1		
右・左折違反		0.0	8	0.3	計	1	33.3	1,768	65.4		
優先通行妨害等		0.0	116	4.3	その他		0.0	46	1.7		
交差点安全進行		0.0	106	3.9	合計	3	100.0	2,702	100.0		
					無免許(内数)	1	33.3	13	0.5		

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が全事故より高い割合になっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	2件 66.7%		1件 33.3%
全事故	639件 23.6%	1,768件 65.4%	295件 10.9%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は、自動車で1件、自転車で2件発生し、うち交差点において2件発生し、全事故の66.7%を占める。

(単位：件)

当事者	道路形状	交差点		その他	合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)				右	左
自動車		1			1		
二輪車	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
計		0	0	0	0	0	0
自転車		1	0	1	2		
歩行者					0		
合計		2	0	1	3	0	0

(2) 高校生の被害

ア 概況

交通事故で被害に遭った高校生は

死者数 0人（前年比 ±0人）

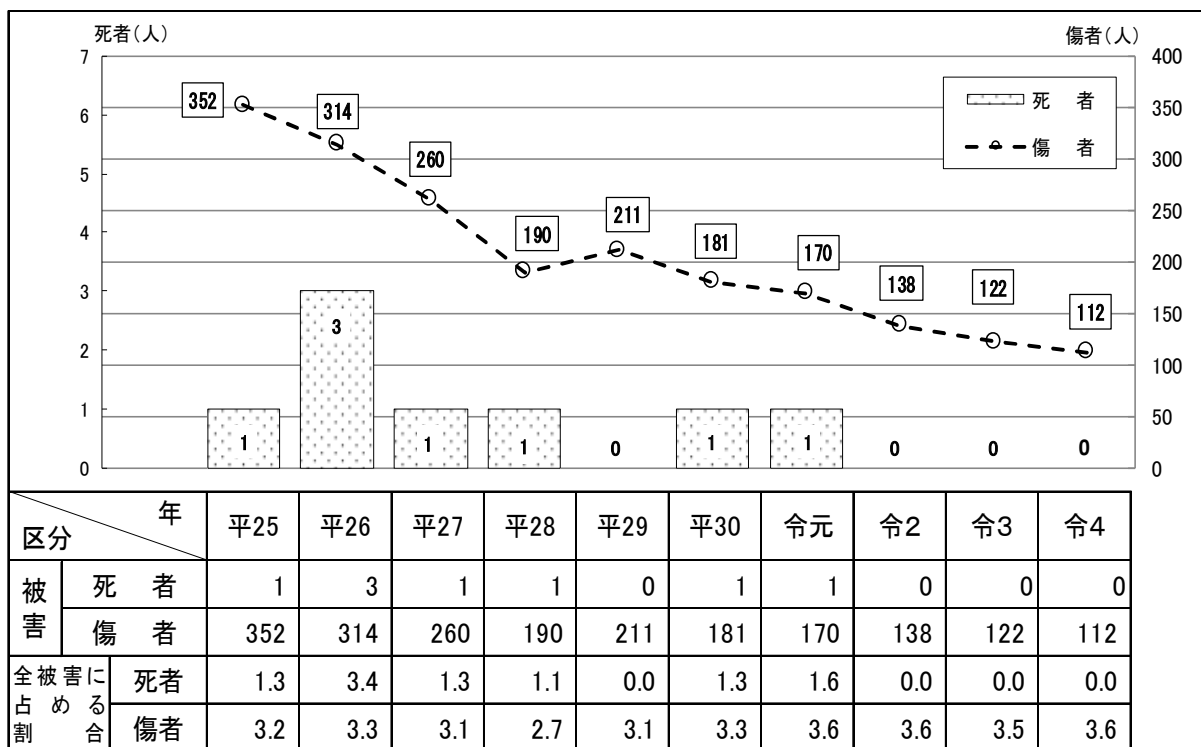
傷者数 112人（前年比 -10人 8.2%減）

で昨年に続き死者は0人で、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の3人で、その他は平成29年、令和2年、令和3年を除き1人が亡くなっている。

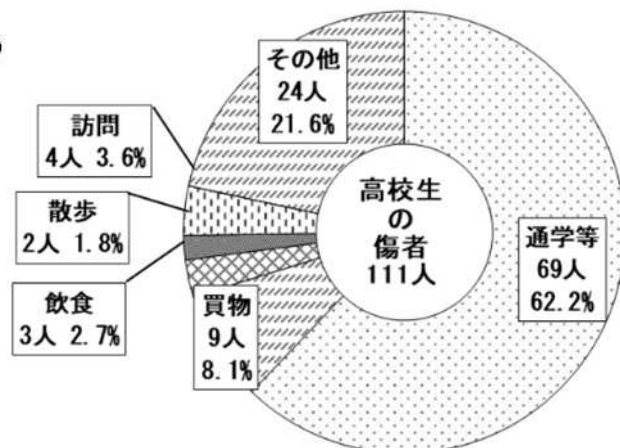
傷者が最も多いのは平成25年の352人で、最も少ないのは令和4年の112人となっており、傷者数を比較すると令和4年は平成25年から約68.2パーセント減少している。

（単位：人・％）



イ 通行目的

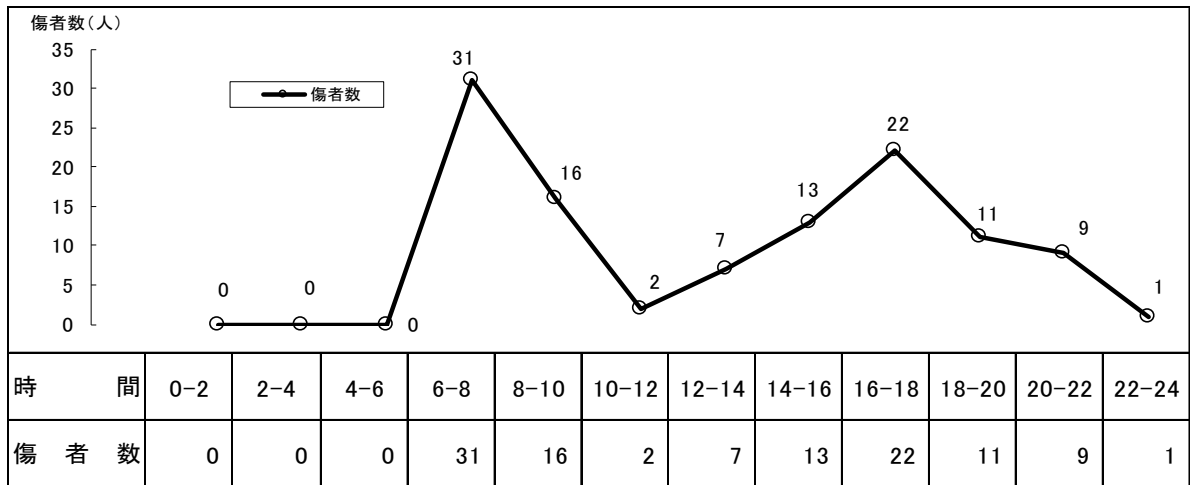
通学等の傷者は69人で高校生傷者の62.2%を占め最も多い。



※通行目的が道路外の人等は除く

ウ 時間別

傷者数は、登・下校時間帯の6～8時が31人、16～18時が22人と多く、この時間帯の傷者は、高校生傷者の47.3%を占めている。 (単位：人)



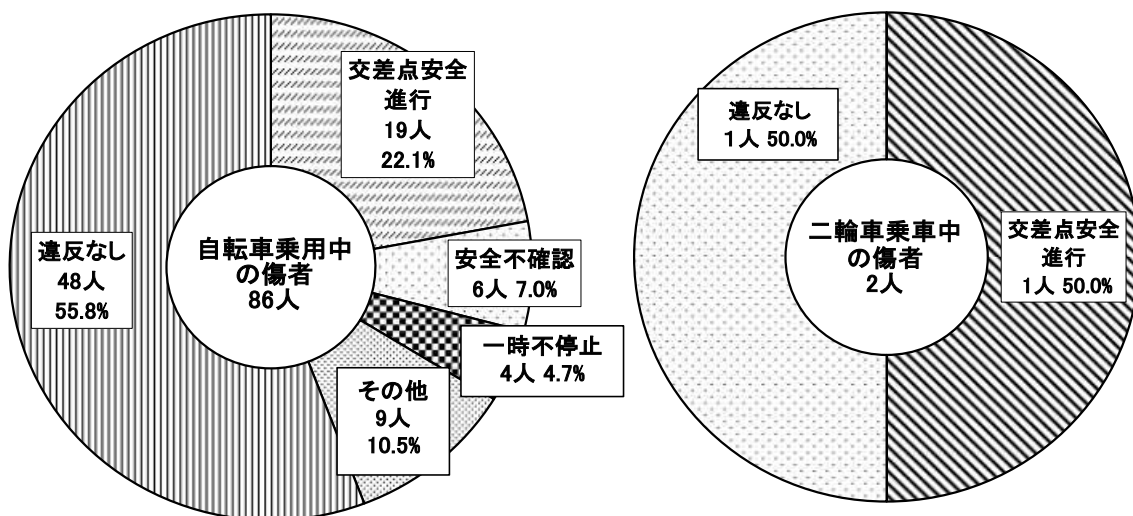
エ 状態別

高校生の傷者は自転車乗用中が86人と最も多く高校生傷者の76.8%を占め、次いで自動車同乗中の17人(15.2%)、歩行中の6人(5.4%)の順となっている。 (単位：人・%)

区分	状態	自 動 車		自動二輪車		原 付 乗 車 中	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	合 計
		運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中					
死 者		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傷 者		0	17	2	0	0	86	6	1	112
	構成率(%)	0.0	15.2	1.8	0.0	0.0	76.8	5.4	0.9	100.0

自転車の違反状況をみると、44.2%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は、交差点安全進行義務違反の1人である。

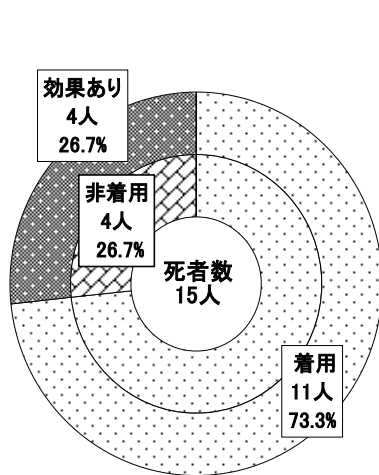


## 6 自動車のシートベルト着用状況

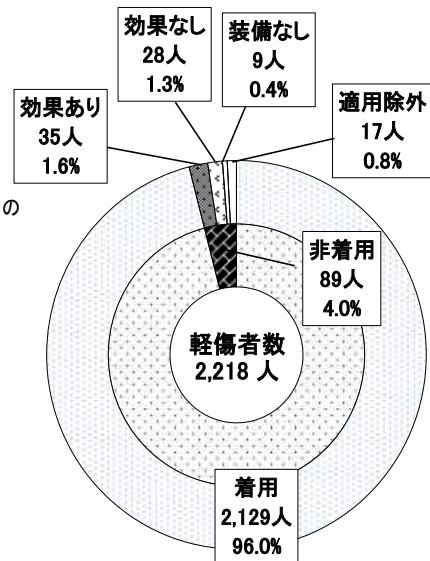
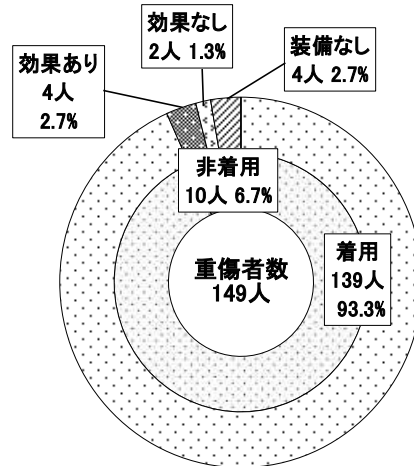
### (1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、軽傷者、重傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用効果の有無を死者でみると、非着用者4人中4人（100.0%）はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。



※着用不明を除いた数



(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、  
 損傷部位等から怪我の程度が軽くすと予想されるもの  
 効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から  
 怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

### (2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.2%、助手席が97.9%、後部席が70.3%である。

死者の着用率は、運転席が83.3%、助手席が50.0%、後部席は0.0%であった。

運転席 ※死者1名着用不明を除く	死者 12人	着用 10人 83.3%	非着用 2人 16.7%
	傷者 1,925人	着用 1,891人 98.2%	非着用 34人 1.8%
助手席	死者 2人	着用 [値]人 50.0%	非着用 1人 50.0%
	傷者 240人	着用 [値]人 97.9%	非着用 5人 2.1%
後部席	死者 1人	非着用 1人 100.0%	
	傷者 202人	着用 142人 70.3%	非着用 60人 29.7%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、25～29歳が0.0%と最も低く、次いで70歳代が57.1%となっている。傷者の着用率は、20歳未満が89.5%と最も低く、25～29歳が97.3%と最も高い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	23	23	100.0	28	27	96.4	73	61	83.6	124	111	89.5
20～24歳	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	128	126	98.4	31	30	96.8	13	8	61.5	172	164	95.3
25～29歳	死 者	1		-			-			-	1	0	0.0
	傷 者	186	181	97.3	24	24	100.0	10	9	90.0	220	214	97.3
30歳代	死 者	1	1	100.0	1	1	100.0			-	2	2	100.0
	傷 者	414	405	97.8	40	39	97.5	20	13	65.0	474	457	96.4
40歳代	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	454	445	98.0	40	40	100.0	23	15	65.2	517	500	96.7
50歳代	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	323	319	98.8	25	24	96.0	20	10	50.0	368	353	95.9
60～64歳	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	118	117	99.2	9	9	100.0	9	6	66.7	136	132	97.1
65～69歳	死 者	2	2	100.0			-			-	2	2	100.0
	傷 者	127	126	99.2	13	12	92.3	5	3	60.0	145	141	97.2
70歳以上	死 者	5	4	80.0	1		-	1		0.0	7	4	57.1
	傷 者	152	149	98.0	30	30	100.0	29	17	58.6	211	196	92.9
合 計	死 者	12	10	83.3	2	1	50.0	1	0	0.0	15	11	73.3
	傷 者	1,925	1,891	98.2	240	235	97.9	202	142	70.3	2,367	2,268	95.8

※死者数は着用不明を除いた数

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、6～8時、18～20時が0%で0～2時、8～10時、14～16時、22～24時が100%となっている。

傷者は14～16時が97.7%と最も高く、0～2時が66.7%と最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	1	1	-			-			-	1	1	100.0
	傷 者	13	12	92.3	5	4	80.0	6		0.0	24	16	66.7
2～4	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	10	9	90.0	3	2	66.7	1		0.0	14	11	78.6
4～6	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	23	22	95.7	5	5	100.0	2		0.0	30	27	90.0
6～8	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	255	252	98.8	8	8	100.0	13	8	61.5	276	268	97.1
8～10	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	249	247	99.2	19	19	100.0	28	19	67.9	296	285	96.3
10～12	死 者	1	1	100.0			-	1		-	2	1	50.0
	傷 者	249	246	98.8	33	33	100.0	30	20	66.7	312	299	95.8
12～14	死 者	2	2	100.0	1		-			-	3	2	66.7
	傷 者	265	260	98.1	47	45	95.7	25	19	76.0	337	324	96.1
14～16	死 者	1	1	100.0			-			-	1	1	100.0
	傷 者	228	224	98.2	40	40	100.0	31	28	90.3	299	292	97.7
16～18	死 者	3	3	100.0	1	1	-			-	4	4	100.0
	傷 者	325	320	98.5	38	38	100.0	43	33	76.7	406	391	96.3
18～20	死 者	1		0.0			-			-	1	0	0.0
	傷 者	206	201	97.6	20	20	100.0	15	11	73.3	241	232	96.3
20～22	死 者			-			-			-	0	0	-
	傷 者	74	70	94.6	15	14	93.3	5	3	60.0	94	87	92.6
22～24	死 者	1	1	-			-			-	1	1	100.0
	傷 者	28	28	100.0	7	7	100.0	3	1	33.3	38	36	94.7
合 計	死 者	12	10	83.3	2	1	50.0	1	0	0.0	15	11	73.3
	傷 者	1,925	1,891	98.2	240	235	97.9	202	142	70.3	2,367	2,268	95.8

※死者数は着用不明を除いた数

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 0人(前年比 ±0人)

傷者数 22人(前年比 6人 37.5%減)

で、昨年に続き死者は0人で、傷者数は増加した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が4人(うち死者0人)、後部座席が18人(うち死者0人)となっている。

【助手席】

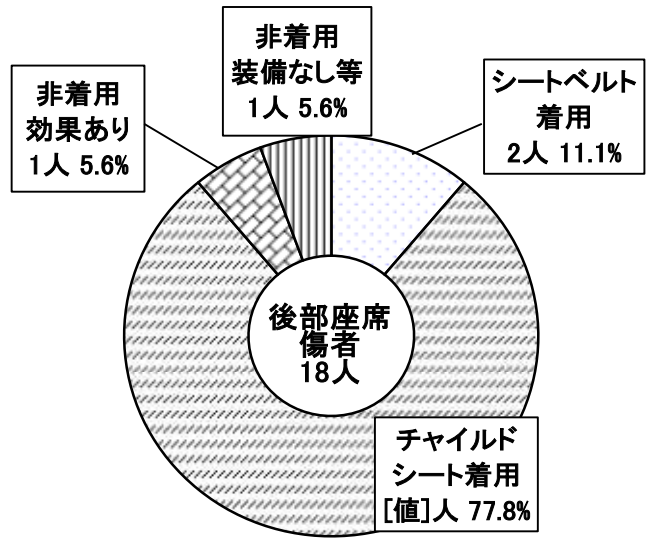
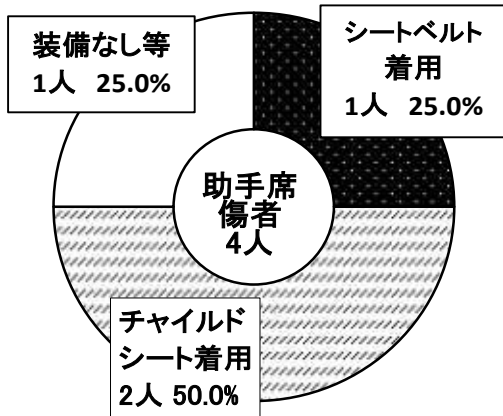
(単位：人)

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	2		
	計	3	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等		1		
合計		4	0	0

【後部座席】

(単位：人)

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	2		
	チャイルドシート	14		
	計	16	0	0
非着用	効果あり	1		
	効果なし			
	計	1	0	0
装備なし等		1		
合計		18	0	0



非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	0人

助手席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	0人

非着用のうち	
効果あり	1人
効果なし	0人

後部座席乗車中のうち	
死亡	0人
重傷	0人



## 7 青年運転者の事故

### (1) 概況

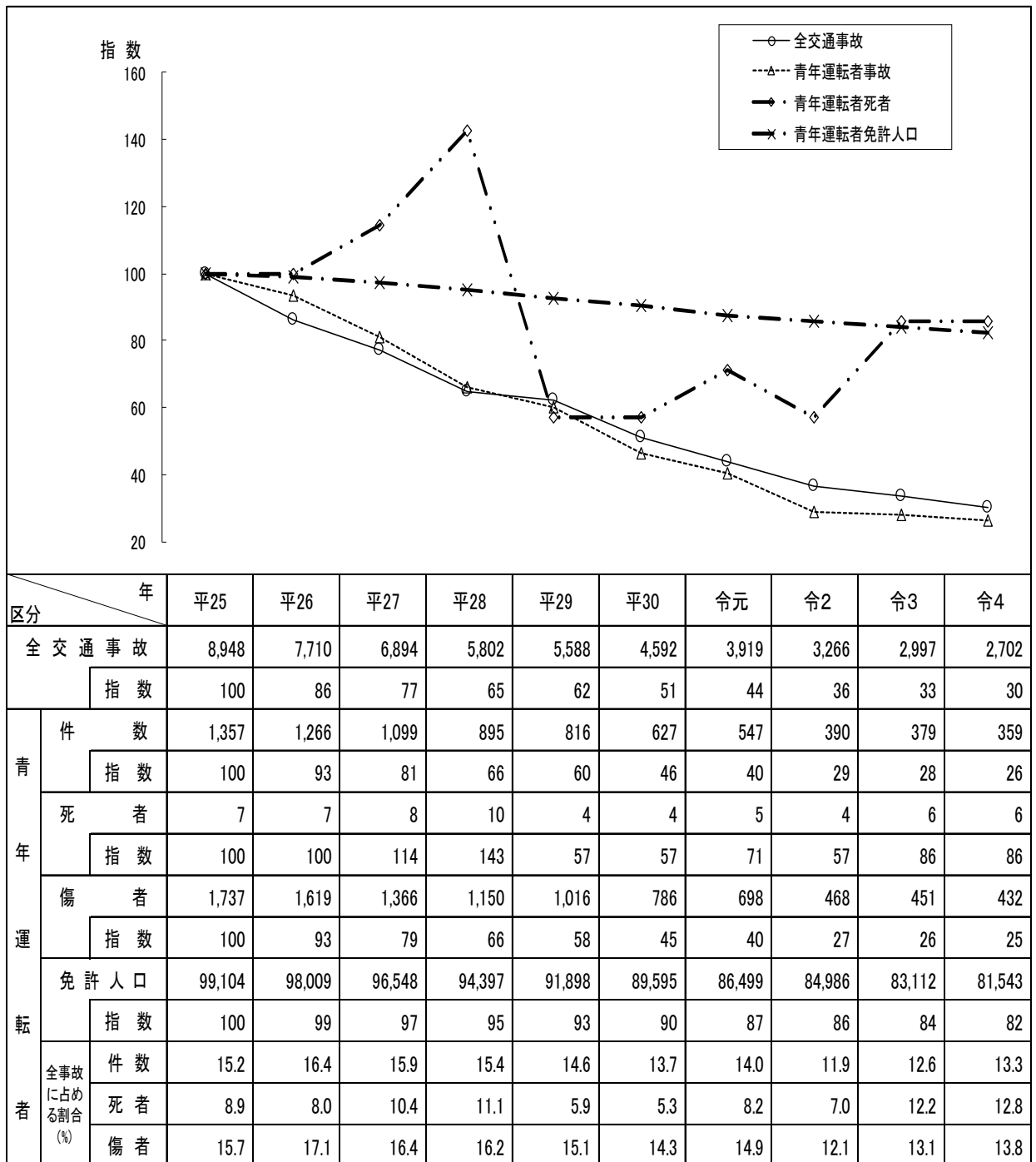
青年運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	359件	(前年比	-20件	5.3%減)
死者数	6人	(前年比	±0人	)
傷者数	432人	(前年比	-19人	4.2%減)

で、発生件数、傷者数は減少し、死者数の増減はなかった。

全事故に占める割合は、件数が13.3%、死者数が12.8%、傷者数が13.8%となっている。

(単位：件・人・%)



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が177件で最も多く、青年運転者の49.3%を占めている。

違反別では、前方不注意が84件で最も多く23.4%を占めている。

悪質違反による事故は76件で青年運転者の21.2%を占め、うち一時不停止が30件と最も多く、次いで信号無視が25件となっている。 (単位：件)

違反	車種	自 動 車						二 輪 車				合計	
		大乗等	普 乗	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	特 殊	小 二	軽 二	原 二		原 付
悪質違反	信号無視		15	9		1							25
	最高速度		2										2
	通区・追越		6	3			1						10
	歩行者妨害等		1	6		2							9
	一時不停止		19	11									30
	酒酔い運転												0
計		0	43	29	0	3	1	0	0	0	0	0	76
横断禁止等			1										1
右折違反													0
左折違反													0
優先通行妨害等			9	7		2							18
交差点安全進行			9	4					1				14
徐行違反													0
過労運転				1									1
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		20	13			1						34
	前方不注意		36	34	5	4	5						84
	動静不注意		24	25	3	3	5						60
	安全不確認		30	25			1						56
	安全速度		4	2									6
	その他			3		1							4
計		0	114	102	8	8	12	0	0	0	0	0	244
その他			1	3	1								5
合計		0	177	146	9	13	13	0	1	0	0	0	359

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20時が62件と最も多く、次いで6～8時、16～18時の59件となっている。

道路別では、が市町村道131件と最も多く、次いで国道が108件となっている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国 道	4号	2		2	5	3	4	5	1	4	7	
6号					3	2	2	2	1	1	5			16
13号									1	1	2	1		5
49号					2		1	1		4	1	1	1	11
三桁				1	4	4	4	4	6	5	9		1	38
計	2		0	3	14	9	11	12	9	15	24	6	3	108
県 道		1			21	12	7	10	7	17	21	6	5	107
市町村道		1	2	2	23	15	14	13	11	24	17	8	1	131
高 速 道						2		1		1				4
そ の 他				1	1	1	1	2		2		1		9
合 計		4	2	6	59	39	33	38	27	59	62	21	9	359

(4) 事故類型別

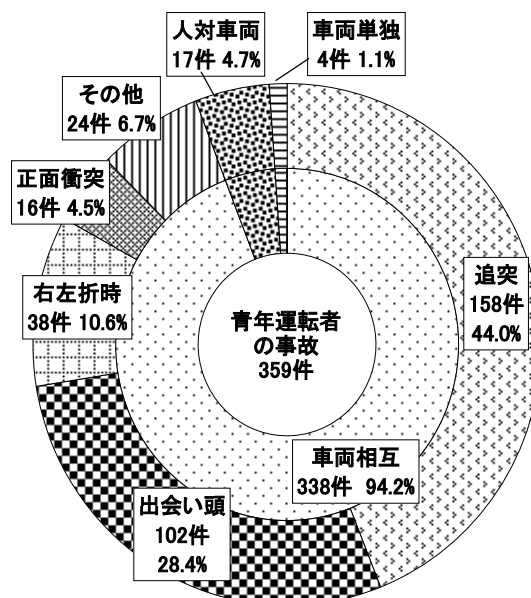
車両相互が338件で青年運転者事故の94.2%を占めている。

特に、

追 突： 158件 (44.0%)

出会い頭： 102件 (28.4%)

が多く、両事故類型を合わせると260件で車両相互の72.4%を占めている。

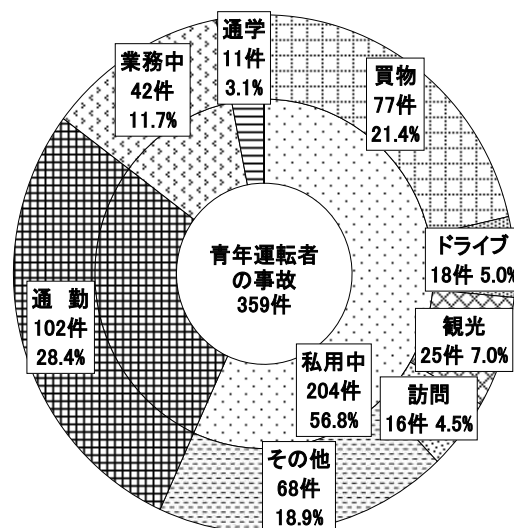


(5) 通行目的別

私用中が204件で青年運転者事故の56.8%を占めている。

特に、買物が77件と多く、私用中事故の21.4%を占め、次いで観光が25件、ドライブが18件となっている。

また通勤時の事故も 102件発生し、青年運転者事故の28.4%を占めている。



(6) 車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が 315件で最も多く、青年運転者事故の87.7%を占めている。

(単位：件)

車種 速度	自動車										二輪車				合計			
	大乗	中乗	乗準	中型	普乗	軽乗	大乗	貨中	貨準	中型	普貨	軽貨	特殊	小		二軽	二原	二原付
停止中																		0
50 km/h以下				151	135			1	3	12	12			1				315
60 km/h以下				14	11				2		1							28
70 km/h以下				6					1									7
80 km/h以下				3														3
90 km/h以下							1											1
100 km/h以下				1														1
101 km/h以上				1					1	1								3
調査不能				1														1
合計	0	0	0	177	146	1	1	7	13	13	0	1	0	0	0	0	0	359

(7) 人的原因別

発見の遅れが239件と多く、青年運転者による事故の66.6%を占めている。

このうち前方不注意が143件と最も多くなっており、発見の遅れの59.8%を占めている。

交通事故の人的原因(第1当)				(単位:件・人)			
合	計	件	数	359	6		
		死傷	者	432			
発見の遅れ				239	3		
	計	死傷	者	291			
前方不注意				143	2		
	計	死傷	者	179			
内在的(漫然等)				55	0		
	計	死傷	者	68			
居眠り運転				3	0		
		死傷	者	5			
ラジオ・ステレオを聴いていた				0	0		
		死傷	者	0			
雑談や携帯電話等で話していた				2	0		
		死傷	者	3			
その他、考え事等の漫然運転				50	0		
		死傷	者	60			
外在的(脇見等)				88	2		
	計	死傷	者	111			
物を落とした、物を取ろうとした				16	1		
		死傷	者	20			
同乗者、同乗の動物等に脇見				5	0		
		死傷	者	6			
スマートフォン、携帯電話等を操作していた				4	0		
		死傷	者	7			
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた				3	0		
		死傷	者	4			
雑誌、地図帳等を見ていた				2	0		
		死傷	者	4			
道、案内標識等を探して脇見				5	0		
		死傷	者	6			
風景、地物等に脇見				30	0		
		死傷	者	37			
他の車、歩行者に脇見				11	0		
		死傷	者	14			
バックミラーやドアミラーを見ていた				0	0		
		死傷	者	0			
その他脇見				12	1		
		死傷	者	13			
安全不確認				96	1		
	計	死傷	者	112			
安全確認をしなかった				37	0		
		死傷	者	45			
安全確認が不十分だった				59	1		
		死傷	者	67			
交通事故の人的原因(第1当)				(単位:件・人)			
判断の誤り等				計	件	数	82
				死傷	者	1	
				死傷	者	97	
動静不注視				計	件	数	69
				死傷	者	1	
				死傷	者	79	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った				件	数	2	
				死傷	者	0	
他の危険を避けようとして注視を怠った				件	数	4	
				死傷	者	0	
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った				件	数	63	
				死傷	者	1	
				死傷	者	70	
予測不適				計	件	数	6
				死傷	者	0	
				死傷	者	10	
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った				件	数	2	
				死傷	者	0	
相手がルールを守ると思った				件	数	0	
				死傷	者	0	
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った				件	数	2	
				死傷	者	0	
他の事故(危険)を避けようと思った				件	数	0	
				死傷	者	0	
その他相手の行動予見等の判断を誤った				件	数	2	
				死傷	者	2	
				死傷	者	7	
交通環境				計	件	数	0
				死傷	者	8	
道路形状、道路線形に対する認識を誤った				件	数	1	
				死傷	者	0	
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った				件	数	4	
				死傷	者	0	
交通規制に対する認識を誤った				件	数	2	
				死傷	者	2	
交通安全施設に対する認識を誤った				件	数	0	
				死傷	者	0	
障害物等に対する認識を誤った				件	数	0	
				死傷	者	0	
その他の交通環境に対する認識を誤った				件	数	0	
				死傷	者	0	
操作上の誤り(操作不適)				計	件	数	37
				死傷	者	0	
				死傷	者	44	
ブレーキとアクセルの踏み違い				件	数	1	
				死傷	者	0	
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ				件	数	9	
				死傷	者	0	
急ブレーキをかけた				件	数	5	
				死傷	者	0	
エンジン・ブレーキを使用しなかった				件	数	0	
				死傷	者	0	
ハンドルの操作不適				件	数	3	
				死傷	者	0	
ギヤの入れ違い				件	数	1	
				死傷	者	0	
ブレーキをかけながらハンドル操作				件	数	1	
				死傷	者	1	
オートスピードコントロール装置等の操作不適				件	数	0	
				死傷	者	0	
その他の操作不適				件	数	17	
				死傷	者	0	
調査不能				件	数	1	
				死傷	者	2	
				死傷	者	0	

## 8 高齢者の事故（65歳以上）

### (1) 高齢運転者による事故

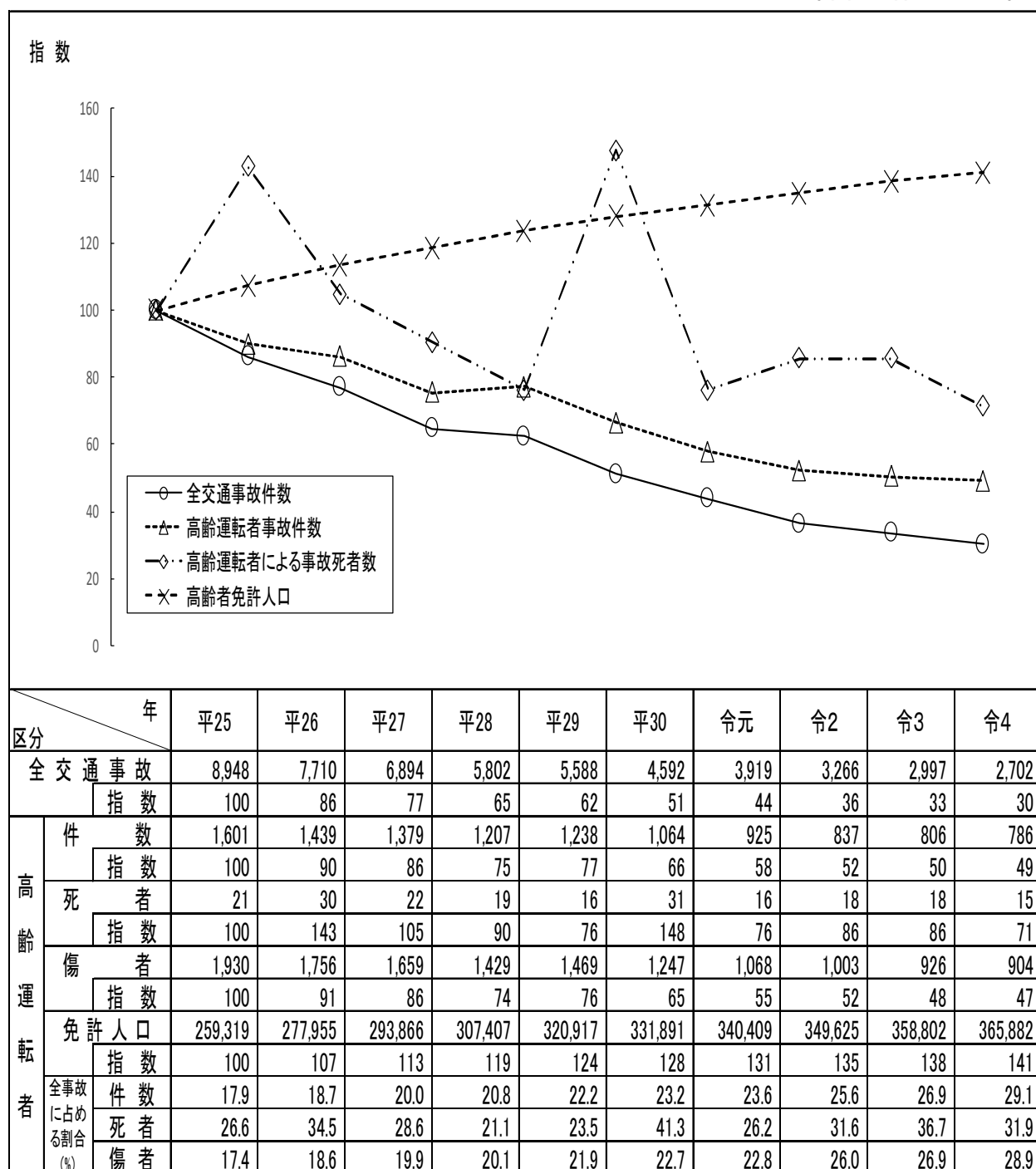
#### ア 概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	786件	（前年比	-20件	2.5%減）
死者数	15人	（前年比	-3人	16.7%減）
傷者数	904人	（前年比	-22人	2.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数は減少した。

（単位：件・人・％）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が139件と最も多く、次いで16～18時の135件、14～16時の126件の順となっている。

8時～18時までの発生が627件と高齢運転者事故の79.8%を占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、526件と高齢運転者事故の66.9%を占めている。

(単位：件)

区分	時間	時間											合計	昼間	夜間	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22				22-24
国 道	4号		1		2	4	11	5	4	7	6	1	2	43	32	11
	6号			1	2	5	2	1	4	3		1		19	16	3
	13号			1	1	2	3		2	2	2			13	9	4
	49号				3	4	5	7		4	2			25	21	4
道	三桁			1	9	15	22	6	20	19	5	3	3	103	83	20
	計	0	1	3	17	30	43	19	30	35	15	5	5	203	161	42
県道				1	20	27	34	36	32	32	13	1	1	197	176	21
市町村道		1		1	31	43	48	54	55	65	22	8	1	329	274	55
高速道													1	1		1
その他		1	2	1	2	7	14	11	9	3	5	1		56	49	7
合計		2	3	6	70	107	139	120	126	135	55	16	7	786	660	126

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が374件で、高齢運転者事故の47.6%を占め、次いで軽乗用車の260件、軽貨物車の111件と続いている。

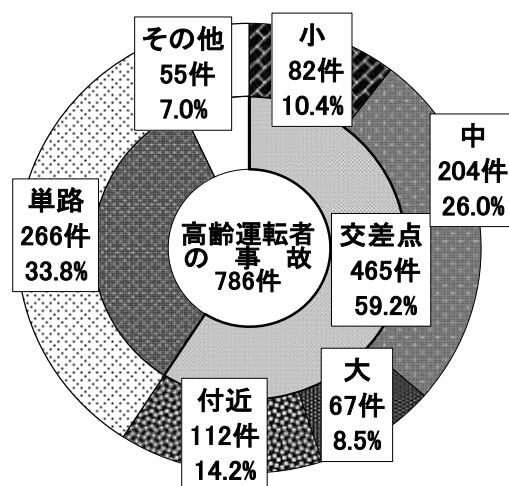
(単位：件)

年齢	車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65～69歳			127	81	9	5	28					250
70歳代		1	184	135	11	10	59	1			2	403
80歳以上		1	63	44			24			1		133
合計		2	374	260	20	15	111	1	0	1	2	786

エ 道路形状別

交差点での事故は465件で、高齢運転者事故の59.2パーセントを占めている。

特に交差点（中）での発生が多く、交差点事故全体の26.0%を占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が188件と最も多く、高齢運転者事故の23.9%を占め、次いで前方不注意が153件となっている。

悪質違反は219件で、一時不停止が72件と最も多く、次いで歩行者妨害等の65件、信号無視の57件の順に多い。

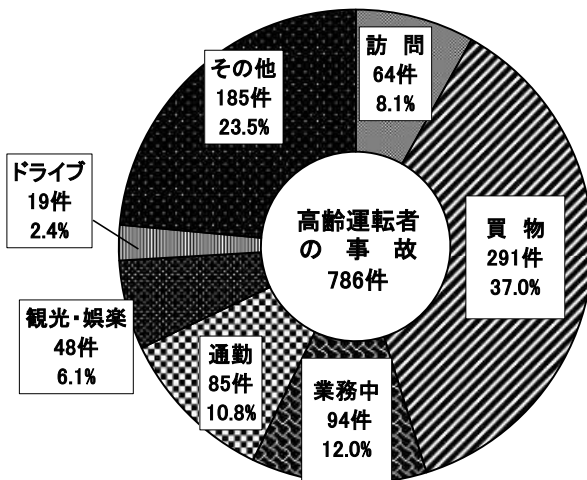
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は27.9%となっており、全年齢運転者の交通事故に占める悪質違反の割合23.8%と比較すると4.1ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

(単位：件・%)

違反 区分	悪質違反						横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計			
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転							ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度			その他		
件数	57	1	24	65	72		219	2	1		44	34	3	59	153	61	188	6	6	473	10	786
構成率(%)	7.3	0.1	3.1	8.3	9.2	0.0	27.9	0.3	0.1	0.0	5.6	4.3	0.4	7.5	19.5	7.8	23.9	0.8	0.8	60.2	1.3	100.0

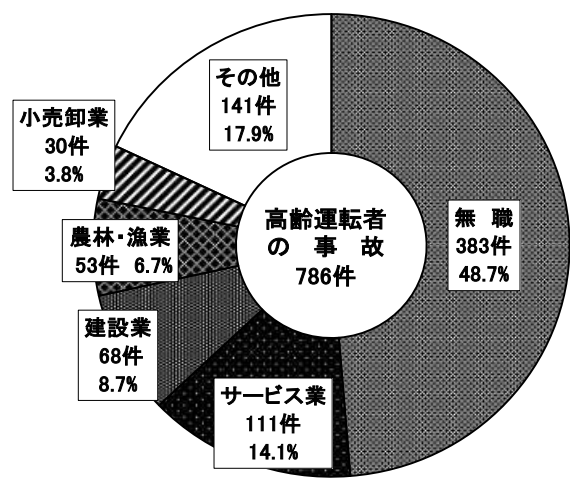
カ 通行目的別

買物が291件と多く、高齢運転者事故の37.0%を占めている。



キ 職業別

無職が383件と最も多く、高齢運転者の48.7%を占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
免許人口		81,543	822,686	365,882	1,270,111
	構成率(%)	6.4	64.8	28.8	100
件数		359	1,526	786	2,671
	構成率(%)	13.4	57.1	29.4	100
死者		6	26	15	47
	構成率(%)	12.8	55.3	31.9	100
傷者		432	1,765	904	3,101
	構成率(%)	13.9	56.9	29.2	100

※ 原付以上の運転者が対象 (不明除く)

(免許人口は令和4年12月末現在)

(2) 高齢者の死傷者

ア 概況

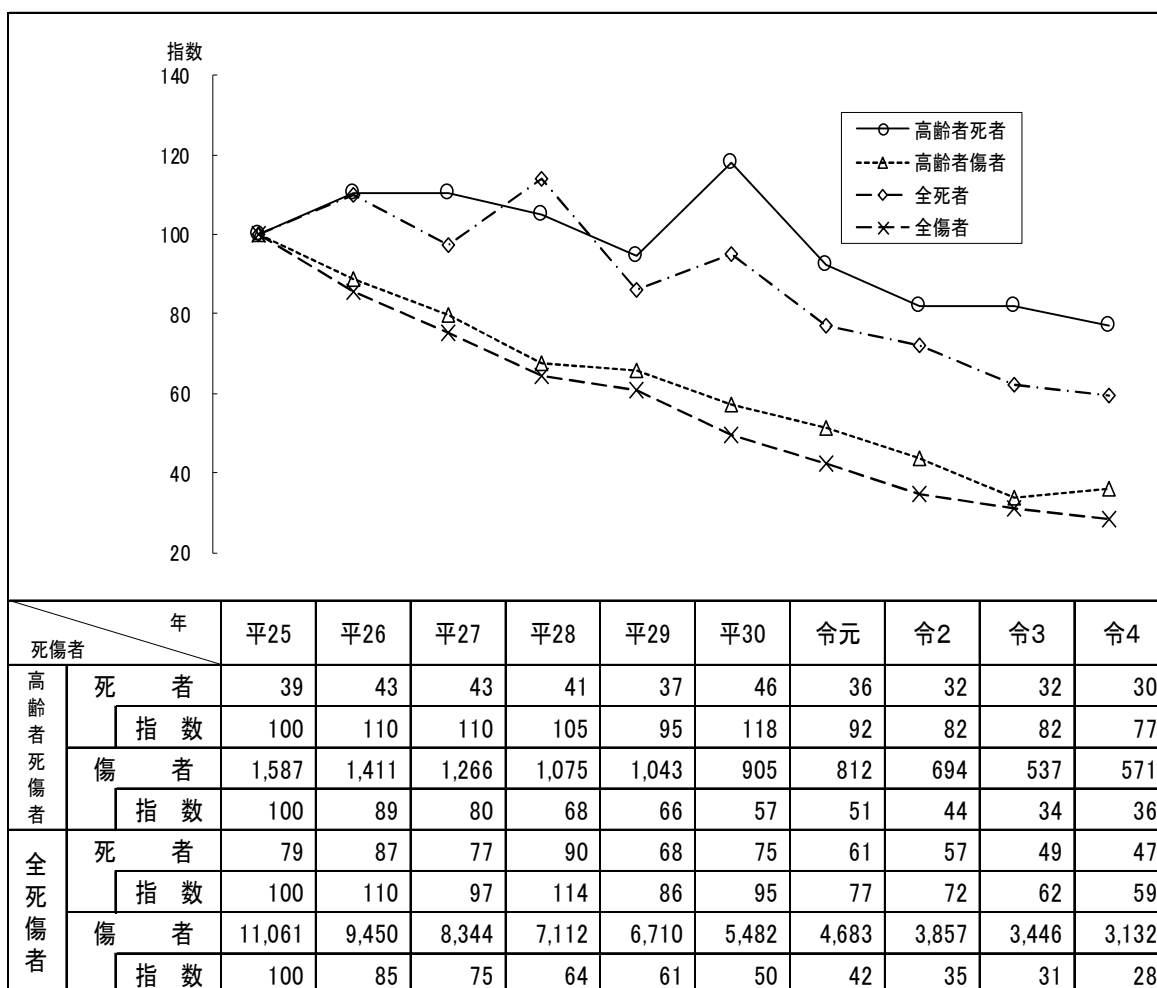
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 30人（前年比 -2人 6.3%減）

傷者数 571人（前年比 34人 6.3%増）

で、死者数は減少し、傷者数は増加した。

（単位：人）



イ 道路別

市町村道での死傷者が多く、死者は9人で高齢者死者の30.0%、傷者は223人で高齢者傷者の39.1%を占めている。

（単位：人・%）

区分	道路	国 道					計	県 道	市町村道	高 速	そ 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁						
死 者	死者	1			3	5	9	9	9		3	30
	構成率(%)	3.3	0.0	0.0	10.0	16.7	30.0	30.0	30.0	0.0	10.0	100.0
傷 者	傷者	41	23	4	18	72	158	146	223	4	40	571
	構成率(%)	7.2	4.0	0.7	3.2	12.6	27.7	25.6	39.1	0.7	7.0	100.0

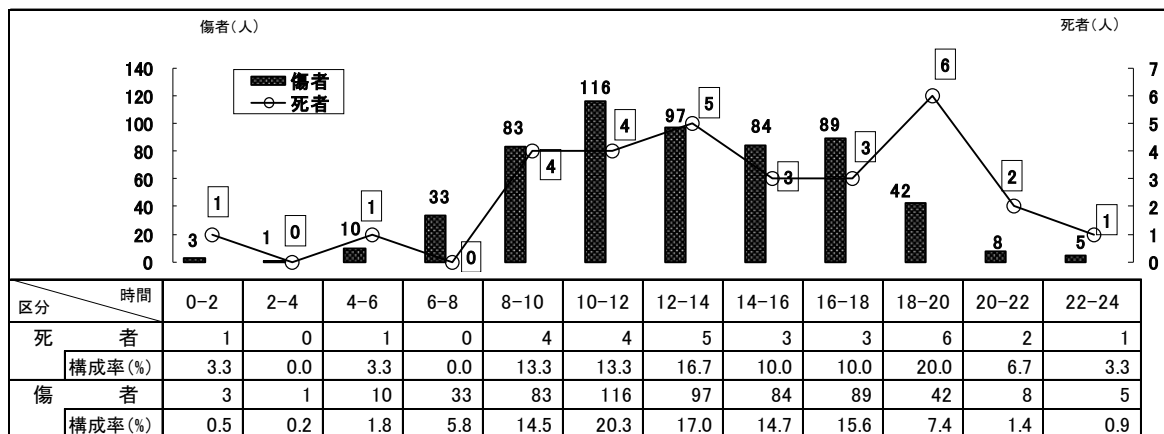


ウ 時間別

死者は18～20時の6人が最も多く、高齢者死者の20.0%を占め、次いで12～14時の5人、8～10時、10～12時の4人の順となっている。

傷者は10～12時の116人が最も多く、高齢者傷者の20.3%を占め、次いで12～14時の97人、16～18時の89人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者の19人が最も多く、高齢死者の63.3%を占め、次いで四輪運転の7人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。

(単位：人)

状態	年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
歩 行 者		5	21	4	53	10	62	19	136
自 転 車		1	7	1	28		28	2	63
原 付			3		4		2	0	9
自 二			3				1	0	4
四 輪 運 転		2	127	5	126		26	7	279
四 輪 同 乗			18	1	38	1	21	2	77
そ の 他			1				2	0	3
合 計		8	180	11	249	11	142	30	571

オ 違反別

(ア) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは9人で47.4%を占め、横断歩道外横断が4人と多く、傷者のうち何らかの違反があったのは32人で23.5%を占め、横断歩道外横断が20人と多くなっている。

(単位：人)

区分	違反	違 反 あ り								違 反 な し	合 計	
		信号無視	通行区分	横 断					酩酊・徘徊			その他
				横歩道断外	斜め横断	駐車停車面	走直前直後	横止断場所				
死 者		1	1	4				1	1	1	10	19
傷 者		2	2	20	1	1	3		2	1	104	136

(イ) 自転車

死者の違反については、安全不確認1人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは31人で49.2%を占め、うち安全不確認が9人と多い。

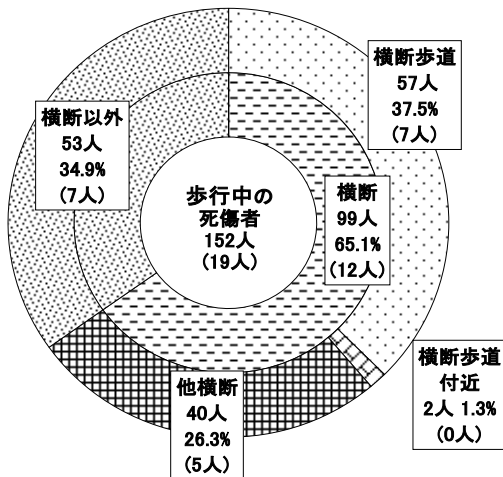
(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優妨先通行害	交安差点行	一時不停止	酒酔い	安不確全認	その他		
死者								1		1	2
傷者	2	1			6	1		9	12	32	63

カ 事故類型別

(ア) 歩行者

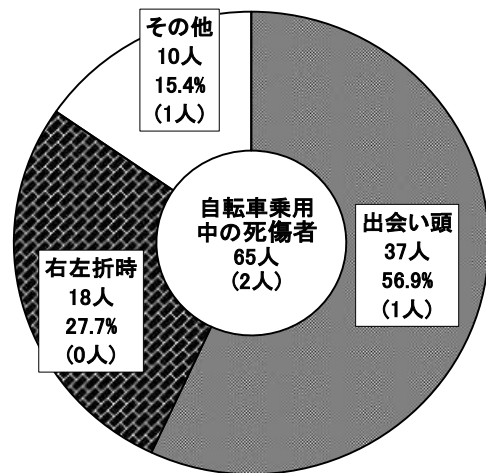
横断が152人と多く、歩行中死傷者の65.1%を占めている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

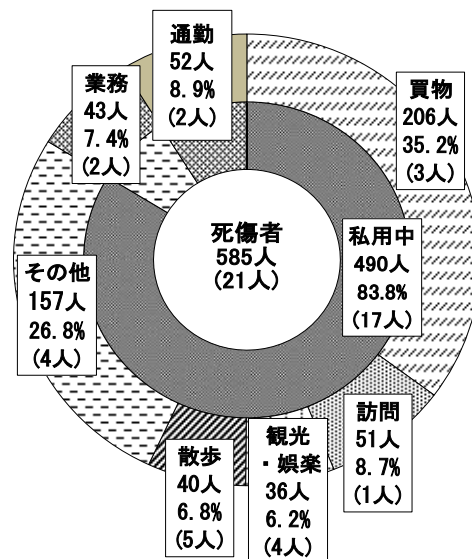
(イ) 自転車

出会い頭事故が37人と多く、自転車事故死傷者の56.9%を占めている。



キ 通行目的別

買物が206人と最も多く、高齢者死傷者全体の35.2%を占め、次いで通勤・訪問と続いている。



\*1 ( )内は死者で内数  
\*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

## 9 初心運転者の事故

### (1) 概況

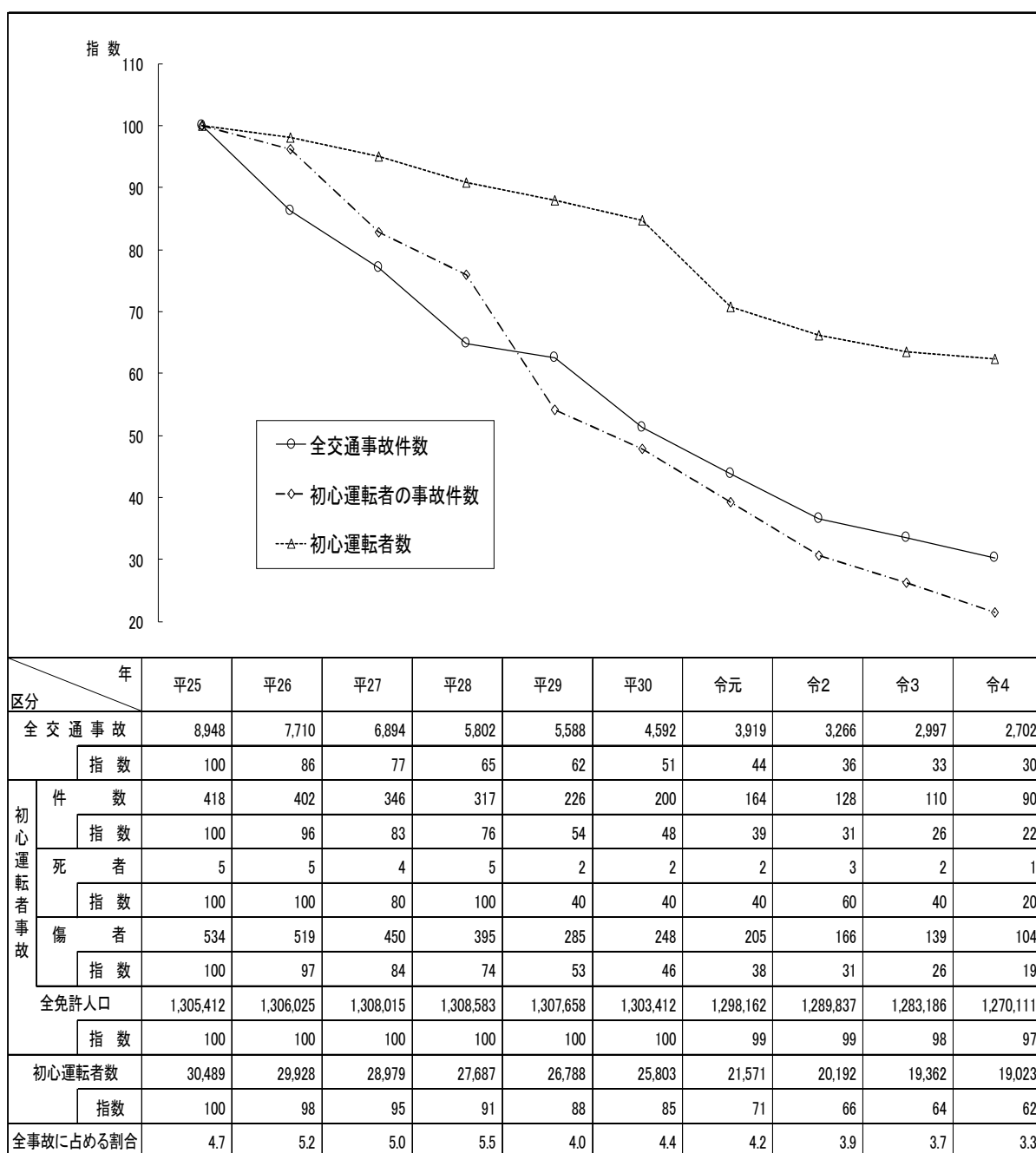
初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	90件	(前年比	-20件	18.2%減)
死者数	1人	(前年比	-1人	50.0%減)
傷者数	104人	(前年比	-35人	25.2%減)

で、発生件数、死者数、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数は減少傾向にあり、全事故に占める初心運転者の事故割合もおおよそ減少傾向にある。

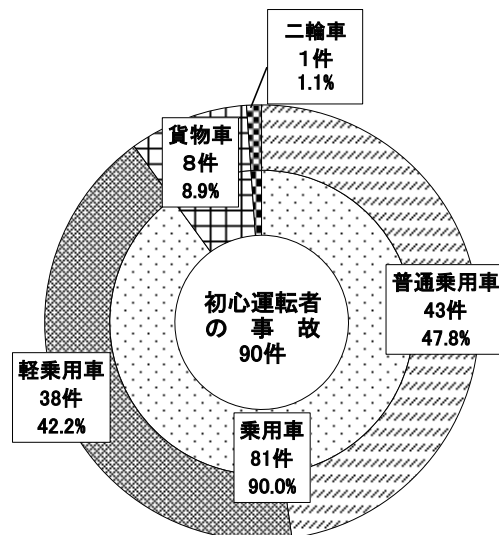
(単位：件・人・%)



(2) 車種別

乗用車が81件で初心運転者事故の90.0%を占め、普通乗用車の占める割合が47.8%と高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、小型二輪による事故3件のうち1件は初心運転者の事故で、その割合は33.3%であった。



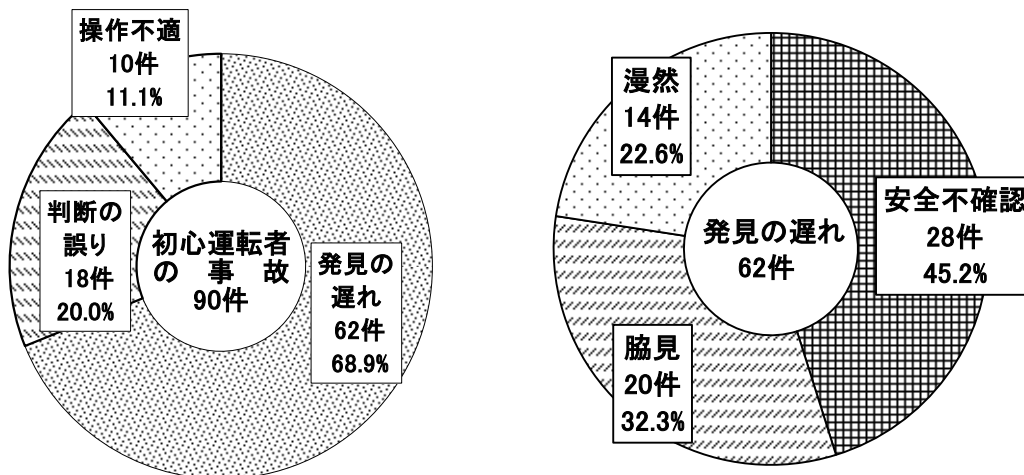
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合	
		件数	割合
大型・中型・準中乗用車	0	0.0	
普通乗用車	43	3.2	
軽乗用車	38	4.4	
普通貨物車	2	1.8	
軽貨物車	6	2.7	
大型・中型・準中貨物車	0	0.0	
特殊車	0	0.0	
小型二輪車	1	33.3	
軽二輪車	0	0.0	
二種原付	0	0.0	
原付	0	0.0	

(3) 人的原因

発見の遅れが62件で最も多く、初心運転者事故の68.9%を占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が28件と最多で、脇見が20件、漫然が14件となっている。



(4) 違反別

前方不注意が22件で初心運転者事故の24.4%を占め最も多く、次いで多いのが安全不確認の13件となっている。

悪質違反は22件で同事故の24.4%を占め、うち一時不停止が10件で最も多く、次いで信号無視が7件となっている。両違反を合わせると17件となり、悪質違反の77.3%を占めている。

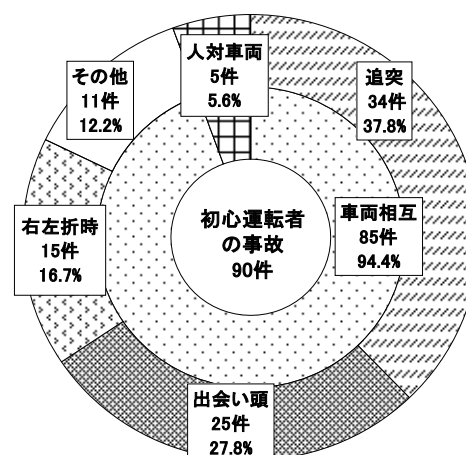
(単位：件・%)

違反		件数	構成率(%)	違反		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	7	7.8	安全運転義務違反	徐行違反		0.0
	最高速度	1	1.1		過労運転		0.0
	通区・追越	2	2.2		ハンドル操作		0.0
	歩行者妨害等	2	2.2		ブレーキ操作	8	8.9
	一時不停止	10	11.1		前方不注意	22	24.4
	酒酔い運転		0.0		動静不注意	12	13.3
計	22	24.4	安全不確認		13	14.4	
横断禁止等		0.0	安全速度		2	2.2	
車間距離不保持		0.0	予測不適			0.0	
進路変更禁止		0.0	その他		2	2.2	
右・左折違反		0.0	計	59	65.6		
優先通行妨害等	5	5.6	その他		0.0		
交差点安全進行	4	4.4	合計	90	100.0		

(5) 事故類型別

車両相互の事故が85件で初心運転者事故の94.4%を占めている。

その中でも追突が34件と多く、次いで出会い頭が25件と続いており、両事故で65.6%を占めている。



(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、買い物、出勤、退社が多く、合わせて50件で初心運転者事故の55.6%を占めており、年齢別では19歳未満の事故が62件(68.9%)となっている。

(単位：件・%)

通行目的		件数	構成率(%)	年齢別		件数	構成率(%)
業務	職業運転		0.0	青年	16～19歳	62	68.9
	業務目的	3	3.3		20～24歳	22	24.4
通勤等	出勤	16	17.8		計	84	93.3
	退社	14	15.6	年齢別	25～29歳	1	1.1
	通学	5	5.6		30歳代	3	3.3
私用	観光・娯楽	3	3.3		40歳代	1	1.1
	ドライブ	7	7.8		50歳代	0	0.0
	散歩		0.0		60～64歳		0.0
	飲食	2	2.2	計	5	5.6	
	買い物	20	22.2	高齢者	65～69歳		0.0
訪問	3	3.3	70歳代			0.0	
帰省	2	2.2	80歳以上		1	1.1	
その他	15	16.7	計	1	1.1		
調査不能		0.0	合計	90	100.0		
合計	90	100.0	(内数)高校生		0.0		

## 10 飲酒運転の事故

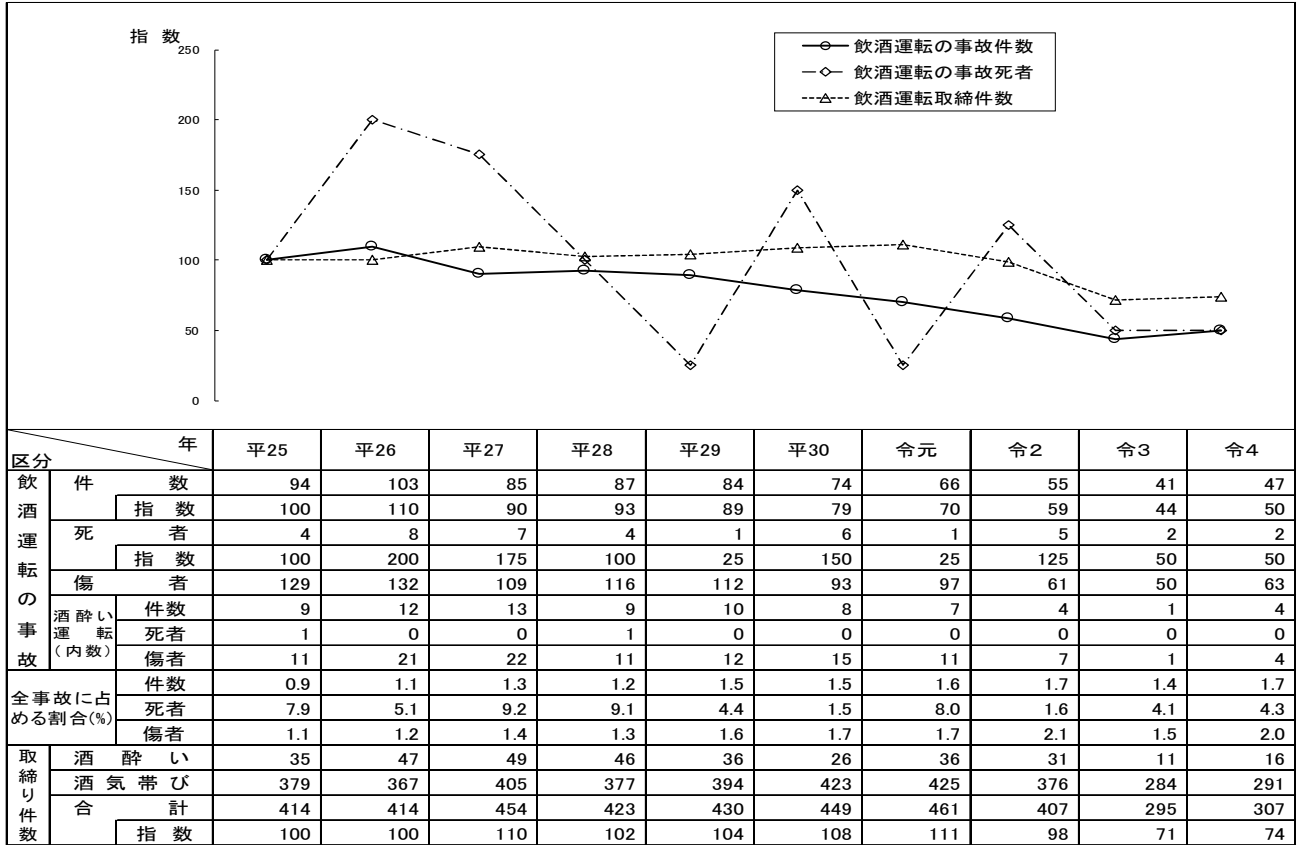
(注)各表の○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

### (1) 概況

第1当事者が飲酒の状態車両を運転して起こした事故は、

発生件数 47件（前年比 6件 14.6%増） うち酒酔い 4件 前年比+3件  
 死者数 2人（前年比 ±0人） うち酒酔い 0人 前年比±0人  
 傷者数 63人（前年比 13人 26.0%増） うち酒酔い 4人 前年比+3人

で、死者数は、前年と同数であったが発生件数、傷者数が増加した。 (単位：件・人・%)



### (2) 月別

飲酒運転が最も多いのは11月の8件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	2	① 3	3	1	4	① 7	1	6	2	① 3	① 8	7	④ 47
	全事故に占める割合	1.0	1.4	1.4	0.5	2.0	2.9	0.5	2.9	1.0	1.1	3.3	2.7	1.7
死者	死者											1	1	2
傷者	傷者	2	① 3	4	1	7	① 7	1	8	3	① 6	① 9	12	④ 63
	全事故に占める割合	1.0	1.4	1.4	0.5	2.0	2.9	0.5	2.9	1.0	1.1	3.3	2.7	1.7

(3) 曜日・時間別

日曜日が12件と最も多く、次いで土曜日の10件となっている。

時間別では、20～22時が9件と多く、次に16～18時が8件と多い。

(単位：件・%)

曜日 時間	曜日							合計		全事故に占める割合
	日	月	火	水	木	金	土	件数	割合	
0～2	2							2		9.1
2～4	① 2						1	① 3		17.6
4～6			2	2	1			5		12.5
6～8		1	1			3	1	6		1.8
8～10		1			1		① 1	① 3		0.9
10～12				1			2	3		0.9
12～14		1	① 1		1	1	① 1	② 5		1.5
14～16								0		0.0
16～18		1	1		1	3	1	8		1.8
18～20		2						2		0.7
20～22		2			3	1	3	9		8.0
22～24					1			1		2.2
合計	① 12	2	① 3	8	6	6	② 10	④ 47		1.7
全事故に占める割合	4.4	0.5	0.7	1.9	1.6	1.3	2.7	1.7		

(4) 発生地別

市部で42件発生し、飲酒運転の89.4%を占めている。特に郡山市、いわき市が多く、二市の合計は24件で、市部の57.1%を占めている。

(単位：件・人)

発生地 区分	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
	件数	② 4				8	2	6		2	2	① 16	1	1	① 5
死者											2				2
傷者	② 4				14	2	11		6	2	① 16	1	1	① 6	④ 63

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が18件で飲酒運転の38.3%を占めている。

死者は2人で、県道、市町村道で1人となっている。

(単位：件・人)

道路 区分	国道					計	県道			市町村道	町道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般県道	計				
件数		5	4		3	5	17	① 5	6	11	③ 18	1	④ 47
死者							0		1	1	1		2
傷者		8	4		5	8	25	① 8	9	17	③ 20	1	④ 63

(6) 事故類型別

(単位：件・人)

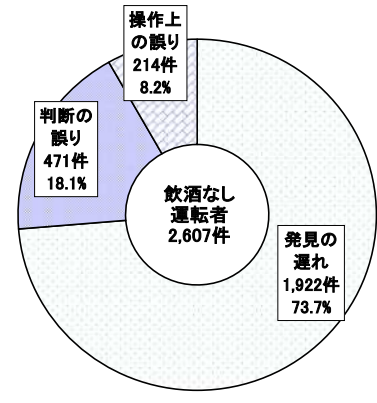
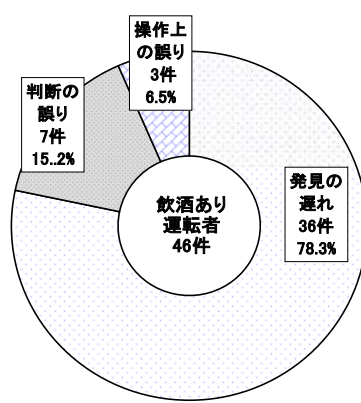
追突が最も多く、20件(42.6%)となっており、次いで出会い頭9件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の約8割と高い割合を占めている。

事故類型	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	全事故に占める割合(%)
	横断中	5	10.6		4	2.3
	その他	① 1	2.1		① 1	1.2
	計	① 6	12.8		① 5	1.7
車対車	正面衝突	4	8.5		4	3.8
	追突	① 20	42.6		① 31	2.2
	出会い頭	② 9	19.1		② 13	1.2
	回時		0.0			0.0
	右・左折時	4	8.5		5	1.4
	その他	1	2.1		1	0.4
	計	③ 38	80.9	0	③ 54	1.6
車対単独	工作物衝突	2	4.3		4	7.4
	路外逸脱		0.0			0.0
	駐車車両衝突		0.0			0.0
	転倒		0.0			0.0
	その他	1	2.1	1		14.3
	計	3	6.4	1	4	5.9
列車			0.0			0.0
合計	④	47	100.0	2	④ 63	1.7

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」の割合が4.6%と高くなっている。



※ 調査不能1件を除く

※ 第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8) 飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「少ししか飲まない」が11件、次いで「交通量が少なかった」が6件と多く、両項目で飲酒運転事故の36.2%を占めている。

(単位：件・人)

動機 区分	件数	構成率(%)	飲酒運転のうち											
			酒酔い運転	酒気帯び運転	その他不明	合計	酒酔い運転	酒気帯び運転	その他不明	合計				
他に乗り物がた	3	6.4												
なにかの困る	2	4.3												
翌日の困る	11	23.4												
少ししか飲まない	3	6.4												
酔まいしをたく	3	6.4												
車を置いていく	0	0.0												
のりが不安	3	6.4												
運転が代わった	5	10.6												
深夜なでた	6	12.8												
大丈夫と思っ	14	29.8												
交通量がた	47	100.0												
少ない	1	2												
その他不明	17	63												
合計	47	100.0	4	39	8.5	83.0	2	2	4	55				

飲酒理由は「酒好き・晩酌等」が最も多く32件で68.1%を占めている。

飲酒場所は「自宅」が22件で46.8%を占めている。

(単位：件・人)

飲酒理由 飲酒場所	件数	構成率(%)	飲酒理由										合計	構成率(%)	
			忘年会	新年会	歓送迎会等	冠婚葬祭	等行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等と	のつきあい			酒好き等
自宅	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1	22	46.8
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
知人・友人宅	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	1	27	
取引・勤務先	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
料理店・キャバレー・パブ・スナック	死者	1	1	0	0	0	0	0	0	5	6	1	1	14	29.8
	傷者	5	1	0	0	0	0	0	0	8	7	1	1	22	
その他の料理店	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	7	14.9
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	0	0	11	
旅館・ホテル等の宿泊施設	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.1
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
ドライブイン・酒類販売店等	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自動販売機付近	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(不明)	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	6.4
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	
合計	死者	1	1	0	0	0	0	0	0	9	32	4	1	47	100.0
	傷者	5	1	0	0	0	0	0	0	15	39	3	2	63	

件数の構成率(%)	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.1	68.1	8.5	100.0
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-------



## 11 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

### (1) 概況

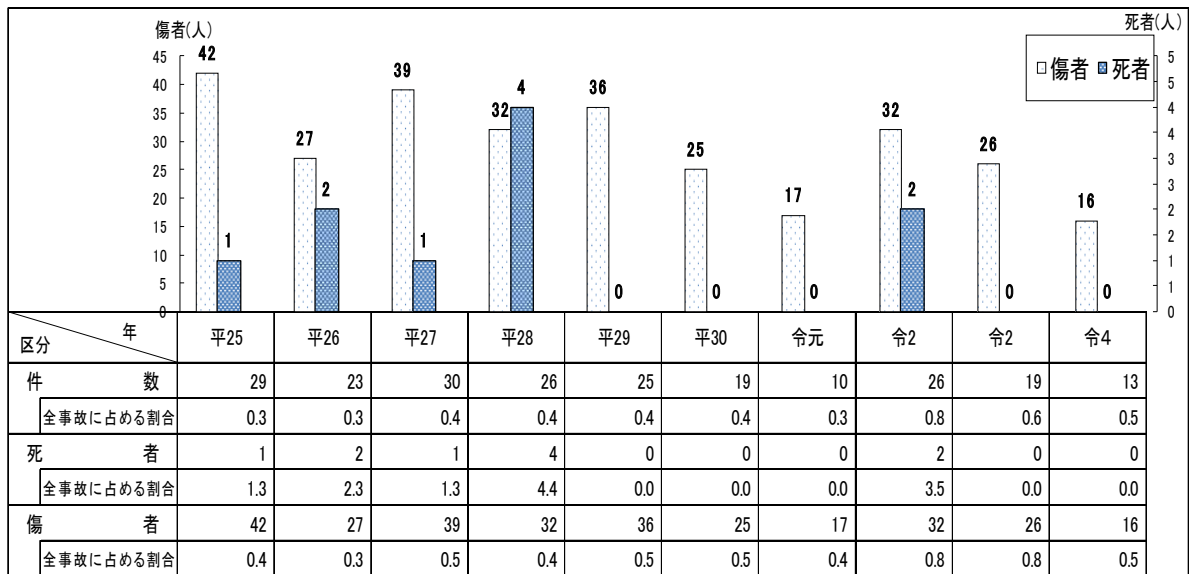
第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数 13件（前年比 -6件 31.6%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 16人（前年比 -10人 38.5%減）

で、発生件数、傷者数で減少し、死者数は、前年と同じゼロであった。（単位：件・人・%）



### (2) 月別

10月に4件、4月、6月、9月でそれぞれ2件となっている。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数				1	2	1	2			2	4		1	13
死者														0
傷者				1	2	1	2			2	7		1	16

### (3) 発生地別

市部での発生が多く、最も多いいわき市は4件で無免許運転事故の30.8%を占めている。

（単位：件・人）

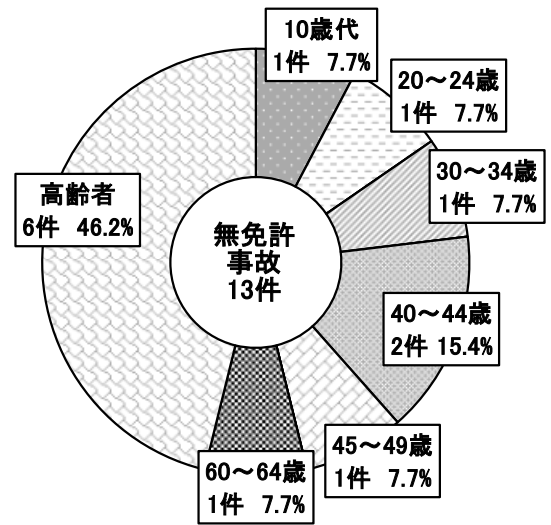
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	2	1		2		1		1	1		4			1	13
死者															0
傷者	2	1		2		1		1	1		7			1	16

(4) 年齢別

高齢者が6件（46.2%）で最も多く、次いで40歳代が3件となっている。

(単位：件)

年齢		件数	年齢		件数
10歳代	16歳未満	1	35～39歳		
	16歳		40～44歳	2	
	17歳		45～49歳	1	
	18歳		50～54歳		
	19歳		55～59歳		
計		1	60～64歳	1	
20～24歳		1	高齢者	6	
25～29歳			合計	13	
30～34歳		1			

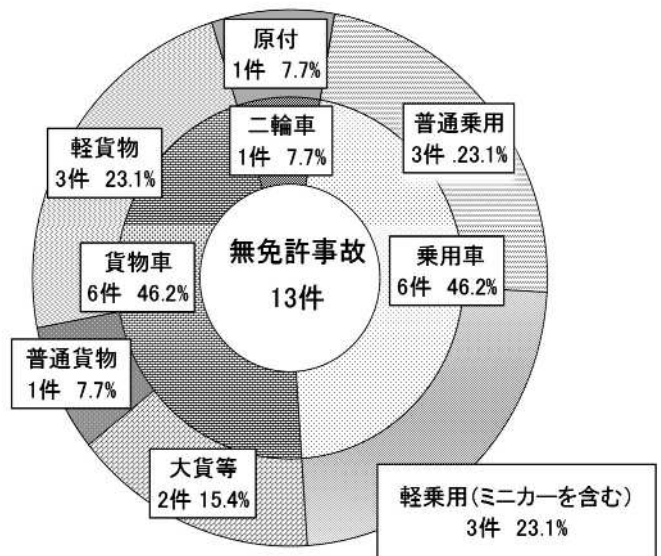


(5) 車種別

車種別では普通乗用車が3件、軽乗用車が3件となっており、全体の46.2%を占めている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)		無免許割合	
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	8	0.0
	普通	3	23.1	1,340	0.2
	軽(ミニカーを含む)	3	23.1	854	0.4
	計	6	46.2	2,202	0.3
貨物車	大型・中型・準中型	2	15.4	122	1.6
	普通	1	7.7	111	0.9
	軽	3	23.1	221	1.4
	計	6	46.2	454	1.3
特殊車(大型・小型)		0	0.0	3	0.0
二輪車	小型二輪	0	0.0	3	0.0
	軽二輪	0	0.0	1	0.0
	二種原付	0	0.0	1	0.0
	原付	1	7.7	7	14.3
	計	1	7.7	12	8.3
合計		13	100.0	2,671	0.5



\* 全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など31件を除く

(6) 職業別

建設業が6件(46.2%)と多く、次いで無職が4件となっている。

(単位：件)

職業 区分	職業 運転手	官 公 署	農 林 漁 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	運 輸 業	サ ー ビ ス 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数				6	1			1		4	1	13
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	46.2	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	100

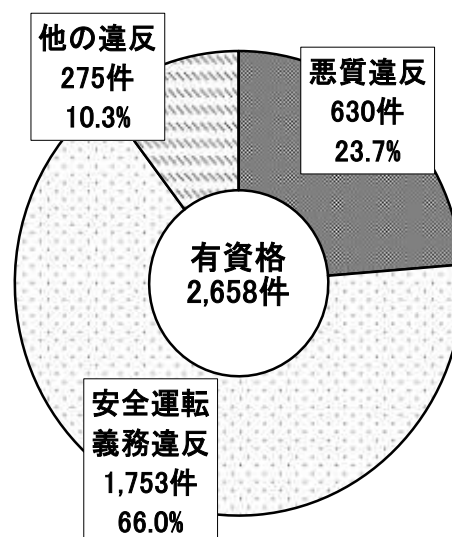
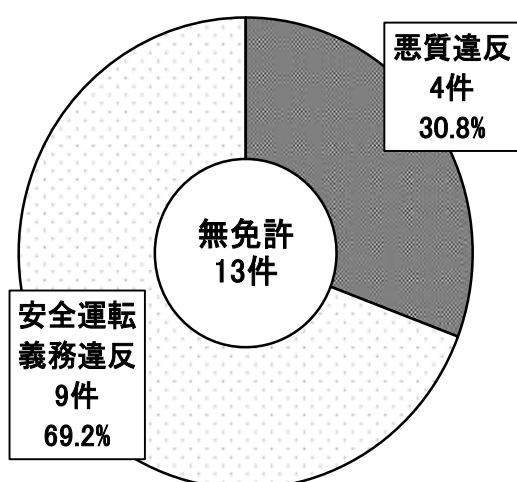
(7) 違反別・原因別

安全運転義務違反は9件で無免許運転全体の69.2%を占めており、うち前方不注意が最も多く6件(46.2%)となっている。

安全運転義務違反による事故の構成率は、無免許運転で69.2%、有資格者運転で66.0%といずれも高い割合となっている。

(単位：件)

違反	区分		違反	区分	
	件数	構成率(%)		件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	過 労 運 転	0.0
	最 高 速 度	0.0		ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ 操 作	1 7.7
	通 区 ・ 追 越	1 7.7		前 方 不 注 意	6 46.2
	歩 行 者 妨 害 等	1 7.7		動 静 不 注 視	0.0
	一 時 不 停 止	2 15.4		安 全 不 確 認	1 7.7
	酒 酔 い 運 転	0.0		安 全 速 度	1 7.7
計	4 30.8	そ の 他	0.0	計	9 69.2
車 間 距 離 不 保 持	0.0	そ の 他	0.0	合 計	13 100.0
優 先 通 行 妨 害 等	0.0	飲 酒 運 転 ( 内 数 )	0.0		
交 差 点 安 全 進 行	0.0				
左 折 違 反	0.0				



(8) 人的原因別

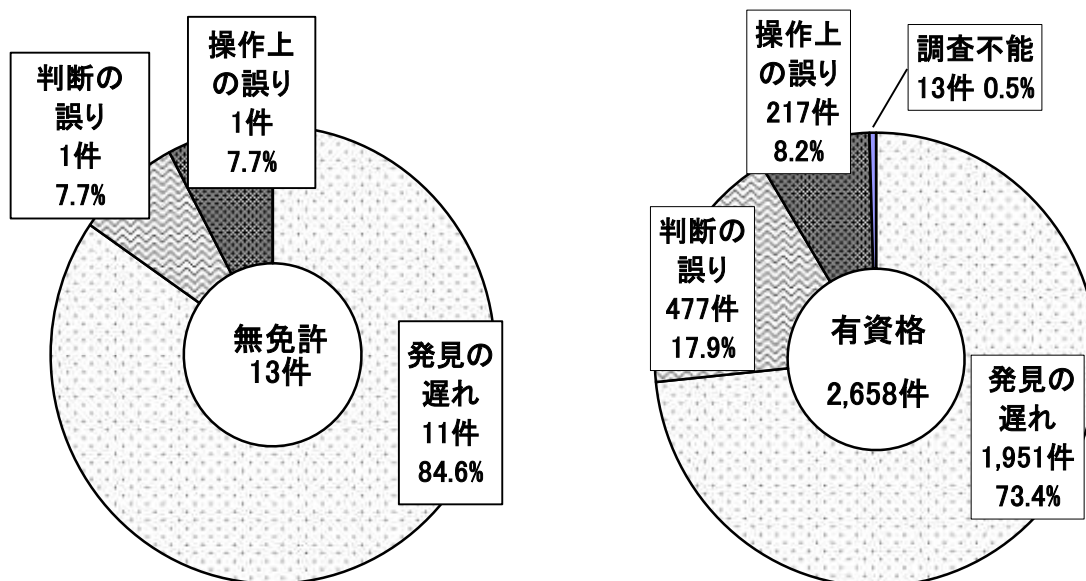
発見の遅れが11件で、無免許運転事故の84.6%を占め最も多い。

うち前方不注意が8件、安全不確認が3件となっている。

(単位：件)

人的原因	件数	人的原因	件数
<b>合計</b>	<b>13</b>	<b>予測不適</b>	<b>計 1</b>
<b>発見の遅れ</b>	<b>計 11</b>	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	1
<b>前方不注意</b>	<b>計 8</b>	相手がルールを守ると思った	
<b>内在的(漫然等)</b>	<b>計 4</b>	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑談や携帯電話等で話していた		<b>交通環境</b>	<b>計 0</b>
その他、考え事等の漫然運転	4	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
<b>外在的(脳見等)</b>	<b>計 4</b>	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした		交通規制に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脳見		交通安全施設に対する認識を誤った	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	1	障害物等に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		<b>操作上の誤り(操作不適)</b>	<b>計 1</b>
道、案内標識等を探して脳見	1	ブレーキとアクセルの踏み違い	
風景、地物等に脳見		ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
他の車、歩行者に脳見	1	急ブレーキをかけた	
バックミラーやドアミラーを見ていた		エンジン・ブレーキを使用しなかった	
その他脳見	1	ハンドルの操作不適	
<b>安全不確認</b>	<b>計 3</b>	ギヤの入れ違い	
安全確認をしなかった	2	ブレーキをかけながらハンドル操作	
安全確認が不十分だった	1	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
<b>判断の誤り等</b>	<b>計 1</b>	その他の操作不適	1
<b>動静不注意</b>	<b>計 0</b>	<b>調査不能</b>	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った			
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った			

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が11.2%高くなっている。



## 12 二輪車の事故

### (1) 二輪車による事故

#### ア 概況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 12件（前年比 -5件 29.4%減）

死者数 1人（前年比 -3人 75.0%減）

傷者数 12人（前年比 -3人 20.0%減）

で、発生件数、死者数、傷者数ともに減少した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数の全てで原付が多く、発生件数は58.3%、死者数は100.0%、傷者数は58.3%を占めている。 （単位：件・人）

区分 車種	本 年		死 者		傷 者		増 減 数			増 減 率 (%)		
	件 数	構成率(%)	死 者 数	構成率(%)	傷 者 数	構成率(%)	件 数	死 者	傷 者	件 数	死 者	傷 者
小型二輪	3	25.0	0	0.0	3	25.0	-1	-1	-1	-25.0	-100.0	-25.0
軽二輪	1	8.3	0	0.0	1	8.3	-3	-1	-2	-75.0	-100.0	-66.7
二種原付	1	8.3	0	0.0	1	8.3	0	0	-1	0.0	0.0	-50.0
原付	7	58.3	1	100.0	7	58.3	-1	-1	1	-12.5	-50.0	16.7
合計	12	100.0	1	100.0	12	100.0	-5	-3	-3	-29.4	-75.0	-20.0

死亡事故率をみると原付が高くなっている。

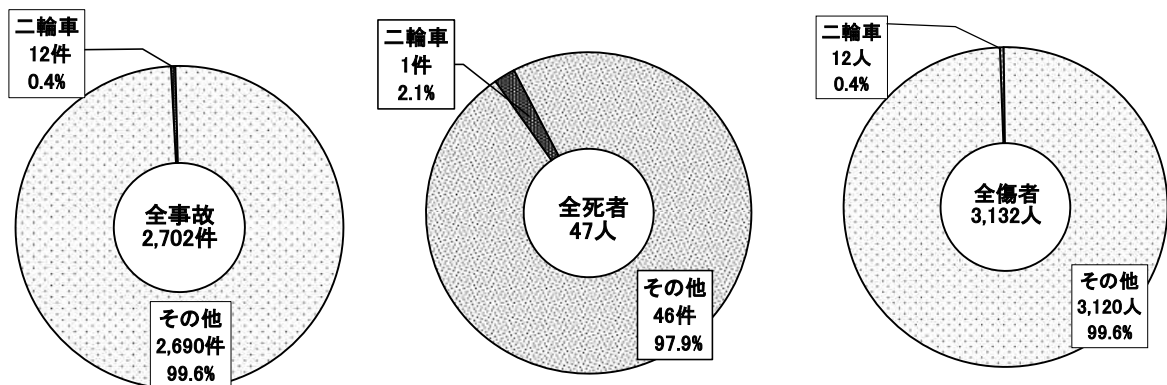
（単位：件・%）

区分 車種	普通乗用車						二 輪 車					合計
	普 乗	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	四 輪 その他	小 型 二 輪	軽 二 輪	二 原	種 付	原 付	
車種別事故件数	1,340	854	122	111	221	11	3	1	1	7	12	2,671
死亡事故件数	17	11	8	1	6	2	0	0	0	1	1	46
死亡事故率	1.3	1.3	6.6	0.9	2.7	18.2	0.0	0.0	0.0	14.3	8.3	1.7

（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.4%であるのに対し、死者の構成率は2.1%と高くなっている。

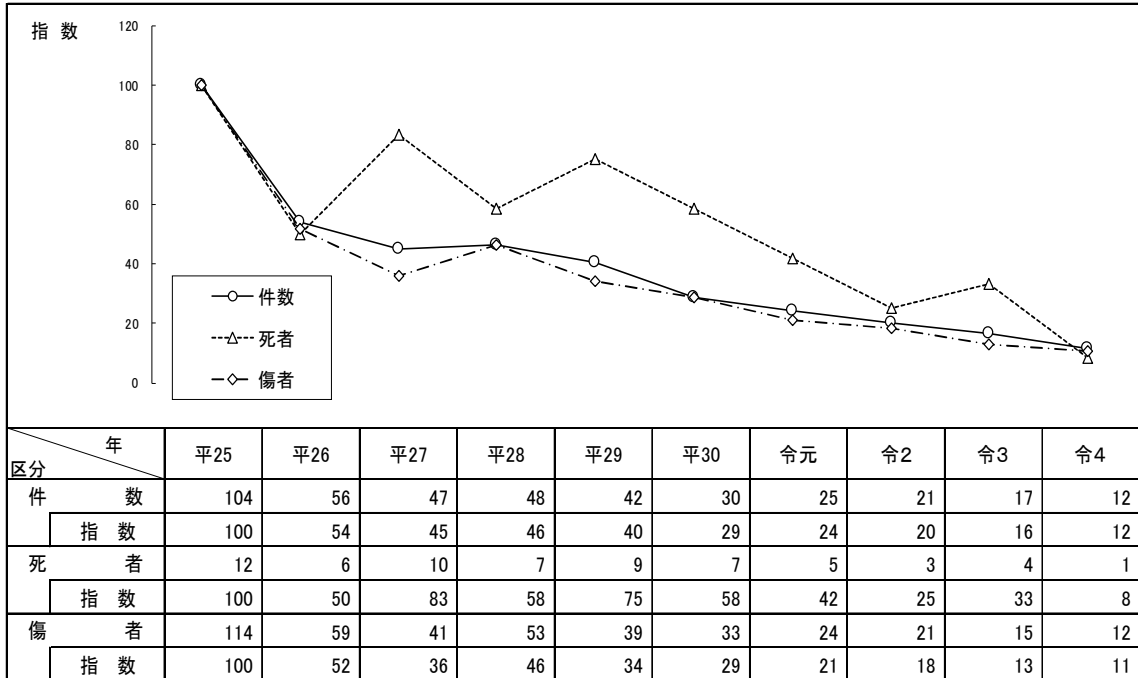


イ 年別推移

(ア) 発生件数、死者数、傷者数

発生件数、死者数、傷者数ともに減少している。

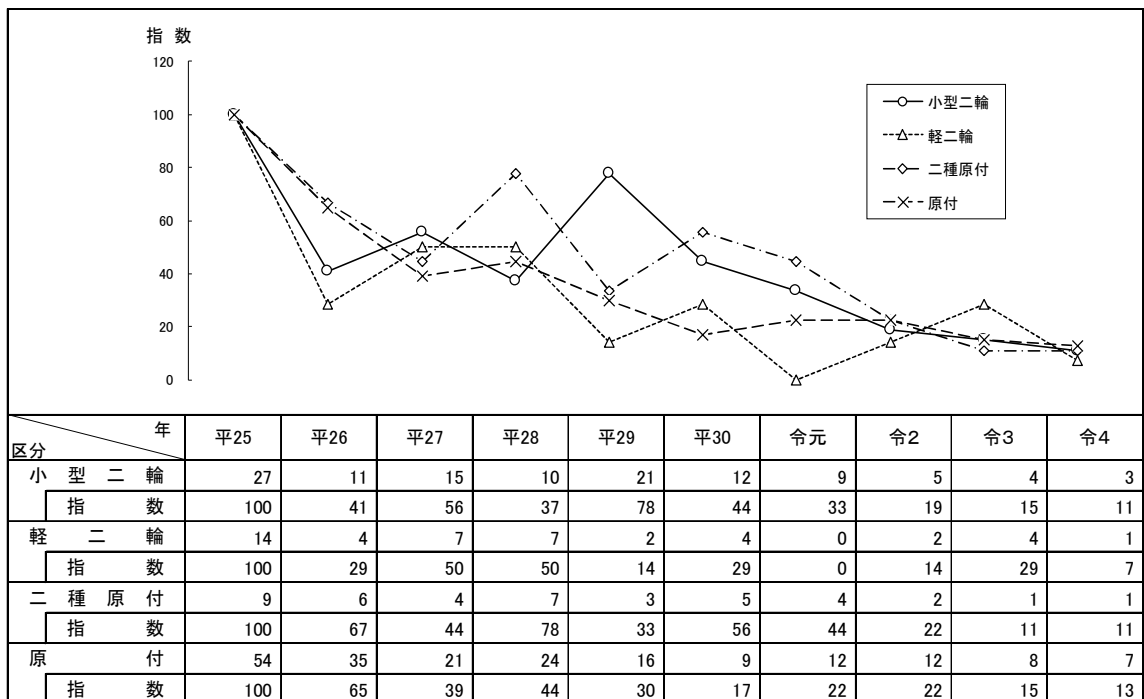
(単位：件・人)



(イ) 車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向となっている。

(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は、30歳代で4件（33.3%）、25～29歳と高齢者で3件（25.0%）となっている。

（単位：件・%）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故			1	92	266	359	187	349	406	385	199	786	2,671
	構成率(%)	0.0	0.0	3.4	10.0	13.4	7.0	13.1	15.2	14.4	7.5	29.4	100.0
二輪車事故				1		1	3	4			1	3	12
	構成率(%)	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	33.3	0.0	0.0	8.3	25.0	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	1.1	0.0	0.3	1.6	1.1	0.0	0.0	0.5	0.4	0.4

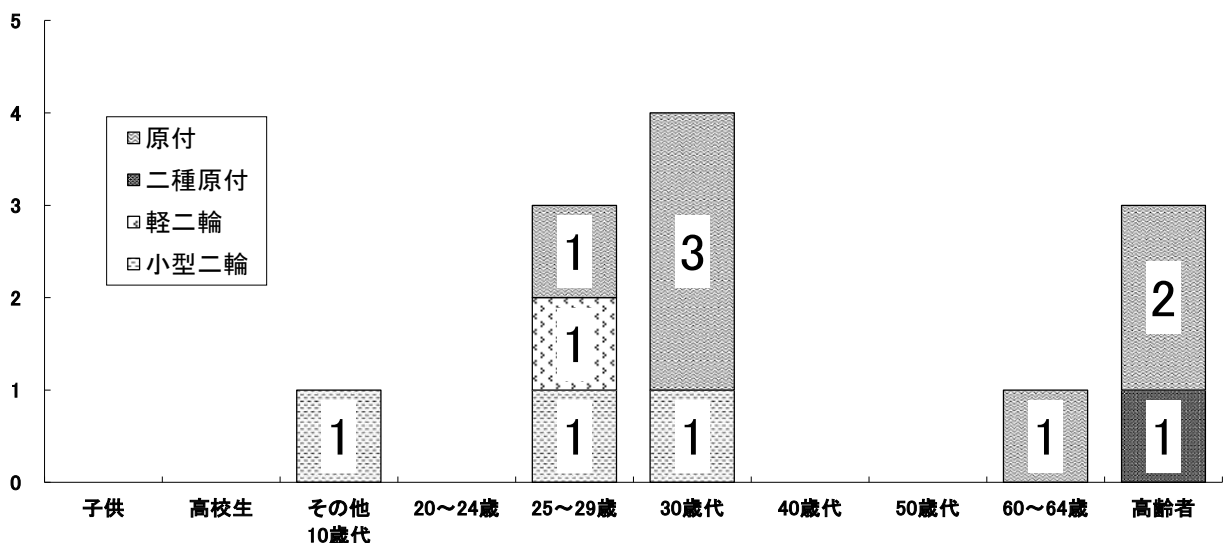
\* 軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ 年齢別・車種別

原付の年齢別構成率が高いのは、30歳代で3件、高齢者で2件となっている。

（単位：件）

区分	年齢	青年運転者				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
		子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪				1		1	1						3
	構成率(%)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
軽二輪						0	1						1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
二種原付						0						1	1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
原付						0	1	3			1	2	7
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	28.6	100.0



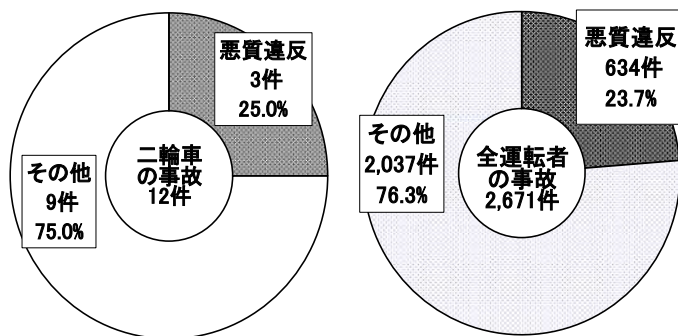
オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は58.3%を占めている。(単位：件)

経験年数	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
1年未満	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	8.3
1～2年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
2～3年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
3～4年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
4～5年		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
10年未満	1	33.3	1	100.0		0.0		0.0	2	16.7
10年以上	1	33.3		0.0	1	100.0	5	71.4	7	58.3
無免許		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
合計	3	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0	12	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は25.0%となっており、全運転者の事故と比較して1.3%高くなっている。

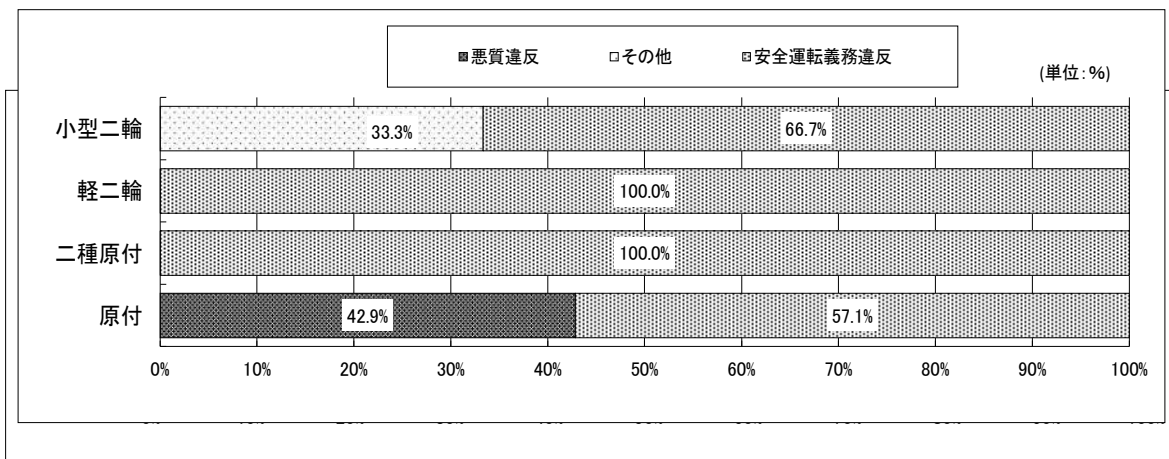


車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは原付で42.8%となっている。

二輪車の車種別違反割合では、安全運転義務違反が高くなっている。

(単位：件)

違反	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
悪質違反							1	14.3	1	8.3
信号無視		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
最高速度		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
通過区・追越		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
一時不停止		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	42.9	3	25.0
横断禁止等		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
右・左折違反		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
優先通行妨害等		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
交差点安全進行	1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
徐行違反		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
安全運転義務違反	1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
ハンドル・ブレーキ操作		0.0	1	100.0		0.0	2	28.6	3	25.0
前方不注意		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
動静不注視		0.0		0.0	1	100.0		0.0	1	8.3
安全確認	1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
安全速度		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
その他		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
計	2	66.7	1	100.0	1	100.0	4	57.1	8	66.7
その他		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
合計	3	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0	12	100.0





キ 車種別・事故類型別

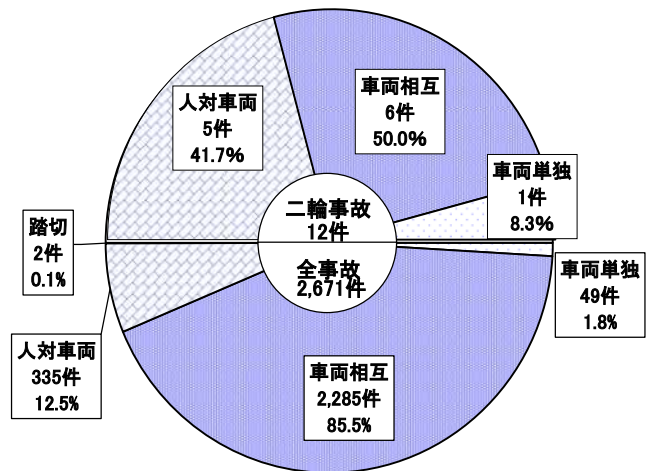
(単位：件・%)

類型	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人対車両	横断中	213	8.0	3	25.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0	1	14.3
	対面・背面	38	1.4	2	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	28.6
	その他	84	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	335	12.5	5	41.7	2	66.7	0	0.0	0	0.0	3	42.9
車両相互	正面衝突	105	3.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	追突	81	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	駐・停止中	826	30.9	3	25.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	2	28.6
	出会い頭	744	27.9	3	25.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	2	28.6
	追越・追抜	18	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	右折時	215	8.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	左折時	61	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	235	8.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
	計	2,285	85.5	6	50.0	0	0.0	1	100.0	1	100.0	4	57.1
車両単独	工作物衝突	27	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	路外逸脱	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	転倒	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	駐車車両衝突	14	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	7	0.3	1	8.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	49	1.8	1	8.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
踏切		2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		2,671	100.0	12	100.0	3	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0

全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、二輪合計の類型別の方が

- ・人対車両・・・29.2%高い
- ・車両相互・・・35.5%低い
- ・車両単独・・・6.5%高い

特に人対車両では、横断中の占める割合が高い。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故が昼間、夜間それぞれ50.0%（6件）ずつ発生している。

道路別に対比すると、県道、市町村道での発生が5件と最も多く41.7%を占める。

夜間の発生は国道で1件、県道で2件、市町村道で3件発生している。（単位：件・%）

昼夜	国 道 計						県 道 計			市 町 村 道	高速道	その他	合 計
	4号	6号	13号	49号	三桁	計	主要	一県	般道				
昼 間					1	1	2	1	3	2			6
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	100.0
夜 間					1	1	2		2	3			6
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	100.0
薄暮(内数)						0	1		1				1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
合 計		0	0	0	0	2	4	1	5	5	0	0	12
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	8.3	41.7	41.7	0.0	0.0	100.0

ケ 道路線形別

二輪車事故のうち直線の平坦な場所で発生した事故が75.0%を占め、カーブでの事故件数は2件だが割合は16.7%と全事故と比較して高くなっている。

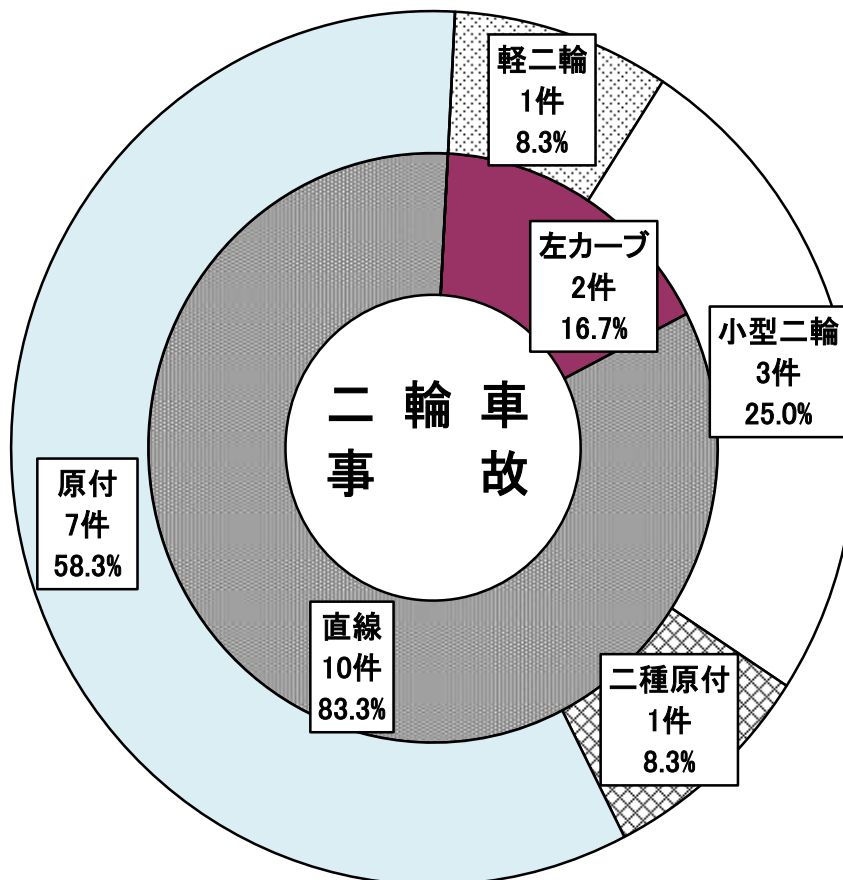
(単位：件)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
上り	右カーブ	9	0.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	10	0.4	1	8.3	1	33.3		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	16	0.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	18	0.7	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	14.3
平坦	右カーブ	27	1.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	43	1.7	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
直線	上り	59	2.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	下り	91	3.6	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	14.3
	平坦	2,242	89.1	9	75.0	2	66.7	1	100.0	1	100.0	5	71.4
合計	右カーブ	52	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	左カーブ	71	2.8	2	16.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3

\* 一般交通の場所(駐車場等)は除く。

全事故件数	2,515	100.0	12	100	3	100	1	100.0	1	100	7	100
-------	-------	-------	----	-----	---	-----	---	-------	---	-----	---	-----

\* 全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



(2) 二輪車の死傷者

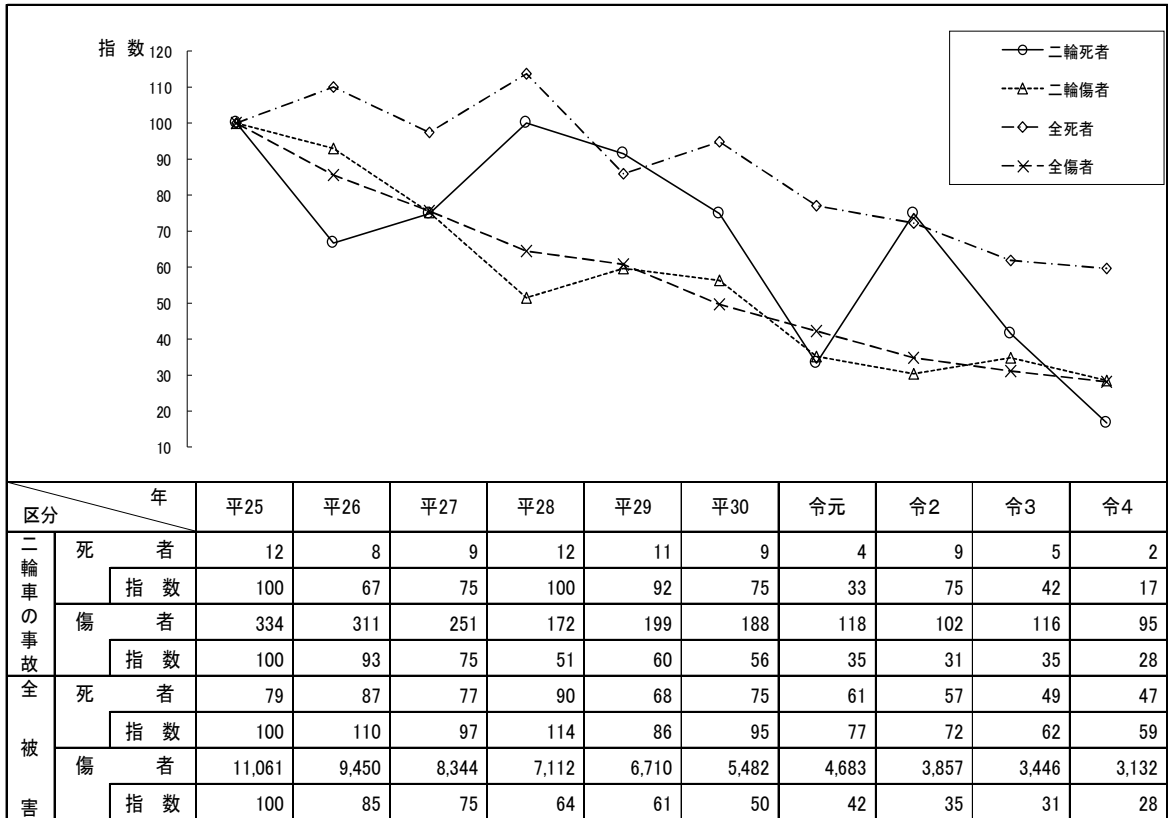
ア 概況

二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 2人（前年比 -3人 60.0%減）  
 傷者数 95人（前年比 -21人 18.1%減）

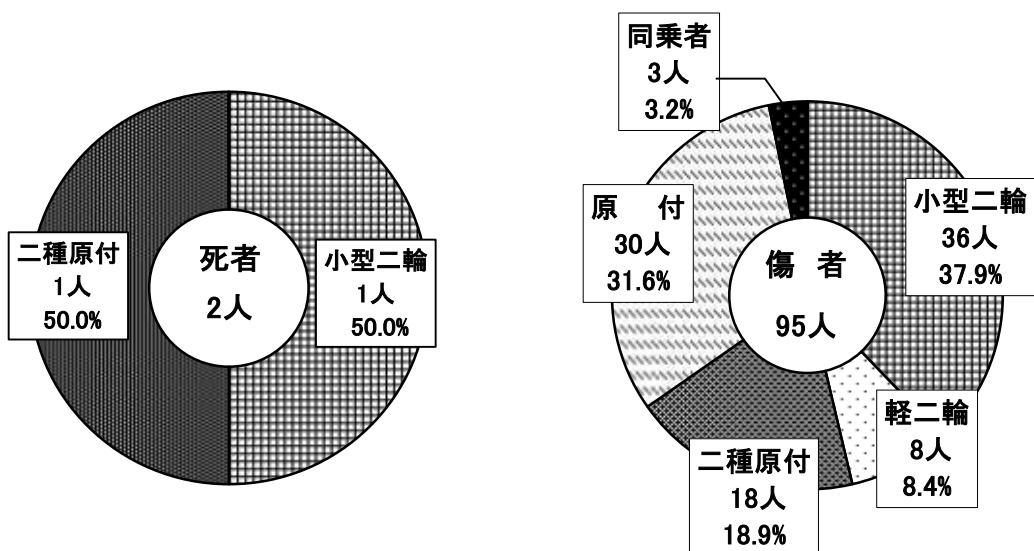
で、死者数、傷者数ともに減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者は小型二輪、二種原付でそれぞれ1人で、傷者は小型二輪が37.9%を占めている。



ウ 年齢別

年齢別にみると、死者は30歳代、40歳代がそれぞれ1人で50.0%を占め、傷者は40歳代と50歳代で合計39人と41.1%を占めている。 (単位：人)

車種		年齢								
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
二輪車	死者	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100
計	傷者	9	5	8	14	20	19	7	13	95
	構成率(%)	9.5	5.3	8.4	14.7	21.1	20.0	7.4	13.7	100.0
小型二輪	死者					1				1
	傷者	2	1	4	4	11	11	2	1	36
軽二輪	死者									0
	傷者	2			2	1	2	1		8
二種原	死者				1					1
	傷者			2	3	3	5	2	3	18
原付	死者									0
	傷者	4	4	1	4	5	1	2	9	30
同乗者	死者									0
	傷者	1		1	1					3

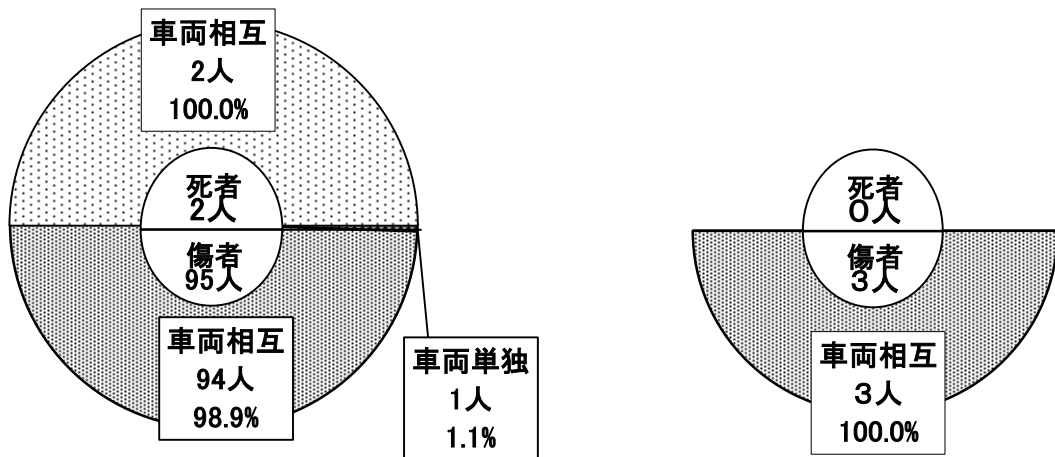
エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者は車両相互で2人となっており、傷者は車両単独1人、車両相互で94人となっている。

カーブ・屈折では、死者はおらず、傷者は全て車両相互である。

全二輪

カーブ・屈折



オ ヘルメット着用状況

自動二輪の着用率は98.5%、原付の着用率は100%となっている。 (単位：人)

車種	区分	死者		傷者		合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		2	2	65	64	67	66
			100.0		98.5		98.5
原付		0	0	30	30	30	30
			-		100.0		100.0
合計		2	2	95	94	97	96
			100.0		98.9		99.0

### 13 タクシーの事故

#### (1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 25件（前年比 -1件 3.8%減）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 28人（前年比 -3人 9.7%減）

で、昨年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数は減少した。

タクシーが第2当事者になった事故は、

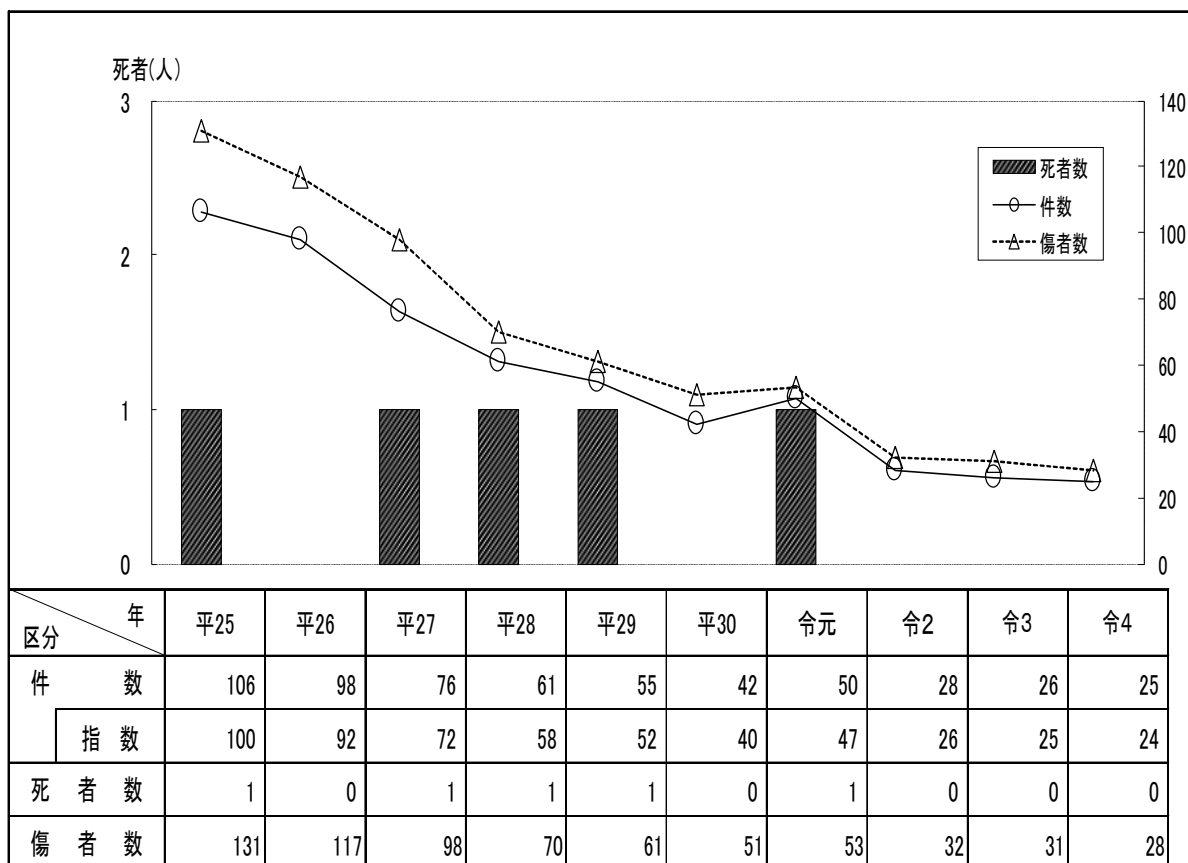
発生件数 18件（前年比 +1件 0.6%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 27人（前年比 +9人 50.0%増）

で、昨年に続き死者は0人で、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件・人）



#### (2) 月別

11月が5件、12月が4件と多くなっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	件数	2	1	1	2	3	2		2		3	5	4	25
死者数	死者数													0
傷者数	傷者数	2	1	1	3	3	2		3		3	6	4	28

(3) 年齢別

高齢者が14件、60～64歳が8件の順に多く、60歳以上が88.0%を占めている。 (単位：件)

区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
	件数					1	2	8	14
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	32.0	56.0	100.0

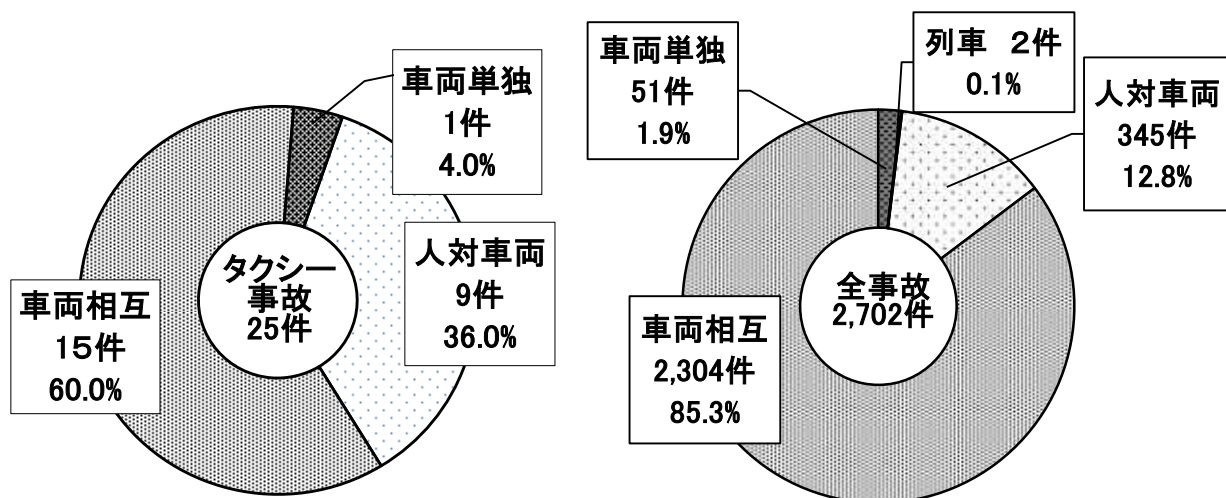
(4) 事故類型別

車両相互の事故が15件（60.0%）と最も多く、うち追突が7件で28.0%を占めている。

全事故と比較すると、人対車両の占める割合が高くなっている。

(単位：件)

区分	類型	人対車両			車両相互						車両単独			合計			
		通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出合い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工作物衝突	路外逸脱	その他				
															計	計	計
件数		2	7	9		7	3	2	2	1	15			1	1	25	
	構成率(%)	0.0	8.0	28.0	36.0	0.0	28.0	12.0	8.0	8.0	4.0	60.0	0.0	0.0	4.0	4.0	100



(5) 違反別

安全運転義務違反の事故が18件と多く、72.0%を占めている。

悪質違反は4件のうち3件が横断歩行者妨害となっている。

(単位：件)

区分	違反	悪質違反						横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反					その他	合計	
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転						計	ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認			その他
件数					3	1		4					2	3	4	9		18	3	25
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	12.0	16.0	36.0	0.0	72.0	12.0	100

## 14 バスの事故

### (1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 4件（前年比 +2件 100.0%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 4人（前年比 +2人 100.0%増）

で、昨年に続き死者数は0人で、発生件数、傷者数は増加した。

バスが第2当事者となった事故は、

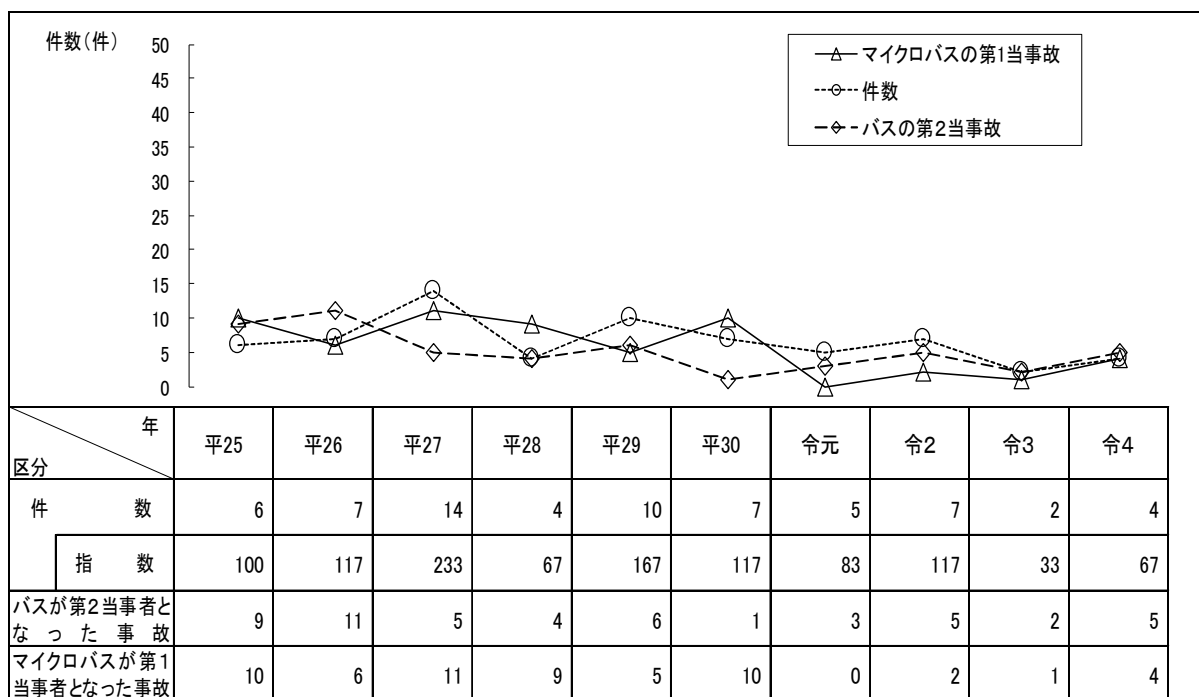
発生件数 5件（前年比 +3件 150.0%増）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 8人（前年比 +6件 300.0%増）

で、昨年に続き死者数は0人で、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件）



※ バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

### 〈参考〉

マイクロバスが第1当事者となった事故

発生件数 4件（前年比 +3件 300.0%増）

死者数 1人（前年比 +1人）

傷者数 4人（前年比 +3人 300.0%増）

マイクロバスが第2当事者となった事故

発生件数 2件（前年比 +2件）

死者数 0人（前年比 ±0人）

傷者数 3人（前年比 +3人）

## (2) 月別

バス運転者が第1当事者となった事故は、2月、6月、10月、11月に1件ずつ発生している。第2当事者になった事故は2月、3月、5月、7月、12月に1件ずつ発生している。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数		1				1				1	1		4
	死者数													0
	傷者数		1				1				1	1		4
第2当事者	件数		1	1		1		1					1	5
	死者数													0
	傷者数		3	1		1		2					1	8

## (3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は、路線バスと貸切バスでそれぞれ2件発生し、第2当事者になった事故は、路線バスで4件、貸切バスで1件発生した。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	第2当事者			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
	件数	2	2		4	4	1		5
	死者				0				0
	傷者	2	2		4	7	1		8

## (4) 年齢別

第1当事者となった事故が40歳代で2件、50歳代、60～64歳でそれぞれ1件発生し、第2当事者となった事故は50歳代で3件、60～64歳で2件発生している。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上(高齢者)	合計
		第1当事者				2	1	1	
第2当事者						3	2		5

## (5) 道路別

第1当事者となった事故は、国道49号と市町村道でそれぞれ2件で発生しており、第2当事者となった事故は三桁国道で2件、県道、市町村道、高速道でそれぞれ1件ずつ発生している。

(単位：件)

区分	道路	国 道					計	県 道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主地方道	一般道	計				
第1当事者					2		2			0	2			4
第2当事者						2	2	1		1	1	1		5

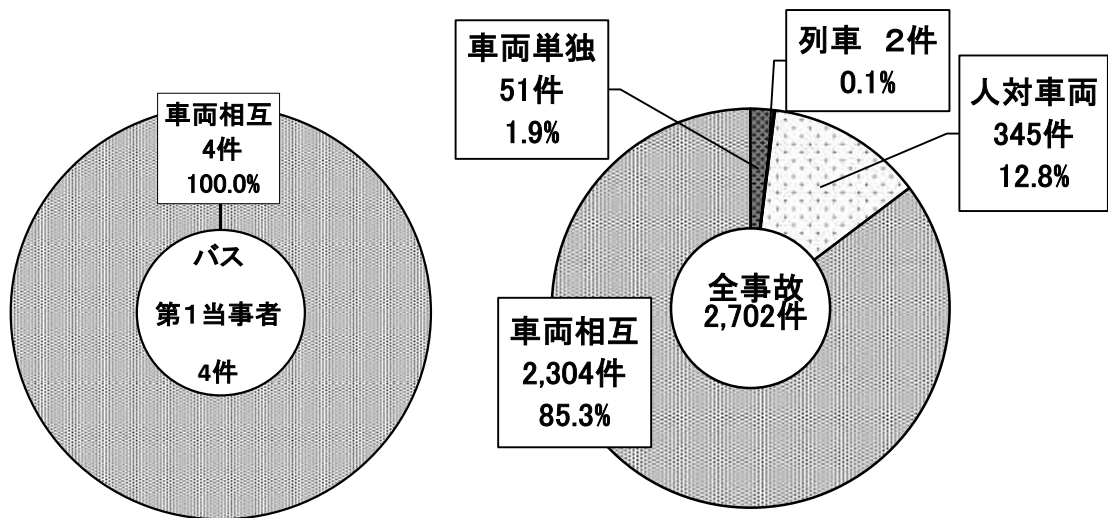


(6) 事故類型別

全て車両相互で発生している。

(単位：件)

区分	人 対 車 両				車 両 相 互						車 両 単 独			合 計		
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱		そ の 他	計
件 数				0		1	1	1	1		4				0	4
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100



(7) 違反別

優先通行妨害と安全不確認が1件ずつとなっている。

(単位：件)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数	
			構成率(%)				構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視		0.0	交 差 点 安 全 進 行		0.0	
	最 高 速 度		0.0	過 労 運 転		0.0	
	通 区 ・ 追 越		0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	0.0	
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	0.0	
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	1 25.0	
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	3 75.0	
計		0	0.0	安 全 速 度		0.0	
横 断 禁 止 等			0.0	そ の 他		0.0	
車 間 距 離 不 保 持			0.0	反 計	4	100.0	
進 路 変 更 禁 止			0.0	そ の 他		0.0	
右 ・ 左 折			0.0	歩 行 者 の 違 反		0.0	
優 先 通 行 妨 害 等			0.0	合 計	4	100	

## 15 ダンプカーの事故

### (1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数	17件	(前年比 +1件)	6.3%増)
死者数	1人	(前年比 +1人)	
傷者数	19人	(前年比 ±0人)	

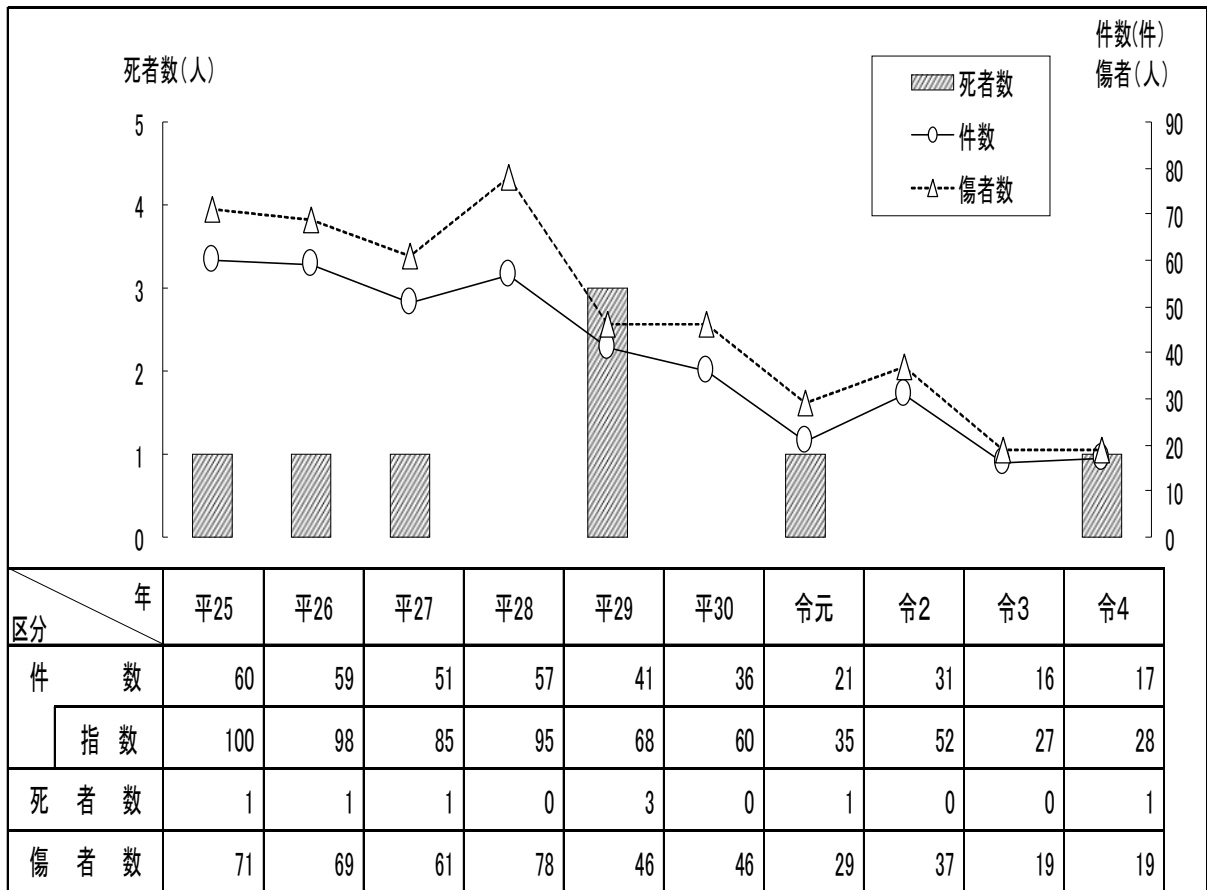
で発生件数、死者数は増加したが、傷者数は前年同数だった。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

発生件数	3件	(前年比 -7件)	70.0%減)
死者数	0人	(前年比 ±0人)	
傷者数	3人	(前年比 -10人)	76.9%減)

で、発生件数、傷者数は減少し、前年同様死者はなかった。

(単位：件・人)



### (2) 月別

5月、11月以外で発生し、2月に死亡事故が発生している。

(単位：件・人)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	2	4	1	1		2	1	1	2	2		1	17
死者数		1											1
傷者数	2	4	1	1		2	1	2	2	3		1	19

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代が5件で最も多く、全体の29.4%を占めている。また、免許経過年数では10年以上が16件でダンプ事故の94.1%を占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満									0
1～2年									0
2～3年									0
3～4年									0
4～5年		1							1
10年未満									0
10年以上				1	5	3	4	3	16
無免許									0
合計		1	0	1	5	3	4	3	17

(4) 違反別

安全運転義務違反13件でダンプ事故の76.5%を占めている。

悪質違反は信号無視、歩行者妨害等がそれぞれ1件である。

(単位：件)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	1	5.9	安全運転義務違反	交差点安全進行	1	5.9
	最高速度		0.0		徐行違反		0.0
	通区・追越		0.0		ハンドル・ブレーキ	1	5.9
	歩行者妨害等	1	5.9		前方不注意	4	23.5
	一時不停止		0.0		動静不注意	4	23.5
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	4	23.5
計		2	11.8	安全速度		0.0	
横断禁止等			0.0	その他		0.0	
車間距離不保持			0.0	計	13	76.5	
進路変更禁止			0.0	その他		0.0	
右・左折	1	5.9		歩行者の違反		0.0	
優先通行妨害等			0.0	合計	17	100.0	

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では82.4%、第2当事者では100.0%を占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第1当事者	事業用	3		4
	自家用	14	1	15
	合計	17	1	19

用途	区分	件数	死者	傷者
第2当事者	事業用			
	自家用	3		3
	合計	3	0	3

## 16 安全運転管理者選任事業所の事故

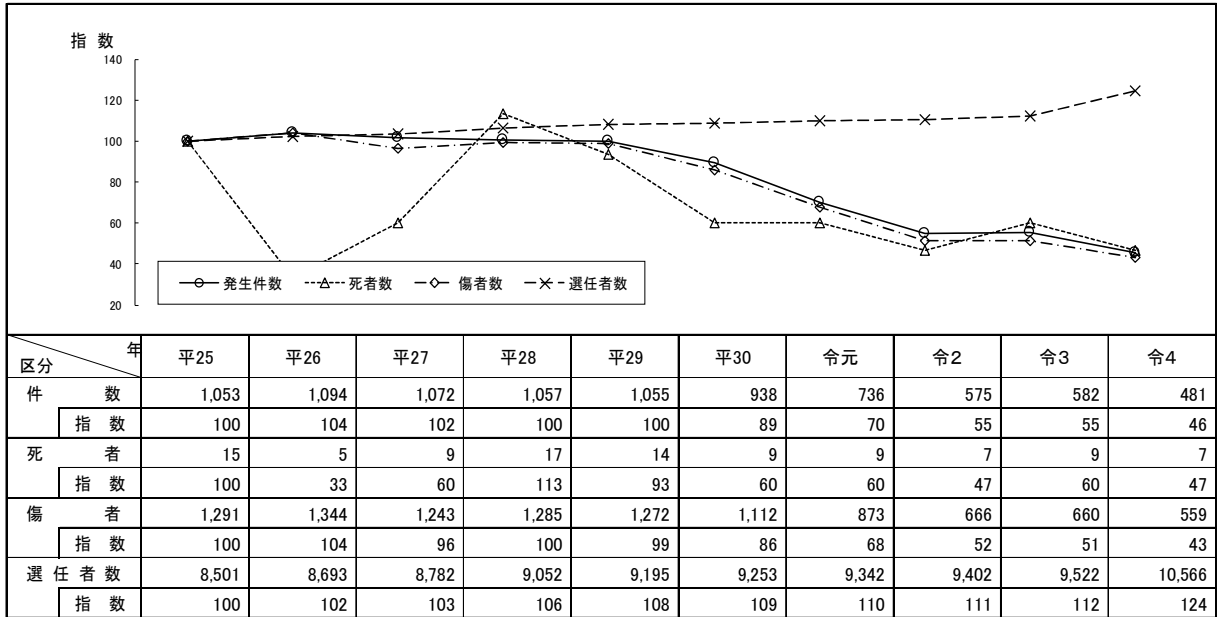
### (1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

発生件数	481件	（前年比	-101件	17.4%減）
死者数	7人	（前年比	-2人	22.2%減）
傷者数	559人	（前年比	-101人	15.3%減）

で、発生件数、死者数、傷者数それぞれ減少した。

（単位：件・人）



（注）選任数は各年12月末の数値

（単位：件・人・%）

区分	件数		死者	傷者
	件数	割合 (%)		
業務中	264	54.9	5	297
	151	31.4	3	170
業務外	217	45.1	2	262
調査不能	0	0.0	0	0

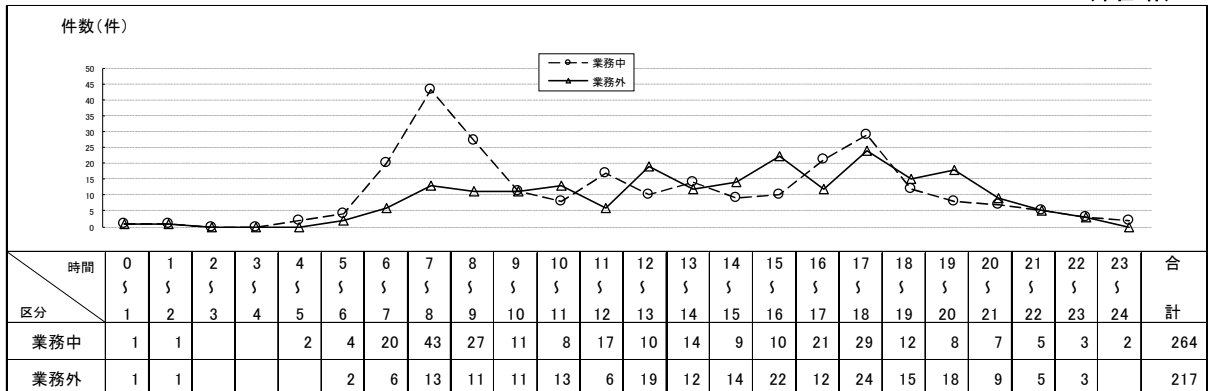
業務中の事故が54.9%を占めている。

### (2) 安管の事故特徴

#### ア 時間別

業務中については、午前6時から午前9時までが90件、業務外については、午後5時から午後8時までが57件と多くなっている。

（単位：件）



※業務中は通勤を含む

イ 車種別・用途別

(ア) 車種別

業務中では、普通乗用車が125件で47.3%、次いで軽乗用車が60件で22.7%を占めている。

業務外では、普通乗用車が149件と最も多く68.7%を占めている。(単位：件)

区分	車種	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車				合計		
		大型	中型	普通	軽	計	大型	中型	普通		軽	計	小型	軽		二種	原付
		中	型			大	中	型			小	型	軽	二種	原付		
業務中		4	125	60	189	26	24	24	74						1	1	264
	構成率(%)	1.5	47.3	22.7	71.6	9.8	9.1	9.1	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	100	
業務外			149	65	214			3	3							0	217
	構成率(%)	0.0	68.7	30.0	98.6	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

(イ) 用途別

業務中、業務外ともに自家用(その他)で最も多く、業務中事故では92.0%、業務外事故では100.0%を占めている。(単位：件)

区分	車種	事業用	自家用				計	その他	合計
			レンタカー	スクールバス	代行	運転			
業務中		21	3		3	237	243	264	
	構成率(%)	8.0	1.1	0.0	1.1	89.8	92.0	100	
業務外			1			216	217	217	
	構成率(%)	0.0	0.5	0.0	0.0	99.5	100.0	100	

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で41.3%、業務外で28.1%を占めている。(単位：件)

区分	類型	人対車両		車両相互							車両単独			列車	合計	
		横断	その他	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	工作物衝突	路外逸脱	その他				
業務中		16	13	29	12	109	70	6	26	8	231	3		1	4	264
	構成率(%)	6.1	4.9	11.0	4.5	41.3	26.5	2.3	9.8	3.0	87.5	1.1	0.0	0.4	1.5	100
業務外		23	14	37	12	61	63	9	25	8	178			2	2	217
	構成率(%)	10.6	6.5	17.1	5.5	28.1	29.0	4.1	11.5	3.7	82.0	0.0	0.0	0.9	0.9	100

エ 違反別

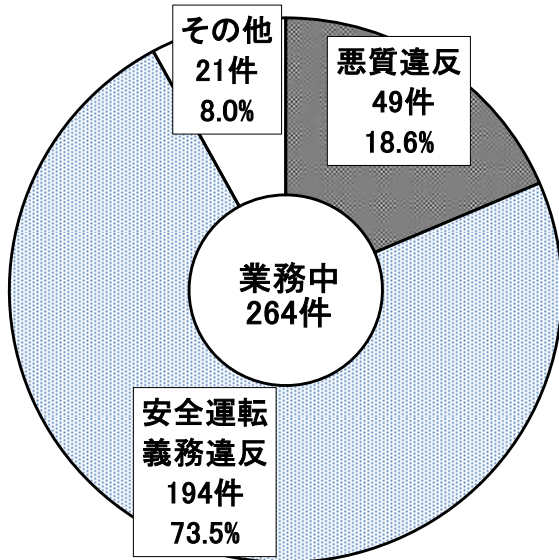
業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、どちらも約6割以上を占めている。

悪質違反では、業務中が一時不停止と信号無視の占める割合が高く、業務外では、一時不停止と歩行者妨害等の占める割合が高い。

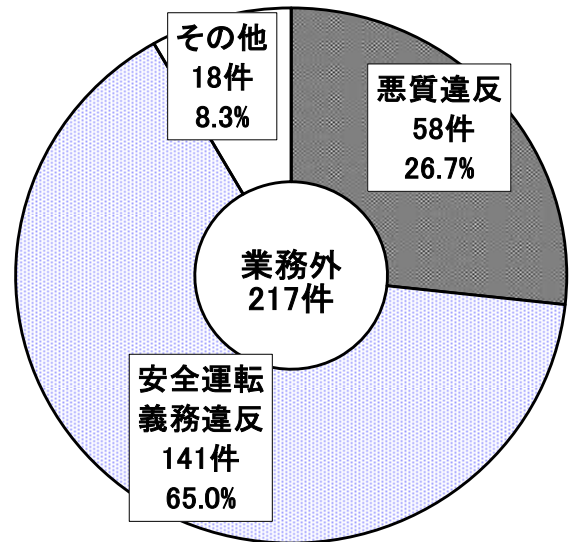
(単位：件)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外		
		構成率 (%)		構成率 (%)				構成率 (%)		構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	14	5.3	13	6.0	徐行違反		1	0.4	2	0.9	
	最高速度	1	0.4		0.0	過労運転			0.0	1	0.5	
	通区・追越	9	3.4	5	2.3	ハンドル・ブレーキ		21	8.0	10	4.6	
	歩行者妨害等	9	3.4	18	8.3	安全運転義務違反		前方不注意	65	24.6	50	23.0
	一時不停止	16	6.1	21	9.7	動静不注意		45	17.0	28	12.9	
	酒酔い運転		0.0	1	0.5	安全不確認		54	20.5	51	23.5	
	計	49	18.6	58	26.7	安全速度		3	1.1		0.0	
横断禁止等		0.0		0.0	予測不適		1	0.4	1	0.5		
車間距離不保持	1	0.4		0.0	その他		5	1.9	1	0.5		
進路変更禁止		0.0		0.0	計		194	73.5	141	65.0		
右・左折	1	0.4		0.0	安全不確認ドア開放			0.0		0.0		
優先通行妨害等	7	2.7	11	5.1	その他		2	0.8		0.0		
交差点安全進行	9	3.4	4	1.8	合計		264	100.0	217	100.0		

(単位：件)



(単位：件)



オ 原因別

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

(単位：件)

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)	
発見の遅れ		181	68.6	170	78.3
判断の誤り等		56	21.2	35	16.1
操作上の誤り		25	9.5	12	5.5
調査不能		2	0.8		0.0
合計		264	100	217	100

## 17 県外居住者の事故

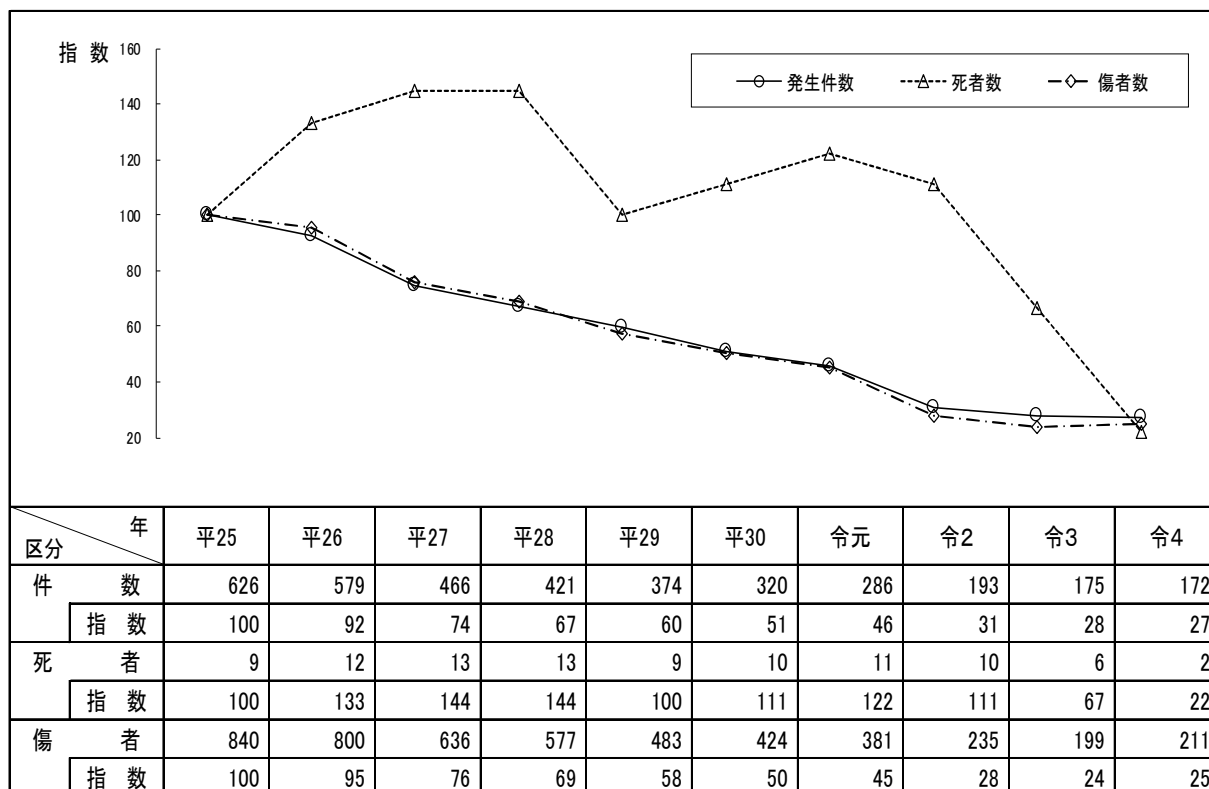
### (1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数	172件	(前年比)	-3件	1.7%減)
死者数	2人	(前年比)	-4人	66.7%減)
傷者数	211人	(前年比)	+12人	6.0%増)

で、発生件数、死者数が減少し、傷者数は増加した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

10月が18件で最も多く、次いで2月、8月、9月の16件となっている。

全事故に占める割合で見ると、8月、9月が7.8%で最も高く、最も低い7月(4.6%)と比較すると3.2ポイントの差となっている。

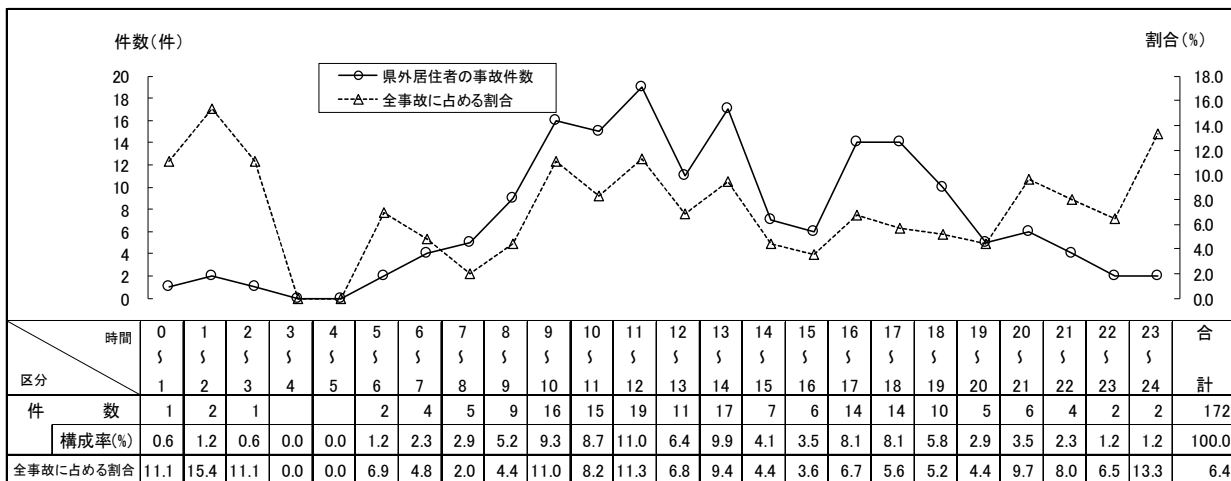
(単位：件・人・%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		全事故	206	220	220	218	203	245	197	205	205	276	244	263
県外居住者	件数	15	16	12	12	11	13	9	16	16	18	14	20	172
	全事故に占める割合	7.3	7.3	5.5	5.5	5.4	5.3	4.6	7.8	7.8	6.5	5.7	7.6	6.4
	死者										2			2
	傷者	21	21	13	13	14	18	9	17	23	23	16	23	211

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、11～12時の19件、次いで9～10時の16件の順となっている。  
また、全事故に占める割合でみると、1～2時の15.4%が最も高い。

(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が75件で、県外居住者事故の43.6%を占めている。

特に、国道4号は20件で幹線国道事故の41.7%を占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が47.6%と最も高く、次いで国道49号の順となっている。

(単位：件・%)

区分	道路	道 路											合 計
		幹 線 国 道					三 折 国 道	計 県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他		
		4 号	6 号	13 号	49 号	計							
件 数		20	12	2	14	48	27	75	36	44	10	7	172
構成率(%)		11.6	7.0	1.2	8.1	27.9	15.7	43.6	20.9	25.6	5.8	4.1	100.0
全事故に占める割合		9.3	12.1	5.7	13.7	10.7	9.4	10.2	5.1	4.1	47.6	4.2	6.4

(5) 当事者別

普通乗用車が97件で最も多く、県外居住者事故の56.4%を占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が26.2%と高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車						貨 物 車						二 輪 車			特殊車	自転車	歩行者													
		大	型	中	型	準	中	普	通	軽	計	大	型	中	型	準				中	普	通	軽	計	自	動	原	付				
																													計	計	計	
件 数				1			97	28	126	11	6	7	12	10	46				0													
構成率(%)				0.0			56.4	16.3	73.3	6.4	3.5	4.1	7.0	5.8	26.7				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全事故に占める割合				0.0			25.0	3.3	5.7	26.2	20.7	13.7	10.8	4.5	10.1				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



(6) 年齢別

高齢者が37件で最も多く、次いで20～24歳が23件となっている。

全事故に占める割合については、55～59歳の10.1%が最も高くなっている。(単位:件・%)

区分	年齢															合計
	子ども	高校生	その他 10歳代	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60～ 64歳	高齢者			
件数			4	23	12	9	13	17	13	15	19	10	37	172		
構成率(%)	0.0	0.0	2.3	13.4	7.0	5.2	7.6	9.9	7.6	8.7	11.0	5.8	21.5	100.0		
全体に占める割合	0.0	0.0	4.2	8.6	6.3	5.1	7.4	10.0	5.5	7.6	10.1	5.0	4.7	6.4		

(7) 通行目的別

私用中が111件で県外居住者事故の64.5%を占めており、特に、観光が43件で最も多く、死者数は1人となっている。業務中の事故は46件発生し、26.7%を占め死者数は1人となっている。

(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が70.9%と高く、うち前方不注意が44件と最も多い。

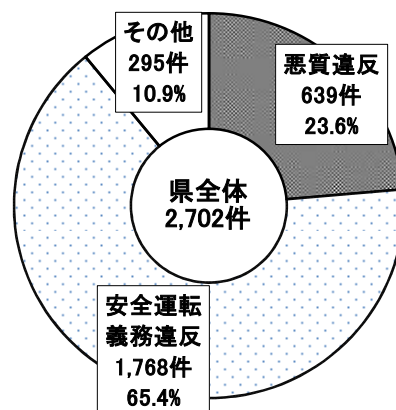
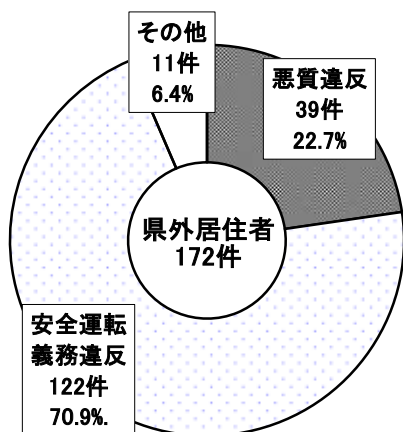
また、悪質違反のうち一時不停止が15件と最も多い。全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、5.5ポイント高くなっている。

(単位:件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	死者・傷者		
			死者	傷者	
通行目的					
業務	46	26.7	1	55	
通勤	15	8.7		17	
通学		0.0			
私用	観光	43	25.0	1	60
	ドライブ	11	6.4		12
	散歩		0.0		
	飲食	3	1.7		3
	買物	22	12.8		26
	訪問	9	5.2		10
	帰省	12	7.0		14
	その他	11	6.4		14
計	111	64.5	1	139	
不明		0.0			
合計	172	100.0	2	211	

(単位:件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	10	5.8	交差点安全進行	5	2.9	
	最高速度	2	1.2	徐行違反		0.0	
	通区・追越	9	5.2	ハンドル・ブレーキ	16	9.3	
	歩行者妨害等	3	1.7	前方不注意	44	25.6	
	一時不停止	15	8.7	動静不注意	29	16.9	
	酒酔い運転		0.0	安全不確認	26	15.1	
計		39	22.7	安全速度	2	1.2	
過労運転			0.0	その他	5	2.9	
横断禁止			0.0	計	122	70.9	
進路変更禁止			0.0	その他	2	1.2	
右・左折	1	0.6	歩行者の違反		0.0		
優先通行妨害等	3	1.7	合計	172	100.0		



## (9) 市町村別

(単位:件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合	順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	32	643	5.0	31	古殿町	1	3	33.3
2	福島市	21	455	4.6	31	鮫川村	1	3	33.3
3	郡山市	15	551	2.7	33	下郷町	1	2	50.0
4	会津若松市	11	136	8.1	34	田村市		36	0.0
5	白河市	11	84	13.1	35	矢吹町		24	0.0
6	須賀川市	6	116	5.2	36	三春町		20	0.0
7	南相馬市	5	79	6.3	37	鏡石町		15	0.0
8	伊達市	5	64	7.8	38	大玉村		14	0.0
9	相馬市	4	44	9.1	39	小野町		9	0.0
9	喜多方市	4	44	9.1	40	川俣町		7	0.0
11	猪苗代町	4	27	14.8	41	富岡町		5	0.0
12	国見町	4	10	40.0	41	広野町		5	0.0
12	檜葉町	4	10	40.0	43	玉川村		4	0.0
14	西郷村	3	22	13.6	43	浪江町		4	0.0
15	新地町	3	9	33.3	45	磐梯町		3	0.0
16	会津美里町	3	8	37.5	45	中島村		3	0.0
17	南会津町	3	7	42.9	47	塙町		2	0.0
18	二本松市	2	40	5.0	47	葛尾村		2	0.0
19	会津坂下町	2	15	13.3	47	浅川町		2	0.0
20	棚倉町	2	12	16.7	50	大熊町		1	0.0
21	泉崎村	2	8	25.0	50	金山町		1	0.0
22	西会津町	2	4	50.0	50	川内村		1	0.0
22	柳津町	2	4	50.0	50	飯館村		1	0.0
22	湯川村	2	4	50.0	50	北塩原村		1	0.0
25	矢祭町	2	3	66.7	50	双葉町		1	0.0
26	本宮市	1	47	2.1	50	只見町		1	0.0
27	石川町	1	12	8.3	57	三島町			-
28	桑折町	1	11	9.1	57	昭和村			-
29	平田村	1	5	20.0	57	檜枝岐村			-
29	天栄村	1	5	20.0					

(注) 高速道路で発生した交通事故を除く。

## (10) 居住県別

(単位:件・人)

区分	本年			前年				
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道		0.0			2	1.1		3
青森	1	0.6		1	3	1.7		6
岩手	3	1.7		4	4	2.3		5
宮城	46	26.7	1	55	44	25.1		48
秋田	1	0.6		1	1	0.6	1	
山形	8	4.7		11	12	6.9	1	11
東京都	16	9.3	1	19	14	8.0	2	14
茨城	31	18.0		38	33	18.9	1	35
栃木	19	11.0		22	15	8.6		19
群馬	6	3.5		6	4	2.3		4
埼玉	5	2.9		8	12	6.9		14
千葉県	10	5.8		12	6	3.4		11
神奈川県	8	4.7		12	7	4.0		11
新潟	10	5.8		11	9	5.1		10
山梨		0.0			1	0.6		1
長野		0.0			1	0.6		1
静岡県	2	1.2		4	1	0.6		1
富山		0.0				0.0		
石川		0.0				0.0		
福井		0.0				0.0		
岐阜	1	0.6		1	1	0.6		1
愛知	1	0.6		2	2	1.1	1	1
滋賀		0.0				0.0		
三重		0.0			1	0.6		1
京都	1	0.6		1		0.0		
大阪	2	1.2		2		0.0		
兵庫県	1	0.6		1	1	0.6		1
奈良		0.0				0.0		
和歌山		0.0				0.0		
鳥取		0.0			1	0.6		1
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島		0.0				0.0		
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0				0.0		
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0				0.0		
合計	172	100	2	211	175	100	6	199

## 18 道路環境等

### (1) 道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、1,535件で全事故の56.8%を占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が658件で最も多く、交差点事故の59.4%を占め、第1進入路「小」が235件となっている。

(単位：件・人)

区分 道路形状	件数		死者	傷者	
	件数	構成率(%)			
交差点	大	215	8.0	8	245
	中	658	24.4	8	742
	小	235	8.7	1	264
	付近	427	15.8	2	504
	計	1,535	56.8	19	1,755
単路	トンネル	7	0.3		8
	橋	18	0.7		21
	カーブ・屈折	98	3.6	8	118
	その他	885	32.8	16	1,056
	計	1,008	37.3	24	1,203
踏切	2	0.1	2	1	
一般交通の場所	157	5.8	2	173	
合計	2,702	100	47	3,132	

(単位：件・人)

区分 交差点第1進入路	件数		死者	傷者	
	件数	構成率(%)			
大 (13m以上)	交差路 小	19	1.7	3	17
	交差路 中	125	11.3	3	150
	交差路 大	71	6.4	2	78
	計	215	19.4	8	245
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	76	6.9	1	85
	交差路 中	506	45.7	7	573
	交差路 大	76	6.9	0	84
	計	658	59.4	8	742
小 (5.5m未満)	交差路 小	54	4.9	0	64
	交差路 中	149	13.4	0	162
	交差路 大	32	2.9	1	38
	計	235	21.2	1	264
合計	1,108	100	17	1,251	

### (2) 道路線形別

直線での事故は2,420件で全事故の89.6%を占めている。

一方、カーブ・屈折での事故は125件で全事故の4.6%となっている。

勾配でみると、上り坂は78件（全事故の2.9%）、下り坂は129件（全事故の4.8%）、平坦は2,338件（全事故の86.5%）となっている。

(単位：件・人)

区分 道路線形	件数		死者		
	件数	構成率(%)			
カーブ・屈折	右	上り	9	0.3	0
		下り	17	0.6	1
		平坦	27	1.0	2
	左	上り	10	0.4	2
		下り	18	0.7	2
		平坦	44	1.6	1
計		125	4.6	8	
直線	上り	59	2.2	3	
	下り	94	3.5	3	
	平坦	2,267	83.9	31	
	計	2,420	89.6	37	
一般交通の場所	157	5.8	2		
合計	2,702	100.0	47		

## (3) 地形別

(単位：件・人)

市街地での事故が1,827件で、  
全事故の67.6%を占めている。

死者数は市街地23人・非市街地  
24人とほぼ同数である。

区分 地形	件数	数	死者	傷者	
		構成率(%)			
市街地	人口集中地区	963	35.6	11	1,100
	その他	864	32.0	12	1,006
	計	1,827	67.6	23	2,106
非市街地	875	32.4	24	1,026	
合計	2,702	100	47	3,132	

(注) 市街地：道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

## (4) 道路幅員別

交差点「中」の道路での事故が658件で最も多く、全事故の24.4%を占めている。

(単位：件・人)

区分 幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交 差 点			その他	合計
							小	中	大		
件数	29	100	627	357	268	56	235	658	215	157	2,702
構成率(%)	1.1	3.7	23.2	13.2	9.9	2.1	8.7	24.4	8.0	5.8	100
死者	2	3	13	3	5	2	1	8	8	2	47
傷者	30	112	749	433	323	61	264	742	245	173	3,132

## (5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が2,161件で最も多く、全事故の80.0%を占めている。(単位：件・人)

区分 路面状態 地形	舗 装						計	非舗装	合計
	乾	燥	湿	潤	凍	結積雪			
件数	2,161		396		107	36	2,700	2	2,702
構成率(%)	80.0		14.7		4.0	1.3	99.9	0.1	100.0
死者	39		7		1		47		47
傷者	2,512		451		128	39	3,130	2	3,132

## (6) 中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が1,273件で最も多く、全事故の47.1%を占めている。

(単位：件・人)

区分 施設 地形	中 分 離 帯	中 央 線				計	中 分 離 な い	中 分 離 し た	その他	合計
		高輝度 標	チャッター バー等	ポ ス ト コ ー ン	ペ イ ン ト					
件数	309	1	46	13	1,273	1,333	903	157	2,702	
構成率(%)	11.4	0.0	1.7	0.5	47.1	49.3	33.4	5.8	100.0	
死者	2	0	1	0	19	20	23	2	47	
傷者	379	1	54	16	1,476	1,547	1,033	173	3,132	

## 19 その他

### (1) 特殊事故

(単位：件・人)

特殊事故は496件で、全事故の18.4%を占め、約6件に1件の割合で発生している。

件数が多いのは次のとおりで

- ・多重衝突331件

全事故の 8.2件に1件

- ・スリップ88件

全事故の 30.7件に1件

- ・ひき逃げ54件

全事故の 50.0件に1件

の割合で発生している。

区分		件数	構成率(%)	死者	傷者	
特殊事故						
事故内容	共同危険行為		0.0			
	暴走行為		0.0			
	ひき逃げ	54	2.0	2	62	
	無申告	14	0.5		16	
	多重衝突	331	12.3	12	483	
	左折巻き込み		0.0			
	荷崩れ		0.0			
	自然発車	1	0.0		1	
	ドア開閉		0.0			
	車両火災	2	0.1	2		
	スリップ事故	88	3.3	1	100	
	当事者内容	薬物影響	1	0.0		1
発作・急病		てんかん	1	0.0		1
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管	1	0.0		2
		その他	2	0.1		2
身障者		1	0.0		1	
緊急用務自動車		0.0				
合計		496	18.4	17	669	

- (注) 1 表中の構成率は全事故に占める割合  
 2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

### (2) 天候別

晴天時（雲量が80%未満）の事故が、1,507件で全事故の55.8%を占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80%以上）の事故が790件となっており、合わせると全事故の85.0%を占めている。

(単位：件・人)

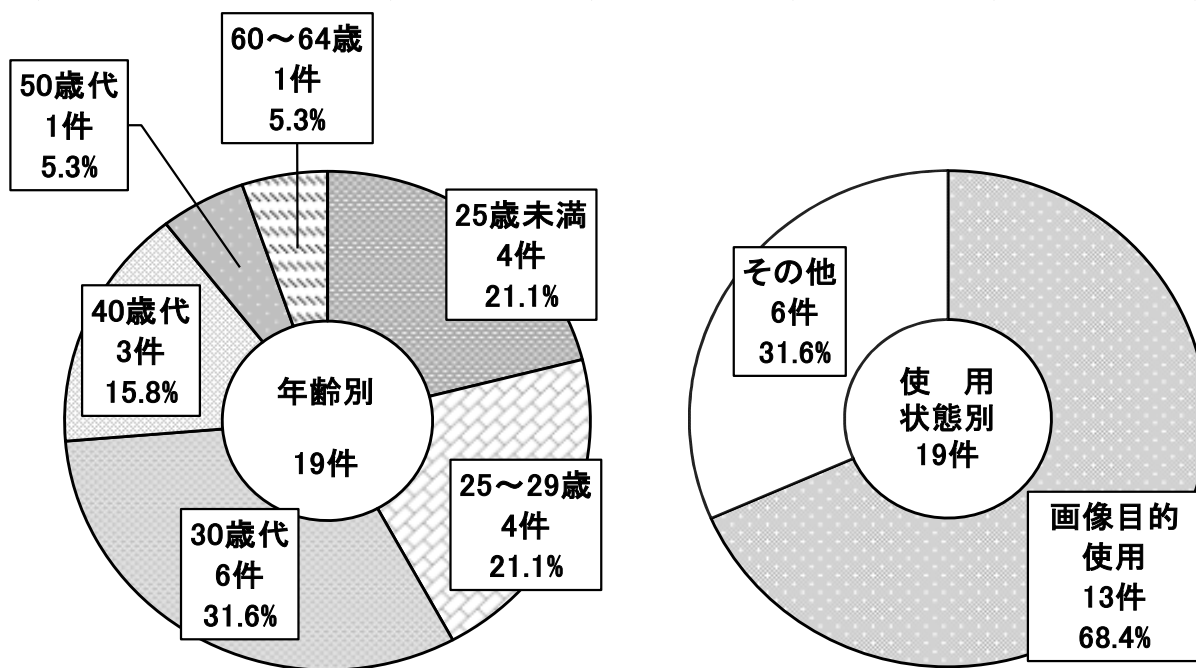
区分		天候					合計
		晴	曇	雨	霧	雪	
件数		1,507	790	292	2	111	2,702
	構成率(%)	55.8	29.2	10.8	0.1	4.1	100.0
死者		29	12	6			47
傷者		1,748	918	332	2	132	3,132

(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は19件発生し、死者は0人、傷者は29人となっている。

事故類型別に見ると、追突が14件で最も多く、73.7%を占め、全事故に占める追突事故の割合の約2.2倍となっている。 (単位：件)

態様 区分		携帯電話使用中事故		全 事 故	
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
人 対 車 両		2	10.5	345	12.8
車 両 相 互	追 突	14	73.7	910	33.7
	出 会 い 頭	1	5.3	755	27.9
	正 面 衝 突	2	10.5	106	3.9
	そ の 他		0.0	533	19.7
車 両 単 独			0.0	51	1.9
列 車			0.0	2	0.1
合 計		19	100.0	2,702	100.0



年齢別に見ると、30歳代が6件で最も多く31.6%、次いで25歳未満、25～29歳が4件となっている。事故直前の使用状況は、画像目的使用13件、その他が6件となっている。